

和歌山市民・近隣地域住民の
消費動向と和歌山市小売商業の課題
—平成 21 年版—

和歌山地域経済研究機構

和歌山商工会議所

和歌山大学経済学部・観光学部

(財) 和歌山社会経済研究所

目次

＜はじめに＞

＜第１部 報告書の概要＞

第１章の要約	3
第２章の要約	4
第３章の要約	5
第４章の要約	6
第５章の要約	7
第６章の要約	8
アンケート調査にもとづく消費購買力流出入額の試算および推計	9

＜第２部 消費動向アンケート調査結果の内容＞

第１章 和歌山市民の消費動向	11
第２章 近隣地域住民の和歌山市での消費動向	25

＜第３部 消費動向アンケート調査結果の分析＞

第３章 消費者の買物金額変化の規定因	52
第４章 消費動向分析	57

＜第４部 和歌山市小売商業活性化への課題と提言＞

第５章 和歌山市小売商業の課題	64
第６章 和歌山市小売商業の今後の方向性（提言）	68

＜資料編＞

■ アンケート調査票	74
■ 和歌山市内の大規模小売店舗の立地状況	91
■ 大阪府南部地域大規模小売店舗の立地状況	92
■ 和歌山市の商業統計（小売業）－和歌山県統計－	93
■ ＜自由意見＞集計	94

＜はじめに＞

今世紀に入って、バブル後遺症からやっと抜け出し景気回復傾向となったが、実感のない小幅な回復が続いた。その間に、年金、健康保険といった社会保障制度や雇用に関する社会的セーフティネットの脆弱さが表面化し、一般市民は将来の人生設計に大きな不安を覚えるようになった。

そして、直近のリーマンショックによる急激な景気悪化である。このような社会・経済情勢は、少子高齢化の進展や産業構造の変化という社会構造的な要素に起因する諸問題とあいまって、結果的にわれわれ一般市民の日々の生活、暮らしぶりに多大な影響を与えている。生活に関する商品や製品の製造、消費者への供給・提供や、消費者の商品購買に関する意欲などが大きく変化せざるを得ない状況なのである。

収入が減少すれば、欲しいものがあっても買えない。生活様式が変われば、買う商品も買う場所も変化する。逆に、販売する側、サービスを提供する側からは、消費者のニーズや社会情勢の変化に対応しなければ消費者に選ばれなくなる。そして、その選択は選別であり必ず競争が発生する。イオン等に代表される大規模小売店舗や価格・サービス等あらゆるものが競争の要素となっている。消費者に対する最終供給者である商店や地域商業は、この闘いの真っ只中にあり、営業、経営という視点では、その競争に勝たねばならないのである。今、全国の多くの地域で同様の闘いが繰り広げられている。それは、時間や資金、知恵も気力もいる困難な闘いである。

和歌山市の小売商業の状況はどうであろうか。特に最近では、ぶらくり丁をはじめ歴史と伝統のある商業地域は買い物客の姿が減少し、商店や地域商業の継続に厳しい状況が続いていると指摘されている。そこでは、この事態を解消するための様々な取り組みが、当事者のみならず国や自治体・諸団体も含め行われ、現在も進行中である。その成果は濃淡あるものであるが、概していえば、勝ち戦にはなっていないということである。勝てなくてもせめて引き分けくらいにはしたい、というのが関係者の本音ではないだろうか。では、どのようにしてその闘いに対処していくか。そのためには、だれが、何を、どうすればよいか。そのような悩みの中にいるといえる。

このような状況を背景に、和歌山地域経済研究機構では、購買客である消費者のニーズや消費行動を巾広く調査することによって、現在の個店（個々の商店）や地域商業の課題を明確化させ、その対策づくりにつなげるという目的で「消費動向アンケート」を実施した。内容は、「和歌山市民の消費動向」と「近隣地域住民（和歌山圏域・那賀圏域・橋本圏域・有田圏域・御坊圏域・大阪府南部圏域）の和歌山市内での消費動向」を調査したもので、和歌山市民の和歌山市外への消費行動や、近隣地域住民の和歌山市内への消費行動、特に、訪問頻度や消費金額の変化、また、和歌山市内の商店と和歌山市外の商店との評価の比較などの調査を行った。

実は、ほぼ同様の調査を平成 11 年にも実施している。（平成 11 年 11 月「和歌山市民・近隣地域住民の消費動向と和歌山市小売商業の課題」）
当時も今と同様の商業的な課題があり、その背景や実態の調査、課題の解決に向けての努力を行っている。そこで、今回の調査では、10 年前の調査結果との比較も可能な限り行い、なおかつ、課題と対策については、さらに一步踏み込んだ内容を目指し、より実効力が得られる大胆な提言を試みた。ただ、本報告書では、その考え方の整理にとどめており、さらなる詳細な実施計画については、本報告書において提言している体制（関係者）によるビルドアップを望むものである。

和歌山市小売商業の活性化は、関係者一同がその危機感と目指すべき方向を共有し、一体となって最大限の努力を尽くさなければ達成できないであろう。自分たちだけでは解決できない社会的構造によるマクロ的な要因は別にして、自分たちで出来るであろうことはその役割を明確にし、長期的視野に立ったポジティブ思考で立ち向かうことでこの闘いに勝利する権利を得るのだ。それほどの覚悟と決意を関係各者に期待したい。そして、本報告書が、その実現に少なからず寄与することを願ってやまない。

さいごに、本研究は、和歌山地域経済研究機構 として、和歌山大学経済学部、和歌山商工会議所、(財)和歌山社会経済研究所 の共同で実施したもので、研究メンバー及び本報告書の執筆分担については以下のとおりである。また、報告書の内容については、メンバー全員で討議を重ねたものであることを付記しておく。

【研究メンバー】（敬称は省略）

主査 木下 雅夫 （和歌山社会経済研究所 総括研究部長）
小川 美弥子（和歌山社会経済研究所 主任研究員：現 和歌山市企画部）
大泉 英次 （和歌山大学経済学部 教授）
柳 到亨 （和歌山大学 講師）
山本 敦子 （和歌山大学 助教）
畑 光穂 （和歌山商工会議所 企画・街づくり支援室リーダー）
中谷 正隆 （和歌山商工会議所 企画・街づくり支援室主事）
藤村 幸司 （和歌山商工会議所 企画・街づくり支援室主事）

【執筆担当】

＜はじめに＞	木下
＜アンケート調査にもとづく消費購買力流出入額の試算及び推計＞	大泉
＜第 1 部の各章の要約はそれぞれの執筆者が担当した。＞	
第 2 部 第 1 章 和歌山市民の消費動向	小川
第 2 章 近隣地域住民の和歌山市での消費動向	小川
第 3 部 第 3 章 消費者の買物金額変化の規定因	柳
第 4 章 消費動向分析	木下
第 4 部 第 5 章 和歌山市小売商業の課題	木下
第 6 章 和歌山市小売商業の今後の方向性（提言）	木下

第1部 報告書の概要

第1章 「和歌山市民の消費動向」 の要約

1. 市外で買い物をしたことがある人は7割を超え、その内6割近くの人が月に1回以上市外で買い物をしており、前回調査時より買い物の経験及び頻度は増加している。
2. 商品別の市外での買い物をみると、ほとんどの品目において買い物頻度が増えている。特に選択の幅の広さを求める服飾系では、「たいてい市外で買い物をする」人の割合が増えている。
3. 買い物をする市町村は、服飾系は「大阪市」「その他の大阪府内」が、食料品、家電製品は「岩出市」が多い。また、本、CD・DVD等では「インターネットで購入」している人もみられる。
4. 市外での買い物には、幅広い選択肢（「商品の品揃え」・「商店の多さ」）や交通の利便性（「駐車スペースの確保」・「公共交通の充実」）を求めており、大阪方面及び郊外型の店舗にそれらを見出している。よく買い物に行く市外の店舗は大型小売店舗や有名百貨店が上位を占めている。
5. 市外での買い物金額は、1世帯当たり平均37.7万円と試算され、前回調査より1.86倍に増加している。和歌山市全世帯の市外での買い物総額は、年間424億3,000万円と推計される。
6. 市内でよく買い物をするところは、「JR和歌山駅周辺」及び「紀の川以北」である。前回調査時にすでに衰退が激しいと指摘した「本町周辺」は、百貨店の閉店や大型小売店舗の撤退で更に衰退している。
7. 各地区の商店街の買い物については、約6割の人が「ほとんど買い物をしない」と答え、買い物回数も「減った」と回答した人が4割を超える。
8. 市内と市外の商店の比較では、「商品の鮮度や品質」「商品価格の安さ」「店の清潔度」などは「良い」評価であるが、「品揃えの豊富さ」「店の華やかさ」「店の周囲華やかさ」の評価は「悪い」としている。

第2章 「近隣地域住民の和歌山市での消費動向」 の要約

1. 近隣地域住民の和歌山市内で買い物の経験は、「和歌山圏域」「那賀圏域」「有田圏域」及び「御坊圏域」では8割を超えるが、「大阪府南部」は7割弱、「橋本圏域」では4割と少なく、前回からの下がり幅も大きい。買い物頻度は、「和歌山圏域」では「月に2、3回」が多いが、その他の圏域では、「年に4、5回」が多い。
2. 近隣地区住民の和歌山市で買い物をする頻度を商品別にみると、ほとんどの品目で和歌山市では買い物をしない人が増える中で、「家電製品」を和歌山市で買い物する人が増えている。
3. 和歌山市内で買い物をする理由は「百貨店がある」「商品の種類が多く、気に入った物が選べる」と答えた人が多いが、いずれも前回からは減っている。
4. 1世帯当たりの和歌山市での平均買い物金額は、和歌山圏域 33.2 万円（前回 33 万円）、那賀圏域 27.5 万円（前回 29.2 万円）、橋本圏域 9.9 万円（前回 19.3 万円）、有田圏域 20 万円（前回 25.8 万円）、御坊圏域 18.1 万円（前回 15.5 万円）、大阪府南部 14.8 万円（前回 15.5 万円）と試算される。近隣地区住民世帯の和歌山市での買い物総額は年間 360 億 5,800 万円と推計され、前回から 11.1%の減少となっている。
5. 和歌山市でよく買い物するところは、「JR 和歌山駅周辺」及び「紀の川以北」であり、「本町周辺」「南海和歌山市駅周辺」で買い物をする人は激減している。
6. 和歌山市での買い物が減った人が半数近くを占め、その内「行かなくなった」人が2割近くある。減った理由は「近くで需要を満たす施設ができた」と回答した人が多い。
7. 和歌山市の商店の印象は、「普通」と感じている人が多いが、「店の周囲の華やかさ」を除いて「良い」と答えている。ただし、多くの項目で「悪い」と感じている人も増えている。
8. 今後の和歌山市での消費行動については、「今後も買い物をしたい」「どちらかといえば和歌山市で買い物をしたい」という回答が 38.9%であるが「どちらともいえない」が前回の 19.4%から 43.0%に増えている。

第3章 「消費者の買物金額変化の規定因」 の要約

和歌山市商店の店舗属性が和歌山市内及び和歌山市外消費者の買物行動にどのような影響を及ぼすのかについて実証分析結果を要約する。

1. まず、和歌山市外消費者を対象に規定因についてである。

和歌山市外消費者の店舗属性に対する満足度が和歌山市内商店の経営成果（買物金額）にどのような影響を与えるのかについて実証分析した。特にこの分析に取り組んだのは、消費者の和歌山市内商店に関する満足度が商店の経営改善を考える上で、重要な手がかりを提示すると考えるためである。

○ 和歌山市外消費者の買物金額変化と正の影響をもつ和歌山市内商店の店舗属性は、「華やかさ」と「商品価格の安さ」であった。

2. 次に、和歌山市内消費者を対象にした規定因についてである。

和歌山市外消費者を対象にした実証分析方法と同様に、和歌山市内消費者の店舗属性に対する満足度が和歌山市内商店の経営成果（和歌山市以外での買物金額変化）にどのような影響をあたえるのかについて実証分析した。

○ 実証分析の結果、和歌山市内消費者の和歌山市外での買物金額変化に負の影響を、また、和歌山市内商店の店舗属性は「店主・従業員の応対、親切度」と「品揃えの豊富さ」であることがわかった。

第4章 「消費動向分析」 の要約

1. 今回の調査と前回調査を比較して、和歌山市民は市内での買物が減少し、和歌山市外への流出が増加している。その結果、前回は和歌山市内への消費金額の流出入額は約99億円の流入超であったが、今回は、約64億円の流出超であった。
2. 和歌山市民が市内へ最もよく買物に行く場所は「JR 和歌山駅周辺」であり、次に、ロードサイド店が集積する「紀の川以北」であった。「本町2丁目周辺」が前回比大幅に減少している。和歌山市民が市外へよく買物に行く施設は、大型小売店舗が圧倒的に多数を占めている。また、大型専門店やコンビニエンス・ストアも多く、移動の利便性や業態の多様性が消費者の支持を得ていると考える。
3. 和歌山市民が市外へ買物に行く理由は、「商品の種類が多く、気に入ったものを選べる」と「和歌山市にはない商品がある」が多く、これは前回も同様であったが、市外への買物頻度が増加した人の理由では、「車で行きやすい」が上位となった。やはり、生活様式の変化と定着化で、駐車場を含む「車での利便性」が消費者ニーズの重要なポイントとなっている。
4. 和歌山市民の市外での買物品目の分析の特徴で、本来、最寄品は地域内での買物が一般的であるが、今回の調査ではある特定の地域や施設の回答が目についた。その理由として、その地域が大規模小売店を中心に、大型専門店やコンビニエンス・ストアなどの商業集積が豊富であり、さらに、特定の品目や商品の構成・素材提供に大きな特徴と消費者に対するアピール力を有している施設との相乗効果によるものと考えられる。この点は、和歌山市商業の今後の方向性を考える上で大いに参考となろう。
5. 和歌山市内と市外の商店との比較評価では、総じて、市内の商店の評価が低い。特に、「店の華やかさ」や周囲の整備の遅れなどに厳しい評価となっている。個店レベルだけの問題ではなく、周囲を含む地域全体の課題として捉える必要がある。
商圏設定に関しては、総合的に分析して、和歌山圏域、那賀圏域、有田圏域、大阪府南部圏域が妥当であろう。
6. 結論として、最も重要なポイントである、「消費者ニーズの把握及び対応」が解消されていない、という分析結果といえる。前回も同様の調査結果であり、依然として解消されていないことがわかる。社会・経済情勢の変化はあるが、今後の関係者の対応が非常に重要となる。

第5章 「和歌山市小売商業の課題」 の要約

■ 課題

1. 今回と前回のアンケート調査結果から、一般の消費者は和歌山市内の商店に対して、大別して、
 - ① 商品の品揃え
 - ② 店舗や店舗周囲の雰囲気、華やかさ
 - ③ 店主・店員の商品知識
 - ④ 交通利便性・駐車場の4点に大きな不満を感じており、評価も低い。
2. 和歌山市商業の課題は、まず、個々の商店経営者の消費者ニーズの的確な把握と対応の不足であり、その結果として、個店における改善・改革への意欲不足及び低下がもたらす消極的な経営姿勢である。
3. さらに、調査結果等から見られる店舗や店舗周囲の整備のニーズや、商業集積と魅力的な個店への要求は地域、団体・行政等の連携による取り組みが不可欠であるが、結果的に実現していないから、消費者の評価が低く、不満となって現れている。
4. 消費者ニーズは時代の変化と共に多様性を増しており、あらたな対応を商業者に求めている。大規模店舗のみならずインターネットや通販、コンビニエンス・ストア等による販売形態の変化も顕著である。にもかかわらず、商業者及び関係者は固定的かつ従来踏襲型の経営からの脱却に至っていない。

第6章 「和歌山市小売商業の今後の方向性（提言）」 の要約

■ 今後の方向性（提言）

1. 商業活性化における最も基礎的かつ重要なポイントとして、個店における改善・改革意欲の有無と経営の継続の意思確認を挙げ、その具体的な取り組み手法として＜個別経営相談会＞の実施を提言する。

内容は、各関係者の協力と周到な計画による個店経営の可否とリストラクチャリング構想で、従来にない“本音”の部分にまで立ち入った取り組みが大きな特徴である。

2. 個店経営の重要性はいうまでもないが、個の集合である地域商業全域の“目指すべき姿＝ビジョン”が明確に示されなければ消費者ニーズに応える持続可能な商業集積にはつながらない。そしてその実現には、当事者のみならず、地域・団体、行政といった関係者が利害と立場を越えて合意形成を図ること不可欠であり、さらに一定の権限を持つ＜プロジェクト・チーム＞による実効性ある計画を示すことである。また、具体的な計画立案は“タスク・フォース”を結成し、「ビジョン」「基本コンセプト」「事業フレーム・事業スキーム」作りを行う。

以上の取り組みを提言する。

3. 地域商業や個店が生き残り、再生するためのあらゆる取り組みの実施は、一刻も猶予はなく積極的にかつ有効的に行われねばならない。それは、明確な目的・目標の設定とその達成のための手段・方策の策定であり、これらをより現実的な手法により作り上げていくことである。

具体的には、今回のアンケート調査結果を踏まえた各商業施設での消費者への聞き取り調査や、商業関係者の精度の高い実態調査などをはじめ、他の調査結果の精査と関係者の意識ギャップの確認と、これらをベースにした、説得力ある“ビジョン&コンセプト”と“フレーム&スキーム”の確立である。これらの取り組みを提言する。

＜さいごに＞

商業の活性化は、単に商業のみの視点で解決できるものではなく、また、個店や地域も、その部分だけを見ていて活性化できるものではない。消費者つまり生活者の視点がなければ、また、地域全体の活力や良質な生活環境の確保がなければ個店も地域商業も活性化の実現は期待できない。

つまり、生活者が息づく“まち”としての機能と魅力が不可欠なのである。過去から取り組んでいる「商店街の活性化」という発想では対応できないのだ。これから必要なのは、強いリーダーシップのもと S・C 経営システムなど、新たな商業集積の形を目指すことと“まちづくり”の融合なのである。

＜アンケート調査結果にもとづく消費購買力流出入額の試算および推計＞

今回のアンケート調査における抽出率と回答率、回答者の年齢構成等、多くの制約はあるが、以下の方法により、調査結果にもとづいて和歌山市における消費購買力流出入額の試算および推計を行った。なお、以下を通じて本アンケート調査における買い物金額についての回答は、回答者の属する世帯の買い物金額として処理している。

1. 和歌山市からの消費購買力流出額の試算および推計

和歌山市民の回答者（世帯）の年間買い物総額平均は 139 万 5,000 円である。これは、前回調査の 164 万 2,000 円に対して 15.0%減少している。また、「市外での買い物あり」の回答比率は 74.6%で、前回調査の 67.6%に比べて 7.0 ポイント増加している。

年間買い物額のうち、和歌山市内での買い物額平均は 101 万 8,000 円である。年間買い物額に対する市外での買い物額の比率は 27.0%であり、前回調査の 19.0%に比べて 8 ポイント増加している。

ここから、和歌山市外での買い物額は 37 万 7,000 円と試算される。これは前回調査の 20 万 3,000 円に対して 1.86 倍に増加している。

調査時の和歌山市世帯数は 150,866 世帯（平成 21 年 8 月 1 日現在）である。これと「市外での買い物あり」比率をもとにして、和歌山市民世帯の年間買い物総額は 2,104 億 5,800 万円と推計される。同様に、市外での買い物総額は 424 億 3,000 万円と推計される。したがって消費購買力の流出比率は 20.2%となる。

2. 和歌山市への消費購買力流入額の試算および推計

和歌山市近隣各圏域における世帯数（平成 21 年 8 月 1 日現在）と調査結果（および前回調査結果）はつぎの通りである。

● 和歌山圏域（25,106 世帯）

「和歌山市での買い物あり」比率 94.2%（前回 87.4%）。

和歌山市内での買い物額平均 33.2 万円（前回 33 万円）。

和歌山市での買い物総額（推計）78 億 5,200 万円。

● 那賀圏域（42,523 世帯）

「和歌山市での買い物あり」比率 87.9%（前回 87.4%）。

和歌山市内での買い物額平均 27.5 万円（前回 29.2 万円）。

和歌山市での買い物総額（推計）102 億 7,900 万円。

● 橋本圏域（34,167 世帯）

「和歌山市での買い物あり」比率 40.0%（前回 51.3%）。

和歌山市内での買い物額平均 9.9 万円（前回 19.3 万円）。

和歌山市での買い物総額（推計）13 億 5,300 万円。

● 有田圏域 (28,113 世帯)

「和歌山市での買い物あり」比率 90.0% (前回 88.4%)。

和歌山市内での買い物額平均 20.0 万円 (前回 25.8 万円)。

和歌山市での買い物総額 (推計) 50 億 6,000 万円。

● 御坊圏域 (22,413 世帯)

「和歌山市での買い物あり」比率 : 80.0% (前回 75.1%)。

和歌山市内での買い物額平均 18.1 万円 (前回 15.5 万円)。

和歌山市での買い物総額 (推計) 32 億 4,500 万円。

● 大阪府南部圏域 (88,690 世帯)

「和歌山市での買い物あり」比率 63.0% (前回 75.1%)。

和歌山市内での買い物額平均 14.8 万円 (前回 18.1 万円)。

和歌山市での買い物総額 (推計) 82 億 6,900 万円。

3. 消費購買力流出入差額の試算および推計

以上の試算および推計にもとづいて、和歌山市近隣圏域住民世帯の和歌山市での買い物総額は 360 億 5,800 万円と推計される。これは、前回調査 405 億 3,900 万円に比べて 11.1%減少している。

和歌山市民世帯の和歌山市外での買い物額 (消費購買力流出額) と、和歌山市近隣圏域住民世帯の和歌山市での買い物額 (消費購買力流入額) との差額は、63 億 7,200 万円の流出超過となっている。前回調査では 99 億 100 万円の流入超過であった。

なお、和歌山市内および近隣圏域住民世帯の和歌山市内での買い物額は、2,040 億 8,600 万円と推計される。ちなみに和歌山県商業統計調査によれば、和歌山市の小売業年間商品販売額 (平成 19 年) は 3,686 億 6,400 万円である。

第2部 消費動向アンケート調査結果

第1章 和歌山市民の消費動向

1. 調査方法の概要

NTTが作成、配布している家庭用電話加入者の電話番号帳より無作為抽出（抽出率は0.6%）した930件及び有意抽出による57件、合計987件に調査票を郵送により発送（回収も郵送）した。電話番号帳に掲載されている住所のため、21件の未配達等があり、実質966件の発送となり、287件の回答を得た。回収率は、29.7%であった。

（平成11年に同様の調査を行い、1,000件の配布に対し、376件の回答（回収率37.6%）であった。）

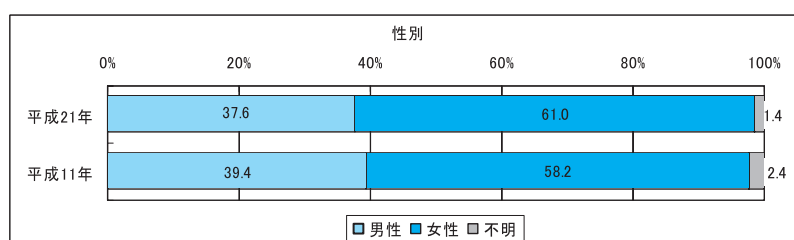
調査は、平成21年7月30日～平成21年9月14日の期間で行った。

2. 回答者の属性について

（1）性別

回答者の性別は、「男性」37.6%、「女性」61.0%であった。前回同様「主として買い物をされる方」にアンケートお願いした結果「女性」が多かったと推測される。

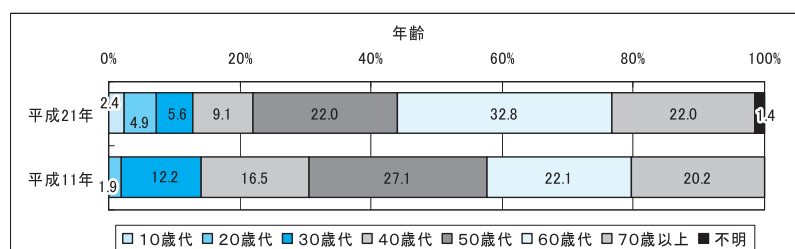
		男性	女性	不明	合計
平成21年	件数	108	175	4	287
	%	37.6	61.0	1.4	100.0
平成11年	件数	148	219	9	376
	%	39.4	58.2	2.4	100.0



（2）年齢

最も多い年齢は「60歳代」32.8%、次いで「70歳以上」22.0%、「50歳代」22.0%であった。50歳代以上で76.8%を占める。また、前回の回答者で最も多かったのは「50歳代」であり、今回は少し年齢層が上の回答者となっている。

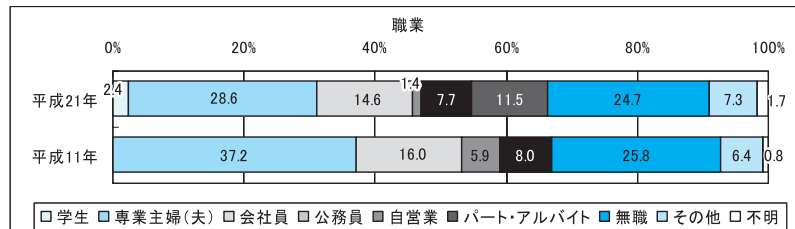
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
平成21年	件数	7	14	16	26	63	94	63	4	287
	%	2.4	4.9	5.6	9.1	22.0	32.8	22.0	1.4	100.0
平成11年	件数	0	7	46	62	102	83	76	0	376
	%	0.0	1.9	12.2	16.5	27.1	22.1	20.2	0.0	100.0



(3) 職業

職業は「専業主婦（夫）」が28.6%で最も多く、「無職」24.7%、「会社員」14.6%、「パート・アルバイト」11.5%の順に多い。

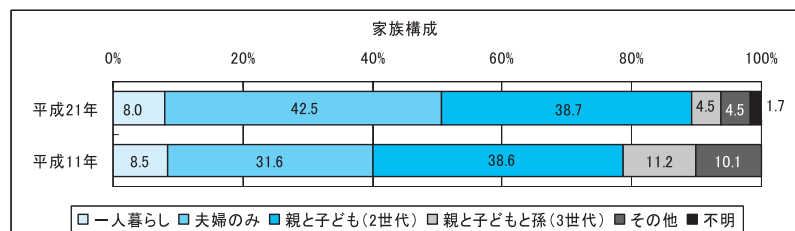
		学生	専業主婦 (夫)	会社員	公務員	自営業	パート・ア ルバイト	無職	その他	不明	合計
平成21年	件数	7	82	42	4	22	33	71	21	5	287
	%	2.4	28.6	14.6	1.4	7.7	11.5	24.7	7.3	1.7	100.0
平成11年	件数	0	140	60	22	30		97	24	3	376
	%	0.0	37.2	16.0	5.9	8.0		25.8	6.4	0.8	100.0



(4) 家族構成及び家族の人数

家族構成は、「夫婦のみ」が42.5%で最も多く、「親と子ども（二世世代）」38.7%、「一人暮らし」8.0%、「親と子どもと孫（三世世代）」4.5%の順に多かった。「一人暮らし」「夫婦のみ」の合計を前回と比べると10.4ポイント増えている。

		一人暮らし	夫婦のみ	親と子ども (2世代)	親と子ども と孫 (3世代)	その他	不明	合計
平成21年	件数	23	122	111	13	13	5	287
	%	8.0	42.5	38.7	4.5	4.5	1.7	100.0
平成11年	件数	32	119	145	42	38	0	376
	%	8.5	31.6	38.6	11.2	10.1	0.0	100.0

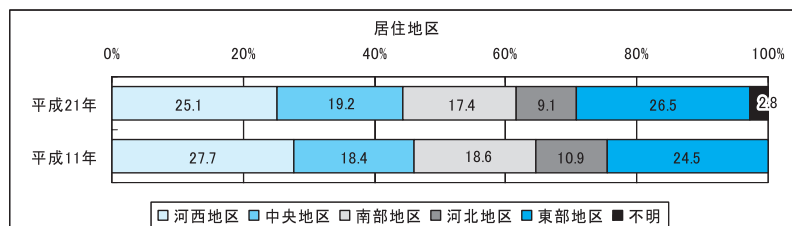


		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	不明	合計
平成21年	件数	16	136	55	34	24	10	3	9	287
	%	5.6	47.4	19.2	11.8	8.4	3.5	1.0	3.1	100.0

(5) 居住地

居住地区は、「東部地区」26.5%、「河西地区」25.1%、「中央地区」19.2%、「南部地区」17.4%、「河北地区」9.1%の順であった。

		河西地区	中央地区	南部地区	河北地区	東部地区	不明	合計
平成21年	件数	72	55	50	26	76	8	287
	%	25.1	19.2	17.4	9.1	26.5	2.8	100.0
平成11年	件数	104	69	70	41	92	0	376
	%	27.7	18.4	18.6	10.9	24.5	0.0	100.0



3. 和歌山市以外での買い物について

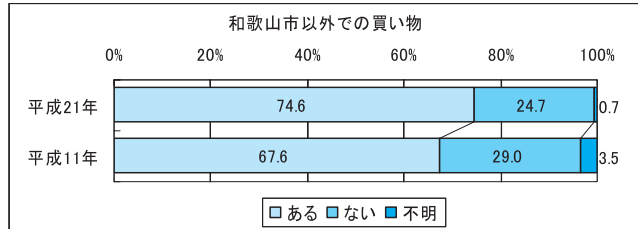
問 1 あなたは、昨年 1 年間に和歌山市以外の市町村で買い物をしたことがありますか。

1. ある 2. ない → 問 7 へお進みください。

「ある」と回答した人は、74.6%、「ない」と回答した人は、24.7%であった。前回の調査から「ある」は 7.0 ポイント増加している。

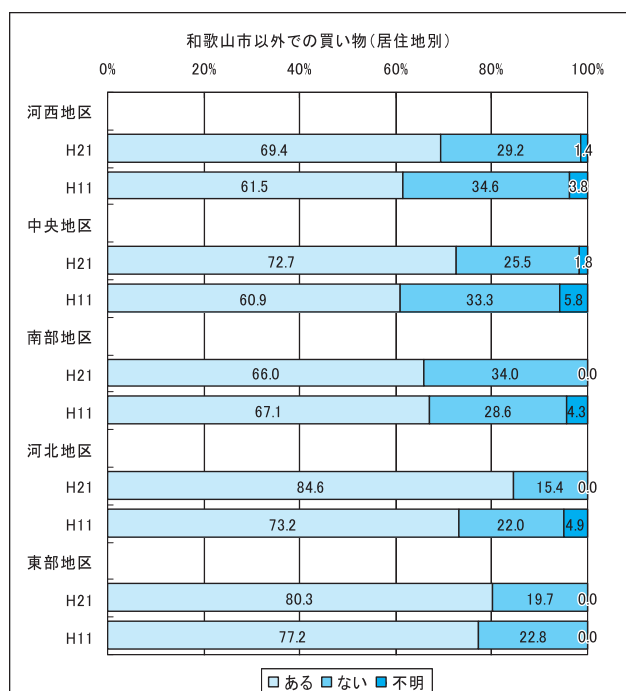
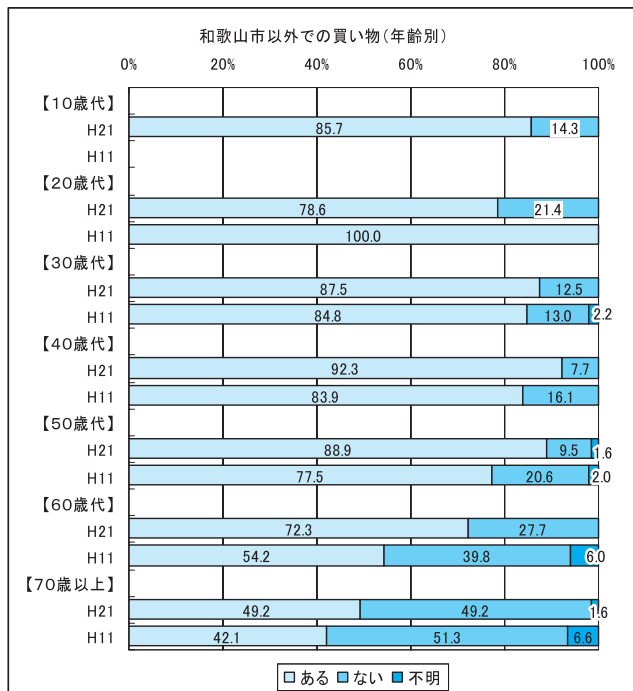
和歌山市以外での買い物

		ある	ない	不明	合計
平成21年	件数	214	71	2	287
	%	74.6	24.7	0.7	100.0
平成11年	件数	254	109	13	376
	%	67.6	29.0	3.5	100.0



年齢別では、「40 歳代」の 92.3%が「和歌山市以外で買い物をしたことがある」と回答し、一番少なかった「70 歳以上」でも約半数（49.2%）が「ある」と回答した。

居住地別に見ると、「南部地区」で 1.1 ポイント下がったほかは、全ての地区で増加している。特に「中央地区」で 11.8 ポイント、「河北地区」で 11.4 ポイントと大きく増加した。前回と同様に「河北地区」と「東部地区」が他の地区より「ある」と答えた比率が高いことから、地理的要素が市外で買い物をするかどうかに影響を与えていると考えられる。



問2 あなたは、和歌山市以外でどの程度買い物をしますか。(最も近いもの1つだけに○印)

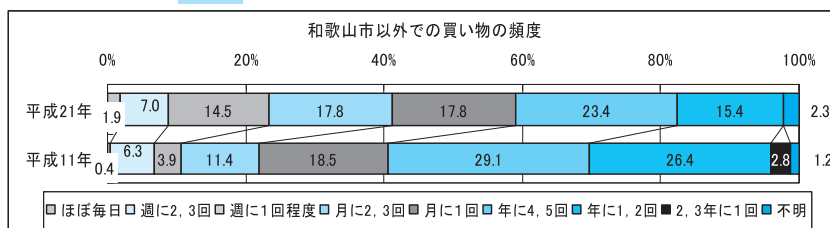
1. ほぼ毎日 2. 週に2、3回 3. 週に1回程度 4. 月に2、3回
5. 月に1回 6. 年に4、5回 7. 年に1、2回 8. 2、3年に1回

和歌山市以外での買い物の頻度で多かったのは、「年に4、5回」(23.4%)、「月に2、3回」(17.8%)、「月に1回」(17.8%)、「年に1、2回」(15.4%)、「週に1回程度」(14.5%)であった。前回の調査と比較してみると、一番多い回答は、「年に4、5回」と同じであったが、「月1回以上」の市外での買い物を比較すると、前回は40.5%であったのが、今回調査では59.0%となり、市外での買い物の頻度が大幅に増えた結果となった。

和歌山市以外での買い物の頻度

		ほぼ毎日	週に2、3回	週に1回程度	月に2、3回	月に1回	年に4、5回	年に1、2回	2、3年に1回	不明	合計
平成21年	件数	4	15	31	38	38	50	33	0	5	214
	%	1.9	7.0	14.5	17.8	17.8	23.4	15.4	0.0	2.3	100.0
平成11年	件数	1	16	10	29	47	74	67	7	3	254
	%	0.4	6.3	3.9	11.4	18.5	29.1	26.4	2.8	1.2	100.0

は増加した項目



問3 あなたが次の商品を買う場合、どれくらい和歌山市以外で買い物をしますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

		たいてい市外で買い物をする	よく市外で買い物をする	時々市外で買い物をする	たまに市外で買い物をする	市外では買い物をほとんどしない
1	食料品	1	2	3	4	5
2	衣服(普段着)	1	2	3	4	5
3	婦人服	1	2	3	4	5
4	紳士服	1	2	3	4	5
5	靴・履物	1	2	3	4	5
6	鞆(かばん)	1	2	3	4	5
7	家具・じゅうたん	1	2	3	4	5
8	家電製品	1	2	3	4	5
9	化粧品	1	2	3	4	5
10	時計・メガネ・カメラ	1	2	3	4	5
11	宝石・貴金属	1	2	3	4	5
12	CD・DVD等	1	2	3	4	5
13	本	1	2	3	4	5
14	玩具・ゲーム機器等	1	2	3	4	5
15	贈答品(中元・歳暮等)	1	2	3	4	5

和歌山市以外での買い物の頻度を商品別にみると、全ての品目で「たいてい市外で買い物をする」「よく市外で買い物をする」「時々市外で買い物をする」の合計は増加し、「衣服(普段着)」「婦人服」「紳士服」「靴・履物」「鞆」「化粧品」は30%を越える結果となった。特に「化粧品」は前回の15.0%から30.8%に増加した。市外で買い物をする頻度が増えた結果、「市外では買い物をほとんどしない」という回答は減ってはいるが、他の買回り品では6割以上が「市外では買い物をほとんどしない」と回答している。

「食料品」は前回と同様に「たまに市外で買い物をする」が39.7%と回答した人が多く、偶発的に買われている傾向は前回と変わりのない商品目であろう。

和歌山市以外で買い物をする頻度(商品別)

		たいてい 市外で買い 物をする	よく 市外で買い 物をする	時々 市外で買い 物をする	小計	たまに 市外で買い 物をする	市外では買 い物をほと んどしない
食料品	平成21年	4.6	5.7	11.9	22.2	39.7	38.1
	平成11年	1.8	4.5	14.8	21.1	32.7	46.2
	増減	2.8	1.2	▲2.9	1.1	7.0	▲8.1
衣服 (普段着)	平成21年	10.7	11.8	17.1	39.6	25.7	34.8
	平成11年	3.7	9.2	22.1	35.0	32.7	32.3
	増減	7.0	2.6	▲5.0	4.6	▲7.0	2.5
婦人服	平成21年	13.2	12.6	13.2	39.0	25.3	35.6
	平成11年	7.7	6.2	24.1	38.0	30.3	31.8
	増減	5.5	6.4	▲10.9	1.0	▲5.0	3.8
紳士服	平成21年	9.0	10.2	13.0	32.2	16.9	50.8
	平成11年	5.0	6.5	17.9	29.4	29.9	40.8
	増減	4.0	3.7	▲4.9	2.8	▲13.0	10.0
靴・履物	平成21年	11.0	7.7	13.3	32.0	23.8	44.2
	平成11年	4.8	6.3	15.0	26.1	28.5	45.4
	増減	6.2	1.4	▲1.7	5.9	▲4.7	▲1.2
鞆	平成21年	10.1	9.5	13.6	33.2	23.1	43.8
	平成11年	7.6	4.1	16.2	27.9	25.4	46.7
	増減	2.5	5.4	▲2.6	5.3	▲2.3	▲2.9
化粧品	平成21年	9.9	9.3	11.6	30.8	12.8	56.4
	平成11年	6.2	3.1	5.7	15.0	9.3	75.6
	増減	3.7	6.2	5.9	15.8	3.5	▲19.2

(* 不明を除く)

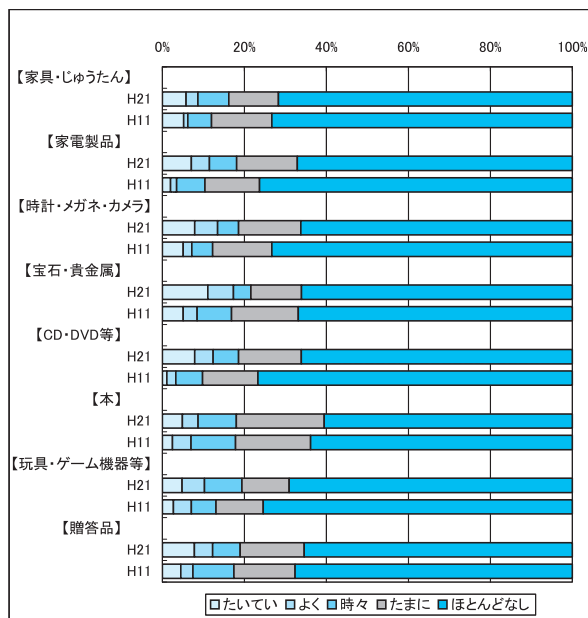
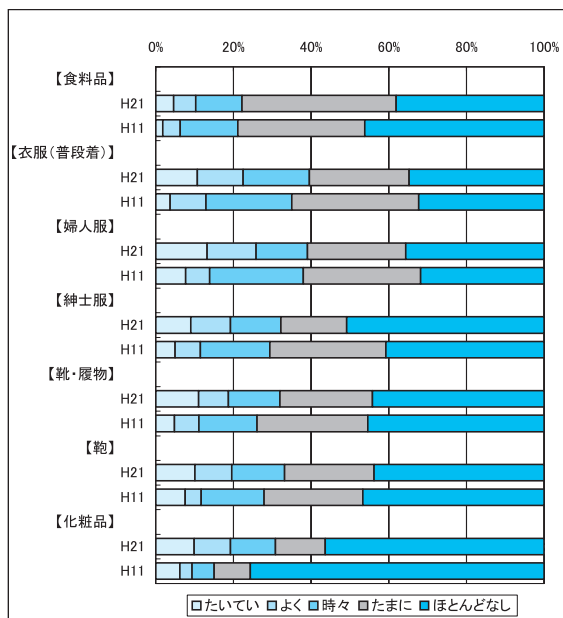
(%)

		たいてい 市外で買い 物をする	よく 市外で買い 物をする	時々 市外で買い 物をする	小計	たまに 市外で買い 物をする	市外では買 い物をほと んどしない
家具・ じゅうたん	平成21年	5.8	2.9	7.5	16.2	12.1	71.7
	平成11年	5.2	1.0	5.8	12.0	14.7	73.3
	増減	0.6	1.9	1.7	4.2	▲2.6	▲1.6
家電製品	平成21年	7.1	4.4	6.6	18.1	14.8	67.0
	平成11年	2.0	1.5	6.9	10.4	13.3	76.4
	増減	5.1	2.9	▲0.3	7.7	1.5	▲9.4
時計・メガ ネ・カメラ	平成21年	7.9	5.6	5.1	18.6	15.2	66.3
	平成11年	5.1	2.1	5.1	12.3	14.4	73.3
	増減	2.8	3.5	0.0	6.3	0.8	▲7.0
宝石・貴金 属	平成21年	11.1	6.2	4.3	21.6	12.3	66.0
	平成11年	5.1	3.4	8.4	16.9	16.3	66.9
	増減	6.0	2.8	▲4.1	4.7	▲4.0	▲0.9
CD・DVD 等	平成21年	7.9	4.5	6.2	18.6	15.3	66.1
	平成11年	1.1	2.2	6.5	9.8	13.5	76.8
	増減	6.8	2.3	▲0.3	8.8	1.8	▲10.7
本	平成21年	4.9	3.8	9.3	18.0	21.4	60.4
	平成11年	2.5	4.5	10.9	17.9	18.3	63.9
	増減	2.4	▲0.7	▲1.6	0.1	3.1	▲3.5
玩具・ゲー ム機器等	平成21年	4.8	5.5	9.1	19.4	11.5	69.1
	平成11年	2.7	4.4	6.0	13.1	11.5	75.4
	増減	2.1	1.1	3.1	6.3	0.0	▲6.3
贈答品	平成21年	7.8	4.5	6.7	19.0	15.6	65.4
	平成11年	4.5	3.0	10.0	17.5	14.9	67.7
	増減	3.3	1.5	▲3.3	1.5	0.7	▲2.3

(* 不明を除く)

和歌山市以外での買い物(品別)

(* 不明分を除く)



問4 あなたは、和歌山市以外では主にどこで買い物をしますか。またその市町村で最もよく買い物をする商業施設・商店名を記入してください。

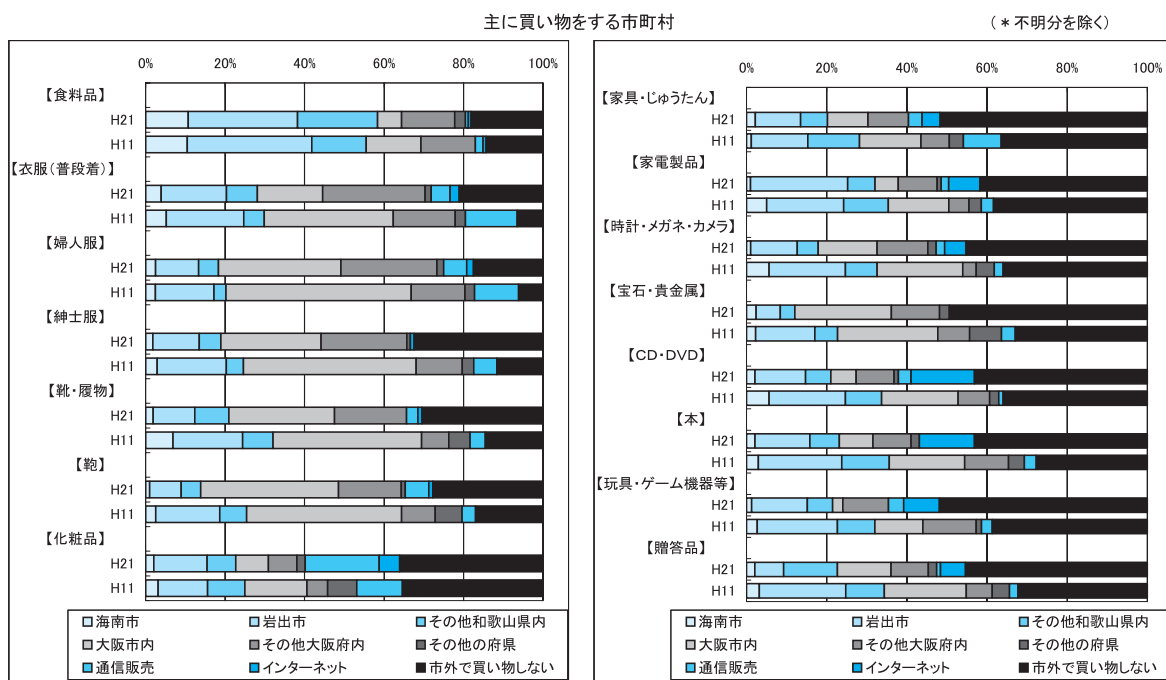
		買い物をする市町村 (右欄の1～14の番号を記入)	最もよく買い物をする商業施設・商店名	番号	買い物をする市町村
1	食料品			1	海南市
2	衣服（普段着）			2	紀の川市
3	婦人服			3	岩出市
4	紳士服			4	その他和歌山県内
5	靴・履物			5	大阪府岬町、阪南市
6	鞆（かばん）			6	泉南市
7	家具・じゅうたん			7	泉佐野市・貝塚市
8	家電製品			8	岸和田市
9	化粧品			9	大阪市内
10	時計・メガネ・カメラ			10	その他大阪府内
11	宝石・貴金属			11	その他の府県
12	CD・DVD等			12	通信販売
13	本			13	インターネットで購入
14	玩具・ゲーム機器等			14	市外で買い物しない
15	贈答品（中元・歳暮等）				

「和歌山市以外では主にどこで買い物をしますか」という問いについては、「その他の大阪府」が「食料品」「本」「贈答品」を除いた全ての品目で増加した。前回回答が多かった「岩出市」は「家電製品」「化粧品」が増加したが、それ以外は減少した。

ファッション関係をみると、「衣服（普段着）」は「その他大阪府内」が25.8%で最も多く、その他「婦人服」「紳士服」「靴・履物」「鞆」等は、「大阪市内」が最も多い結果となった。選択の幅の広さを好む商品類については、「大阪市」「大阪府内」で多く買われている結果となった。

前回にはなかった選択肢「インターネットで購入」では、「CD・DVD等」15.8%、「本」13.7%と多かった。

問1で「市外で買い物をしたことがある」との回答が増えているが、「主に市外で買い物しない」が全項目で増加している。



主に買い物をする市町村

(%)

		海南市	岩出市	その他和歌山県内	大阪市内	その他大阪府内	その他の府県	通信販売	インターネット	市外で買い物しない
食料品	平成21年	10.7	27.5	20.1	6.0	13.4	2.7	0.7	0.7	18.1
	平成11年	10.5	31.4	13.7	13.7	13.7	2.0	0.7		14.4
	増減	0.3	▲ 3.9	6.4	▲ 7.7	▲ 0.3	0.7	0.0	0.7	3.7
衣服 (普段着)	平成21年	3.9	16.4	7.8	16.4	25.8	1.6	4.7	2.3	21.1
	平成11年	5.2	19.5	5.2	32.5	15.6	2.6	13.0		6.5
	増減	▲ 1.3	▲ 3.1	2.6	▲ 16.1	10.2	▲ 1.0	▲ 8.3	2.3	14.6
婦人服	平成21年	2.5	10.8	5.0	30.8	24.2	1.7	5.8	1.7	17.5
	平成11年	2.5	14.7	3.1	46.6	13.5	2.5	11.0		6.1
	増減	0.0	▲ 3.9	1.9	▲ 15.8	10.7	▲ 0.8	▲ 5.2	1.7	11.4
紳士服	平成21年	1.8	11.7	5.4	25.2	21.6	0.0	0.9	0.9	32.4
	平成11年	2.9	17.4	4.3	43.5	11.6	2.9	5.8		11.6
	増減	▲ 1.1	▲ 5.7	1.1	▲ 18.3	10.0	▲ 2.9	▲ 4.9	0.9	20.8
靴・履物	平成21年	1.9	10.5	8.6	26.7	18.1	0.0	2.9	1.0	30.5
	平成11年	6.9	17.6	7.6	37.4	6.9	5.3	3.8		14.5
	増減	▲ 5.0	▲ 7.1	0.9	▲ 10.7	11.2	▲ 5.3	▲ 0.9	1.0	16.0
鞆	平成21年	1.0	7.9	5.0	34.7	15.8	1.0	5.9	1.0	27.7
	平成11年	2.5	16.1	6.8	39.0	8.5	6.8	3.4		16.9
	増減	▲ 1.6	▲ 8.2	▲ 1.8	▲ 4.3	7.4	▲ 5.8	2.5	1.0	10.8
化粧品	平成21年	2.1	13.4	7.2	8.2	7.2	2.1	18.6	5.2	36.1
	平成11年	3.1	12.5	9.4	15.6	5.2	7.3	11.5		35.4
	増減	▲ 1.1	0.9	▲ 2.2	▲ 7.4	2.0	▲ 5.2	7.1	5.2	0.7
家具・じゅうたん	平成21年	2.2	11.2	6.7	10.1	10.1	0.0	3.4	4.5	51.7
	平成11年	1.2	14.1	12.9	15.3	7.1	3.5	9.4		36.5
	増減	1.1	▲ 2.9	▲ 6.2	▲ 5.2	3.1	▲ 3.5	▲ 6.0	4.5	15.2
家電製品	平成21年	1.0	24.3	6.8	5.8	9.7	1.0	1.9	7.8	41.7
	平成11年	5.1	19.2	11.1	15.2	5.1	3.0	3.0		38.4
	増減	▲ 4.1	5.1	▲ 4.3	▲ 9.3	4.7	▲ 2.1	▲ 1.1	7.8	3.4
時計・メガネ・カメラ	平成21年	1.1	11.6	5.3	14.7	12.6	2.1	2.1	5.3	45.3
	平成11年	5.6	19.1	7.9	21.3	3.4	4.5	2.2		36.0
	増減	▲ 4.6	▲ 7.5	▲ 2.6	▲ 6.6	9.3	▲ 2.4	▲ 0.1	5.3	9.3
宝石・貴金属	平成21年	2.4	6.0	3.6	24.1	12.0	2.4	0.0	0.0	49.4
	平成11年	2.3	14.8	5.7	25.0	8.0	8.0	3.4		33.0
	増減	0.1	▲ 8.7	▲ 2.1	▲ 0.9	4.1	▲ 5.5	▲ 3.4	0.0	16.4
CD・DVD等	平成21年	2.1	12.6	6.3	6.3	9.5	1.1	3.2	15.8	43.2
	平成11年	5.6	19.1	9.0	19.1	7.9	2.2	1.1		36.0
	増減	▲ 3.5	▲ 6.5	▲ 2.7	▲ 12.8	1.6	▲ 1.2	2.1	15.8	7.2
本	平成21年	2.1	13.7	7.4	8.4	9.5	2.1	0.0	13.7	43.2
	平成11年	3.0	20.8	11.9	18.8	10.9	4.0	3.0		27.7
	増減	▲ 0.9	▲ 7.1	▲ 4.5	▲ 10.4	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 3.0	13.7	15.4
玩具・ゲーム機器等	平成21年	1.3	13.9	6.3	2.5	11.4	0.0	3.8	8.9	51.9
	平成11年	2.7	20.0	9.3	12.0	13.3	1.3	2.7		38.7
	増減	▲ 1.4	▲ 6.1	▲ 3.0	▲ 9.5	▲ 1.9	▲ 1.3	1.1	8.9	13.2
贈答品	平成21年	2.1	7.2	13.4	13.4	9.3	2.1	1.0	6.2	45.4
	平成11年	3.2	21.5	9.7	20.4	6.5	4.3	2.2		32.3
	増減	▲ 1.2	▲ 14.3	3.7	▲ 7.0	2.8	▲ 2.2	▲ 1.2	6.2	13.1

(* 不明を除く)

問5 あなたが和歌山市以外で買い物をする理由は何ですか。次のなかから該当する理由の番号に○印をつけてください。(3つまで)

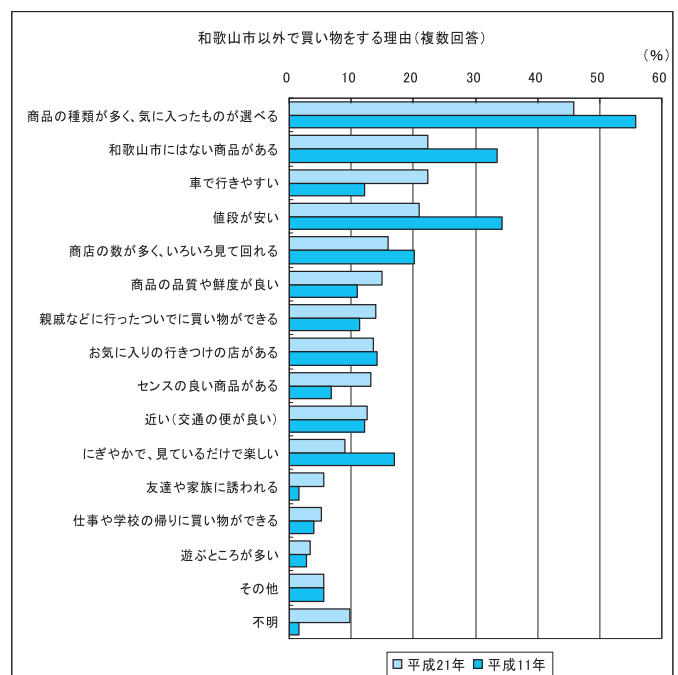
1. にぎやかで、見ていだけでも楽しいから
2. 商品の品質や鮮度が良いから
3. 値段が安いから
4. 商品の種類が多く、気に入った物を選べるから
5. 商店の数が多く、色々見て回れるから
6. 和歌山市にはない商品があるから
7. 近いから(交通の便が良いから)
8. お気に入りの行きつけの店があるから
9. 車で行きやすいから
10. センスの良い商品があるから
11. 友達や家族に誘われるから
12. 親戚などに行ったついでに買い物できるから
13. 仕事や学校の帰りに買い物できるから
14. 遊ぶところが多いから
15. その他(具体的に:)

和歌山市以外で買い物をする理由は、「商品の種類が多く、気に入ったものを選べる」(45.8%)が最も多く、「和歌山市にはない商品がある」(22.4%)、「車で行きやすい」(22.4%)の順に多かった。「商品の種類が多い」「和歌山市にない商品がある」「商店の数が多く」が前回同様に回答が多く、市外へ買い物に行く動機が、商品選択の幅が広く与えられる品揃えの豊富さにあるという傾向は、前回と変化はない。前回2番目に多かった「値段が安い」は今回21.0%で4番目に後退しており、「価格(安さ)」よりも、「品揃え」や「店舗の多さ」を消費者が求めている結果となった。

「車で行きやすい」が前回より10.2ポイント多い結果となったのは、岩出市方面や泉南市方面へ道路が整備されたことによるものと考えられる。

和歌山市以外で買い物をする理由(複数回答) (%)

	平成21年 (A)	平成11年 (B)	(A)-(B)
商品の種類が多く、気に入ったものを選べる	45.8	55.9	▲ 10.1
和歌山市にはない商品がある	22.4	33.5	▲ 11.1
車で行きやすい	22.4	12.2	10.2
値段が安い	21.0	34.3	▲ 13.3
商店の数が多く、いろいろ見て回れる	15.9	20.1	▲ 4.2
商品の品質や鮮度が良い	15.0	11.0	4.0
親戚などに行ったついでに買い物ができる	14.0	11.4	2.6
お気に入りの行きつけの店がある	13.6	14.2	▲ 0.6
センスの良い商品がある	13.1	6.7	6.4
近い(交通の便が良い)	12.6	12.2	0.4
にぎやかで、見ていだけで楽しい	8.9	16.9	▲ 8.0
友達や家族に誘われる	5.6	1.6	4.0
仕事や学校の帰りに買い物ができる	5.1	3.9	1.2
遊ぶところが多い	3.3	2.8	0.5
その他(具体的に)	5.6	5.5	0.1
不明	9.8	1.6	8.2



問6 あなたの和歌山市以外での買い物の変化についてお尋ねします。

(1) あなたは以前に比べ、和歌山市以外へ買い物に行く回数(頻度)が変わりましたか。

1. 以前は和歌山市以外に買い物に行かなかったが、最近行くようになった
2. かなり増えた
3. 少し増えた
4. あまり変わらない
5. 少し減った
6. かなり減った
7. 行かなくなった

和歌山市以外へ買い物に行く回数は、「あまり変わらない」(43.9%)が最も多く、「少し増えた」(13.6%)が次に多かった。

「最近行くようになった」「かなり増えた」「少し増えた」を合計すると30.9%、「少し減った」「かなり減った」「行かなくなった」を合計すると22.5%で、市外へ行く回数が増えた人が上回っている。また「かなり増えた」(12.6%)が前回より1.2ポイント増えた。

和歌山市外への買い物回数の変化								(%)
	最近行くようになった	かなり増えた	少し増えた	あまり変わらない	少し減った	かなり減った	行かなくなった	不明
平成21年(A)	4.7	12.6	13.6	43.9	7.5	11.7	3.3	2.8
平成11年(B)	7.9	11.4	15.0	32.3	7.5	17.7	7.5	0.8
増減(A)-(B)	▲ 3.2	1.2	▲ 1.4	11.6	0.0	▲ 6.0	▲ 4.2	2.0

問6 (2) あなたは以前に比べ、和歌山市以外での買い物金額は変わりましたか。

1. かなり増えた
2. 少し増えた
3. あまり変わらない
4. 少し減った
5. かなり減った

和歌山市以外での買い物金額は、「あまり変わらない」(45.3%)が最も多く、「少し増えた」(17.8%)が次に多かった。「かなり増えた」と「少し増えた」を合計すると29.5%、

「少し減った」「かなり減った」を合計すると21.9%で、市外での買い物金額が増えている人が上回っている。また「かなり増えた」(11.7%)が前回より1.1ポイント増えた。

和歌山市外での買い物金額の変化							(%)
	かなり増えた	少し増えた	あまり変わらない	少し減った	かなり減った	不明	
平成21年(A)	11.7	17.8	45.3	9.8	12.1	3.3	
平成11年(B)	10.6	23.6	34.6	8.3	20.1	2.8	
増減(A)-(B)	1.1	▲ 5.8	10.7	1.5	▲ 8.0	0.5	

問6 (3) あなたは以前に比べ、和歌山市以外へ買い物に行く手段が変わりましたか。

1. 徒歩で行くことが増えた
2. 自転車で行くことが増えた
3. 電車で行くことが増えた
4. 車で行くことが増えた
5. 単車で行くことが増えた
6. バスで行くことが増えた
7. タクシーで行くことが増えた
8. 特に変わりはない
9. その他()

和歌山市以外へ買い物に行く手段は、「特に変わりはない」が50.5%と約半数で、「車が増えた」が28.5%と次に多かった。「電車が增えた」は9.3%に留まり、問5の市外での買い物をする理由で「車で行きやすいから」が10.2ポイント増加していることからみても、車での移動が多くなっていることがわかる。

和歌山市外への交通手段の変化

(%)

	徒歩が 増えた	自転車 が増えた	電車が 増えた	車が増え た	単車が 増えた	バスが 増えた	タクシーが 増えた	特に変わり はない	その他	不明
平成21年 (A)	0.0	0.9	9.3	28.5	1.9	0.5	0.0	50.5	1.9	6.5
平成11年 (B)		0.0	12.2	35.4	1.2	0.4	0.4	44.9	3.9	1.6
増減 (A)-(B)		0.9	▲ 2.9	▲ 6.9	0.7	0.1	▲ 0.4	5.6	▲ 2.0	4.9

4. 和歌山市での買い物について

問7 あなたは、昨年1年間に、全部でいくら買い物をしましたか。また、そのうち和歌山市内でどれくらい買い物をしましたか。下欄の金額の内でもっと近いものの番号を記入してください。

(1) 昨年1年間の買い物の合計金額

(2) 上記の内、和歌山市内で買い物をした金額

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 0～ 1万円未満 | 7. 100～200万円未満 |
| 2. 1～ 5万円未満 | 8. 200～300万円未満 |
| 3. 5～ 10万円未満 | 9. 300～500万円未満 |
| 4. 10～ 30万円未満 | 10. 500～700万円未満 |
| 5. 30～ 50万円未満 | 11. 700～1000万円未満 |
| 6. 50～100万円未満 | 12. 1000万円以上 |

調査結果から試算すると、昨年1年間の買い物金額は、平均して139万5,000円となる。前回調査の164万2,000円に比べて15%減少している。その理由として、回答者の年齢層が前回調査よりもやや高齢化していることなどが考えられる。和歌山市内での買い物金額は、平均して101万8,000円である。年間買い物額に対する市外での買い物額の比率は27.0%であり、前回調査の19.0%に比べて8ポイントも増加している。

ここから、和歌山市外での買物額は37万7,000円と試算される。これは前回調査の20万3,000円に対して1.86倍に増加している。

調査時の和歌山市世帯数は150,866世帯(平成21年8月1日現在)である。これと、問1での「市外での買い物あり」の回答比率74.6%をもとにすれば、和歌山市民世帯の年間買い物総額は2,104億5,800万円と推計される。同様に、市外での買い物総額は424億3,000万円と推計される。「和歌山市外での買い物金額/買い物総額」を、市内から市外への消費購買力の「流出比率」とすれば、その比率は20.2%となる。これは前回調査の19.0%に比べて1.2ポイント増加している。

昨年1年間の買い物合計金額

(%)

	平成21年	平成11年
0～ 1万円未満	0.7	0.4
1～ 5万円未満	2.1	2.4
5～ 10万円未満	4.2	2.4
10～ 30万円未満	7.0	7.1
30～ 50万円未満	9.1	7.5
50～ 100万円未満	18.8	16.5
100～ 200万円未満	29.3	28.7
200～ 300万円未満	9.1	13.0
300～ 500万円未満	4.2	9.4
500～ 700万円未満	1.7	0.8
700～1,000万円未満	0.0	0.4
1,000万円以上	0.3	0.4
不明	13.6	11.0

昨年1年間の和歌山市での買い物金額

(%)

	平成21年	平成11年
0～ 1万円未満	1.2	6.7
1～ 5万円未満	5.6	15.7
5～ 10万円未満	8.5	17.3
10～ 30万円未満	14.1	24.8
30～ 50万円未満	10.1	12.6
50～ 100万円未満	22.6	6.3
100～ 200万円未満	25.8	4.7
200～ 300万円未満	5.2	1.2
300～ 500万円未満	3.2	0.4
500～ 700万円未満	0.4	0.0
700～1,000万円未満	0.0	0.0
1,000万円以上	0.0	0.4
不明	3.2	9.8

問8 あなたが和歌山市でよく買い物するところはどこですか。該当する商店等の番号に○印をつけてください。(3つまで)

本町周辺	1 フォルテワジマ	2 ぶらくり丁商店街	3 CITY! WAKAYAMA
	4 その他の商店	5 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)	
南海和歌山市駅周辺	6 高島屋	7 駅周辺の商店街	8 その他の商店
	9 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
JR和歌山駅周辺	10 近鉄百貨店	11 ジョワ専門店街	12 ザイポ(JR駅ビル内)
	13 駅周辺の商店街	14 イズミヤ和歌山店	15 国体道路沿いの商店
	16 コナン・オークワ中之島店	17 その他の商店	
	18 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
紀の川以北	19 パームシティ	20 オーストリート紀ノ川	21 ガーデンパーク和歌山
	22 イズミヤ紀伊川辺店	23 その他の商店	
	24 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
堀止周辺	25 マツオウ高松店	26 商店街	27 その他の商店
	28 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
紀三井寺周辺	29 オークワ紀三井寺店	30 ダイエー	31 その他の商店
	32 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
和歌浦周辺	33 商店街	34 その他の商店	
	35 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
その他の地区	36 その他の商店等	37 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)	

※ 専門店の分類 1. 食料品専門店・・・エバグリーン・業務スーパー など
2. 家電専門店・・・ヤマダ電機・ジョーシン電機・K'Sデンキ など
3. 日用品・雑貨専門店・・・コーナン・ニトリ・コメリ など
4. 衣料品専門店・・・ユニクロ・しまむら・青山 など

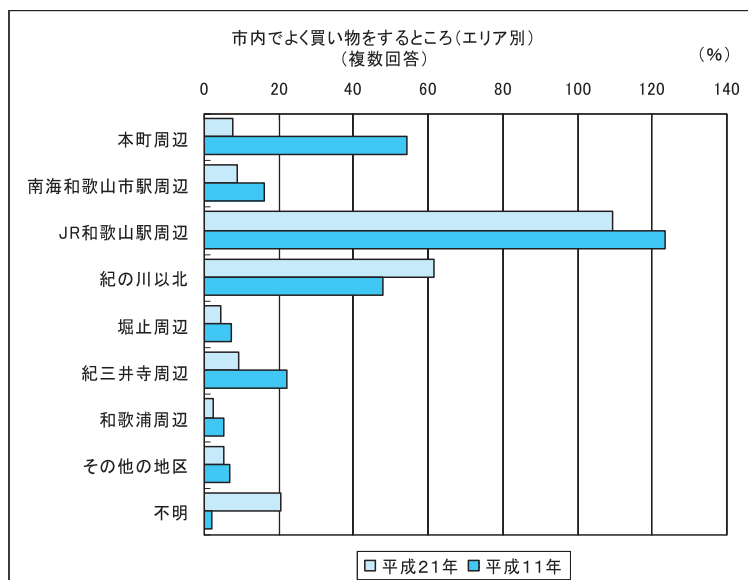
和歌山市内でよく買い物するところは、①「近鉄百貨店」が43.6%と最も多く、②「イズミヤ和歌山店」26.5%、③「パームシティ」18.8%、④「コーナン・オークワ中ノ島店」16.0%、⑤「ガーデンパーク和歌山」11.8%の順に多かった。

エリア別にみると、①JR和歌山駅周辺(前回1位)、②紀の川以北(同3位)、③紀三井寺周辺(同4位)、④南海和歌山市駅周辺(同5位)、⑤本町周辺(同2位)であった。前回調査時には、「本町周辺」(54.3%)が2番目によく行くエリアであったが、今回の調査では7.7%と激減している。前回「丸正百貨店」29.3%、「長崎屋」16.0%、「ビブレ」2.7%の回答があったが、いずれも閉店した。「本町周辺」には、「フォルテワジマ」「CITY! WAKAYAMA」が開店しているが、「よく買い物をするところ」の回答は少なかった。

紀の川以北には「オーストリート紀の川」「ガーデンパーク和歌山」「イズミヤ川辺店」などオープンし、JR和歌山駅周辺に次いで2番目によく買い物に行くエリアとなっている。

今回「専門店」として各エリアにある大型量販店も回答の選択肢にいれたところ、41.8%(全エリア合計)の回答があった。

動線的な面を前回と比較すると、今回調査時には「コーナン・



オークワ中ノ島店」がオープンし第4位であることと、紀三井寺周辺の「オークワ紀三井寺店」「ダイエー」によく行くと回答した人が減ったことから、JR和歌山駅から紀三井寺周辺までの動線が国体道路沿いの商店から中之島まで少し北にずれた結果となった。

和歌山市でよく買い物するところ(複数回答)

平成21年		件数	(%)	平成11年		件数	(%)
本町周辺 (7.7%)	フォルテウジマ	1	0.3	本町周辺 (54.3%)	丸正百貨店	110	29.3
	ぶらくり丁商店街	4	1.4		ビブレ	10	2.7
	CITY! WAKAYAMA	10	3.5		ぶらくり丁商店街	18	4.8
	その他の商店1	3	1.0		長崎屋	60	16.0
	専門店1	4	1.4		その他(本町周辺)	6	1.6
南海和歌山市駅周辺 (8.7%)	高島屋	17	5.9	南海和歌山市駅周辺 (16.2%)	高島屋	55	14.6
	和歌山市駅周辺の商店街	1	0.3		市駅周辺商店街	4	1.1
	その他の商店2	5	1.7		その他(市駅周辺)	2	0.5
	専門店2	2	0.7				
JR和歌山駅周辺 (109.4%)	近鉄百貨店	125	43.6	JR和歌山駅周辺 (123.7%)	近鉄百貨店	230	61.2
	ジョウ専門店街	4	1.4		ジョウ専門店街	19	5.1
	ヴィーボ(JR駅ビル内)	2	0.7		VIVO	10	2.7
	駅周辺の商店街	2	0.7		JR和歌山駅周辺商店街	15	4.0
	イズミヤ和歌山店	76	26.5		イズミヤ	152	40.4
	国体道路沿いの商店	11	3.8		国体道路沿いの商店	16	4.3
	コーナン・オークワ中ノ島店	46	16.0		その他(JR和歌山駅周辺)	23	6.1
	その他の商店3	4	1.4				
紀の川以北 (61.7%)	専門店3	44	15.3	松江・六十谷周辺 (47.9%)			
	バームシティ	54	18.8		バームシティ	107	28.5
	オーストリート紀ノ川	13	4.5		オークワ(六十谷)	46	12.2
	ガーデンパーク和歌山	34	11.8		その他(松江周辺)	27	7.2
	イズミヤ紀伊川辺店	25	8.7	堀止周辺 (7.2%)			
	その他の商店4	11	3.8		堀止周辺商店街	18	4.8
堀止周辺 (4.5%)	専門店4	40	13.9		その他(堀止周辺)	9	2.4
	メッサオークワ高松店	10	3.5				
	商店街	0	0.0	紀三井寺周辺 (22.3%)			
	その他の商店5	0	0.0		オークワ(紀三井寺)	17	4.5
紀三井寺周辺 (9.4%)	専門店5	3	1.0		ダイエー	54	14.4
	オークワ紀三井寺店	4	1.4		その他(紀三井寺周辺)	13	3.5
	ダイエー	12	4.2				
	その他の商店6	0	0.0	和歌浦周辺 (5.3%)			
和歌浦周辺 (2.4%)	専門店6	11	3.8		和歌浦周辺商店街	18	4.8
	和歌浦周辺商店街	1	0.3		その他(和歌浦周辺)	2	0.5
	その他の商店7	2	0.7	その他の地区 (1.9%)			
その他の地区 (5.2%)	専門店7	4	1.4		その他(その他の地区)	26	6.9
	その他の地区の商店8	3	1.0				
	専門店8	12	4.2				
	不明	59	20.6		不明	7	1.9

問9 和歌山市内の各地にある商店街での買い物についてお尋ねします。

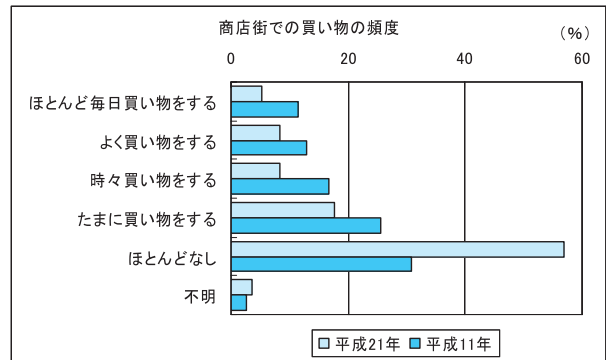
(1) あなたは商店街で買い物をしますか。(最も近いもの1つだけに○印)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. ほとんど毎日、買い物をする | 2. よく買い物をする |
| 3. 時々、買い物をする | 4. たまに、買い物をする |
| 5. ほとんど買い物をしない | |

商店街での買い物について、「ほとんど毎日買い物をする」(5.2%)と「よく買い物をする」(8.4%)を合計すると13.6%(前回24.2%)、「たまに買い物をする」(17.8%)と「ほとんど買い物をしない」(56.8%)を合計すると74.6%(前回56.4%)であった。商店街での買い物の頻度が減少しており、「ほとんど買い物をしない」が25.9ポイント増えている。

商店街での買い物の頻度

	平成21年		平成11年	
	件数	%	件数	%
ほとんど毎日買い物をする	15	5.2	43	11.4
よく買い物をする	24	8.4	48	12.8
時々買い物をする	24	8.4	63	16.8
たまに買い物をする	51	17.8	96	25.5
ほとんど買い物しない	163	56.8	116	30.9
不明	10	3.5	10	2.7



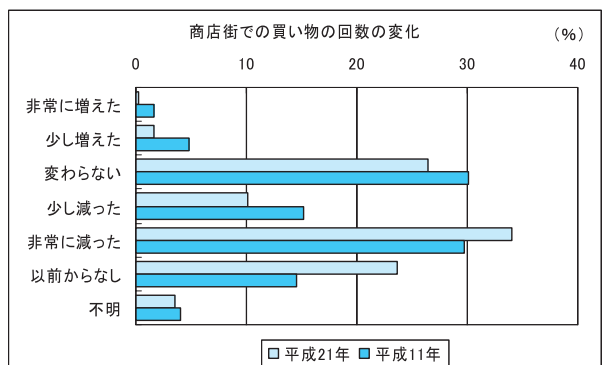
問9 (2) 以前と比べて、商店街へ買い物に行く回数は変わりましたか。(該当するもの1つだけに○印)

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 非常に増えた | 2. 少し増えた |
| 3. 以前と変わらない | 4. 少し減った |
| 5. 非常に減った | 6. 以前から商店街では買い物をしたことがない |

商店街での買い物回数の変化については、「非常に減った」が34.1%と最も多く、「少し減った」(10.1%)を合計すると、44.2%の人が減ったと回答している。一方「非常に増えた」(0.3%)、「少し増えた」(1.7%)を合計すると2.0%の人が増えたと回答し、「以前と変わらない」が26.5%であった。

商店街での買い物回数の変化

	平成21年		平成11年	
	件数	%	件数	%
非常に増えた	1	0.3	6	1.6
少し増えた	5	1.7	18	4.8
変わらない	76	26.5	113	30.1
少し減った	29	10.1	57	15.2
非常に減った	98	34.1	112	29.8
以前からなし	68	23.7	55	14.6
不明	10	3.5	15	4.0



問 10 和歌山市にある商店と和歌山市以外のお店等を比較して、以下の項目についてあなたはどのように感じていますか。該当する番号に○印を記入してください。

	項 目	和歌山市にある商店・スーパー・百貨店は 和歌山市以外の商店等に比べて				
		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	商品の鮮度や品質	1	2	3	4	5
2	商品価格の安さ	1	2	3	4	5
3	商品の品揃えの豊富さ	1	2	3	4	5
4	店の清潔度	1	2	3	4	5
5	店の華やかさ	1	2	3	4	5
6	店の雰囲気	1	2	3	4	5
7	店主・店員の対応、親切度	1	2	3	4	5
8	店主・店員の商品知識	1	2	3	4	5
9	駐車場の便利性	1	2	3	4	5
10	営業時間	1	2	3	4	5
11	店の周囲の華やかさ	1	2	3	4	5

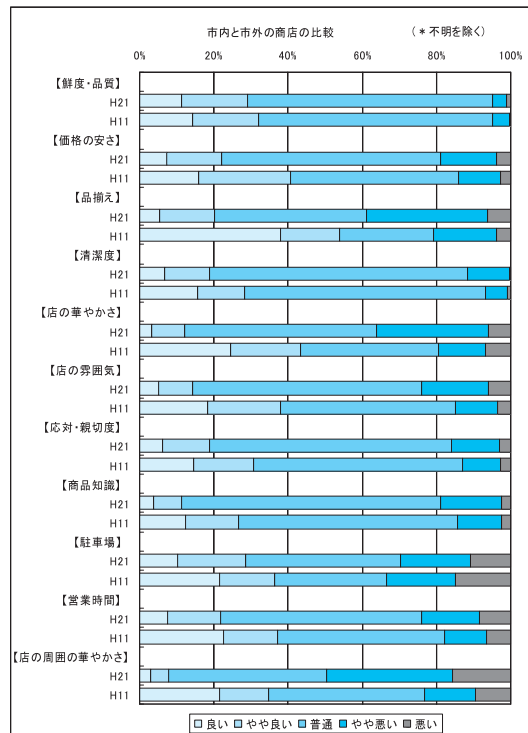
市内と市外の商店を比較してどう感じているかは、全ての項目で「普通」と感じている人が一番多かった。「良い」「やや良い」の合計を「良い」、「やや悪い」「悪い」の合計を「悪い」として比べてみると、「悪い」が「良い」を上回る項目は「品揃え」「店の華やかさ」「店の雰囲気」「店主・店員の商品知識」「駐車場の便利性」「営業時間」「店の周囲の華やかさ」の7項目である。これは、市外に買い物に行く理由と重なっている。また「鮮度・品質」「駐車場の便利性」以外の項目では「悪い」と答えた人の割合が前回より増えており、市内の商店に対する評価は下がっていると考えられる。

市内と市外の商店の比較 (％)

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
鮮度・品質	平成21年	11.3	17.8	66.0	3.6	1.2
	平成11年	14.4	17.6	63.2	4.4	0.4
価格の安さ	平成21年	7.4	14.8	59.0	15.2	3.7
	平成11年	16.0	24.8	45.2	11.2	2.8
品揃え	平成21年	5.3	14.8	41.2	32.5	6.2
	平成11年	37.9	15.9	25.4	17.0	3.8
清潔度	平成21年	6.7	12.2	69.3	11.3	0.4
	平成11年	15.7	12.7	64.8	5.9	0.8
店の華やかさ	平成21年	3.3	8.8	51.7	30.4	5.8
	平成11年	24.5	19.0	37.1	12.7	6.8
店の雰囲気	平成21年	5.0	9.2	61.8	18.1	5.9
	平成11年	18.2	19.9	47.0	11.4	3.4
対応・親切度	平成21年	6.1	12.7	65.2	13.1	2.9
	平成11年	14.5	16.1	56.5	10.1	2.8
商品知識	平成21年	3.8	7.5	69.9	16.3	2.5
	平成11年	12.3	14.3	59.0	11.9	2.5
駐車場	平成21年	10.2	18.4	41.8	18.9	10.7
	平成11年	21.6	14.8	30.1	18.6	14.8
営業時間	平成21年	7.5	14.2	54.2	15.8	8.3
	平成11年	22.6	14.5	44.9	11.5	6.4
店の周囲の華やかさ	平成21年	2.9	5.0	42.6	33.9	15.7
	平成11年	21.5	13.3	42.1	13.7	9.4

は、増加した項目

(* 不明を除く)



第2章 近隣地域住民の和歌山市での消費動向

1. 調査方法の概要

和歌山市近隣の市町を下記のように圏域区分し、各圏域の住民についてNTTが作成、配布している家庭用電話加入者の電話番号帳より無作為抽出（抽出率は平均 1.6%）した 4,070 件及び有意抽出による 163 件、合計 4,233 件に調査票を郵送により発送（回収も郵送）した。電話番号帳に掲載されている住所のため、64 件の未配達等があり、実質 4,169 件の発送となり、1,113 件の回答を得た。回収率は、26.7%であった。（平成 11 年に同様の調査を行い、5,000 件の配布に対し、1,375 件の回答（回収率 34.4%）であった。）

調査は、平成 21 年 7 月 30 日～平成 21 年 9 月 14 日の期間で行った。

圏域名	市町名	抽出率(%)
和歌山圏域	海南市	1.9
	紀美野町	1.8
那賀圏域	紀の川市	1.9
	岩出市	1.9
橋本圏域	橋本市	1.9
	かつらぎ町	1.9
	九度山町	1.9
	高野町	1.8
有田圏域	有田市	1.9
	湯浅町	1.9
	広川町	1.8
	有田川町	1.9

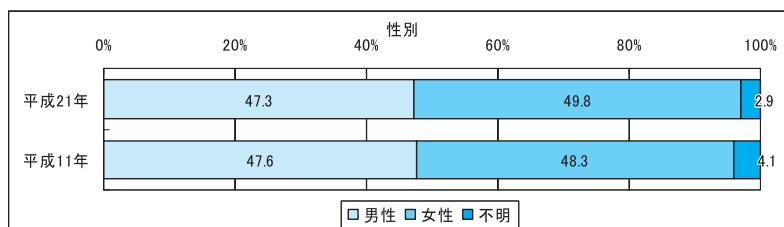
圏域名	市町名	抽出率(%)
御坊圏域	御坊市	2.2
	美浜町	2.1
	日高町	2.2
	由良町	2.2
	日高川町	2.1
大阪府南部	岬町	1.0
	阪南市	1.1
	泉南市	1.0
	泉佐野市	1.0

2. 回答者の属性について

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」47.3%、「女性」49.8%でほぼ同数であった。

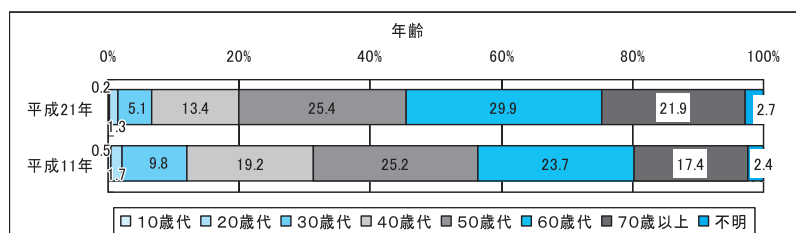
		男性	女性	不明	合計
平成21年	件数	527	554	32	1,113
	%	47.3	49.8	2.9	100.0
平成11年	件数	654	664	57	1,375
	%	47.6	48.3	4.1	100.0



(2) 年齢

最も多い年齢は「60歳代」29.9%、次いで「50歳代」25.4%、「70歳以上」21.9%であった。「60歳代」以上で51.8%を占める。また、前回の回答者の「60歳代」以上が41.1%であることから、今回は少し年齢層が上の回答者となっている。前回同様、「10歳代」「20歳代」のサンプル数が少ないことを念頭においておかなければならない。

		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
平成21年	件数	2	15	57	149	283	333	244	30	1,113
	%	0.2	1.3	5.1	13.4	25.4	29.9	21.9	2.7	100.0
平成11年	件数	7	24	135	264	347	326	239	33	1,375
	%	0.5	1.7	9.8	19.2	25.2	23.7	17.4	2.4	100.0



(3) 職業

職業は「無職」が25.1%で最も多く、「専業主婦(夫)」が19.0%、「会社員」17.2%、「自営業」14.6%の順に多い。

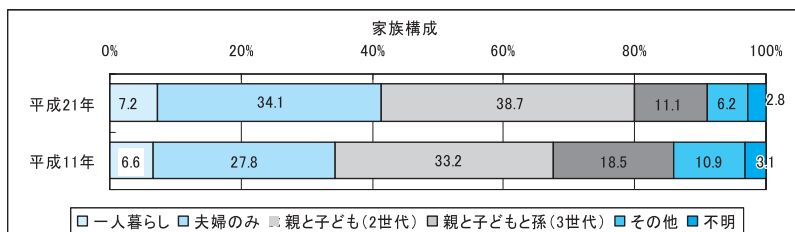
		学生	専業主婦(夫)	会社員	公務員	自営業	パート・アルバイト	無職	その他	不明	合計
平成21年	件数	7	211	191	57	162	110	279	63	33	1,113
	%	0.6	19.0	17.2	5.1	14.6	9.9	25.1	5.7	3.0	100.0

(4) 家族構成及び家族の人数

家族構成は、「親と子ども(二世帯)」が38.7%で最も多く、「夫婦のみ」34.1%、「親と子どもと孫(三世帯)」11.1%、「一人暮らし」7.2%の順に多かった。

家族の人数を尋ねたところ、「2人」が33.8%で最も多く、「3人」18.7%、「4人」17.0%、「5人」9.0%の順に多かった。

		一人暮らし	夫婦のみ	親と子ども(二世帯)	親と子どもと孫(三世帯)	その他	不明	合計
平成21年	件数	80	379	431	123	69	31	1,113
	%	7.2	34.1	38.7	11.1	6.2	2.8	100.0
平成11年	件数	91	382	456	254	150	42	1,375
	%	6.6	27.8	33.2	18.5	10.9	3.1	100.0

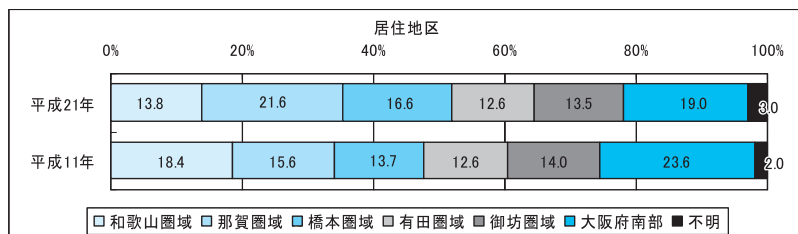


		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	不明	合計
平成21年	件数	69	376	208	189	100	91	41	39	1,113
	%	6.2	33.8	18.7	17.0	9.0	8.2	3.7	3.5	100.0

(5) 居住地

居住圏域は、「那賀圏域」21.6%、「大阪府南部」19.0%、「橋本圏域」16.6%、「和歌山圏域」13.8%、「御坊圏域」13.5%、「有田圏域」12.6%の順であった。

		和歌山圏域	那賀圏域	橋本圏域	有田圏域	御坊圏域	大阪府南部	不明	合計
平成21年	件数	154	240	185	140	150	211	33	1,113
	%	13.8	21.6	16.6	12.6	13.5	19.0	3.0	100.0
平成11年	件数	253	214	189	173	193	325	28	1,375
	%	18.4	15.6	13.7	12.6	14.0	23.6	2.0	100.0



3. 和歌山市について

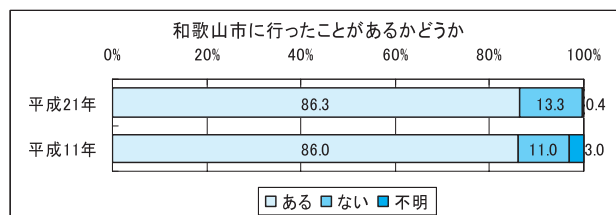
問1 あなたは、昨年1年間に和歌山市へ行ったことがありますか。

1. ある 2. ない → 問3へお進みください。

「ある」と回答した人は、86.3%、「ない」と回答した人は、13.3%であった。前回の調査から「ある」は0.3ポイント、「ない」は2.3ポイント増加している。

和歌山市に行ったことがあるかどうか

		ある	ない	不明	合計
平成21年	件数	961	148	4	1,113
	%	86.3	13.3	0.4	100.0
平成11年	件数	1,188	146	41	1,375
	%	86.0	11.0	3.0	100.0



問2 和歌山市へ行った目的は何ですか。(該当するもの全てに○印をつけてください。)

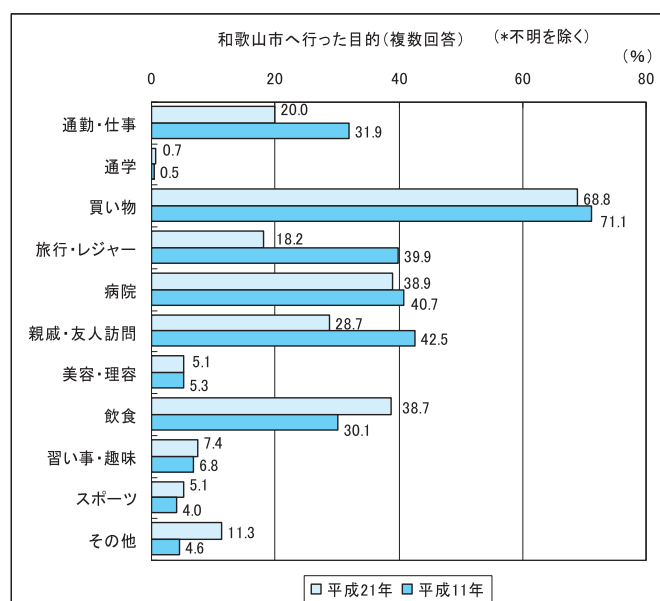
- | | | | |
|-----------|------------|-----------------|------------|
| 1. 通勤・仕事 | 2. 通学 | 3. 買い物 | 4. 旅行・レジャー |
| 5. 病院 | 6. 親戚・友人訪問 | 7. 美容・理容 | 8. 飲食 |
| 9. 習い事・趣味 | 10. スポーツ | 11. その他(具体的に:) | |

和歌山市へ行った目的は、「買い物」が68.8%で最も多く、次いで「病院」38.9%、「飲食」38.7%、「親戚、友人訪問」28.7%の順に多かった。「飲食」が8.6ポイント、「スポーツ」が1.1ポイント増えている。逆に「旅行・レジャー」で21.7ポイント、「親戚、友人訪問」で13.8ポイント減少している。

和歌山市へ行った目的(複数回答)

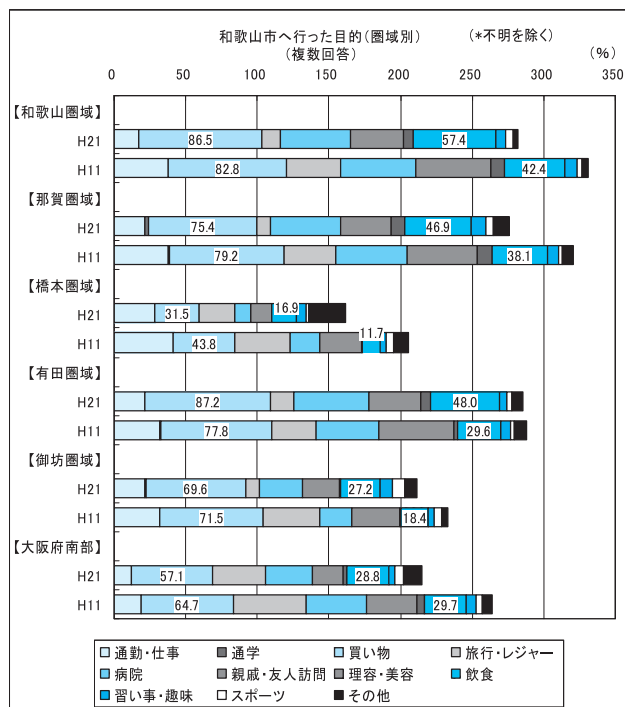
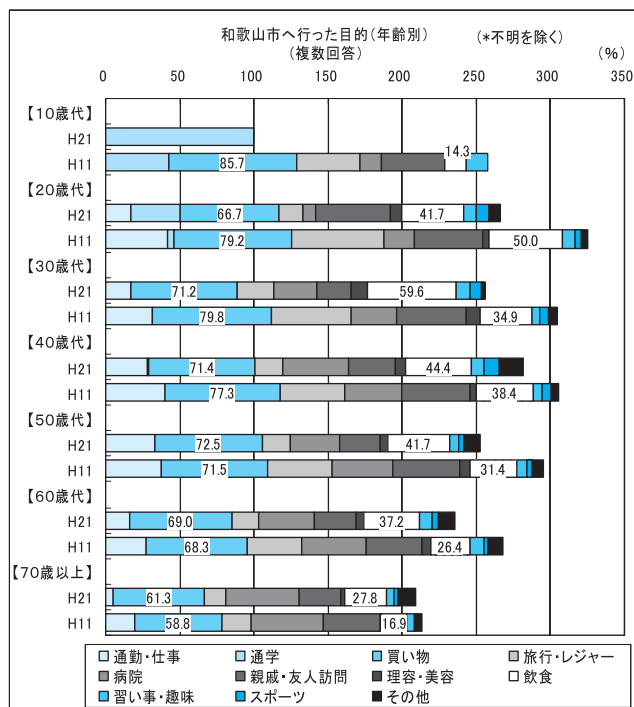
	平成21年		平成11年		増減 (A)-(B)
	件数	% (A)	件数	% (B)	
通勤・仕事	184	20.0	378	31.9	▲ 11.9
通学	8	0.7	6	0.5	0.2
買い物	638	68.8	842	71.1	▲ 2.3
旅行・レジャー	166	18.2	472	39.9	▲ 21.7
病院	362	38.9	480	40.7	▲ 1.8
親戚・友人訪問	264	28.7	503	42.5	▲ 13.8
美容・理容	47	5.1	63	5.3	▲ 0.2
飲食	356	38.7	356	30.1	8.6
習い事・趣味	67	7.4	80	6.8	0.6
スポーツ	47	5.1	47	4.0	1.1
その他	105	11.3	83	4.6	6.7

(*不明を除く)



年齢別にみると、どの年代も「買い物」が最も多く、「30 歳代」から「50 歳代」までは「飲食」が 2 番目に多い。「60 歳代」以上では、「病院」が 2 番目に多く、「20 歳代」では「親戚・友人訪問」が 2 番目に多かった。

圏域別にみると、やはりどの圏域も「買い物」が最も多い。2 番目、3 番目は圏域に少しばらつきがある。「和歌山圏域」は②「飲食」③「病院」、「那賀圏域」は②「病院」③「飲食」、「橋本圏域」は②「通勤・仕事」③「旅行・レジャー」、「大阪府南部」は②「旅行・レジャー」③「病院」であった。前回と比較すると、どの圏域も「飲食」が順位を上げ、「親戚・友人訪問」が順位を下げた。「通勤・仕事」も「那賀圏域」「有田圏域」「御坊圏域」で順位を下げた。



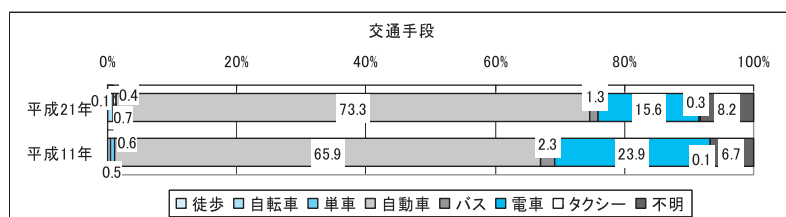
問3 和歌山市へ行く場合、主にどの交通手段を利用しますか。(1つだけに○印)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 単車 4. 自動車
5. バス 6. 電車 7. タクシー

和歌山市への交通手段は、「自動車」が73.3%、「電車」15.6%で、他の交通手段は少ない。前回と比較すると、「自動車」が7.4ポイント増え、「電車」が8.3ポイント減っている。

和歌山市への交通手段

		徒歩	自転車	単車	自動車	バス	電車	タクシー	不明	合計
平成21年	件数	1	8	5	816	15	174	3	91	1,113
	%	0.1	0.7	0.4	73.3	1.3	15.6	0.3	8.2	100.0
平成11年	件数	0	7	8	906	32	329	1	92	1,375
	%	0.0	0.5	0.6	65.9	2.3	23.9	0.1	6.7	100.0

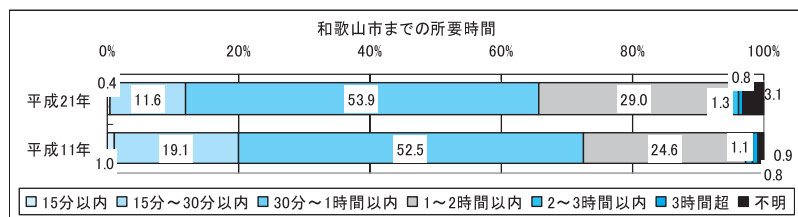


問4 和歌山市内の目的地までの所要時間はどれくらいですか。(1つだけに○印)

1. 15分以内 2. 15～30分以内 3. 30分～1時間以内
4. 1～2時間以内 5. 2～3時間以内 6. 3時間を超える

所要時間は、「30分から1時間以内」が53.9%、「1時間から2時間以内」が29.0%であった。2時間以内で94.9%を占める。

		15分以内	15分～30分以内	30分～1時間以内	1～2時間以内	2～3時間以内	3時間超	不明	合計
平成21年	件数	4	129	600	323	14	9	34	1,113
	%	0.4	11.6	53.9	29.0	1.3	0.8	3.1	100.1
平成11年	件数	12	227	624	292	13	9	11	1,188
	%	1.0	19.1	52.5	24.6	1.1	0.8	0.9	100.0



4. 和歌山市での買い物について

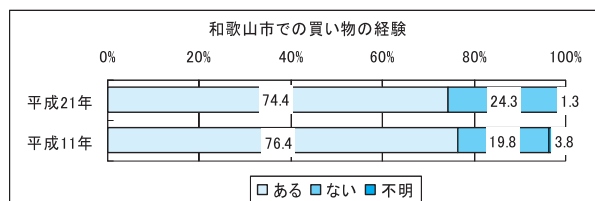
問5 昨年1年間に和歌山市で買い物をしたことがありますか。

1. ある 2. ない → 問13へお進みください。

「ある」と回答した人は、74.4%、「ない」と回答した人は、24.3%であった。前回の調査から「ある」は2.0ポイント減っている。

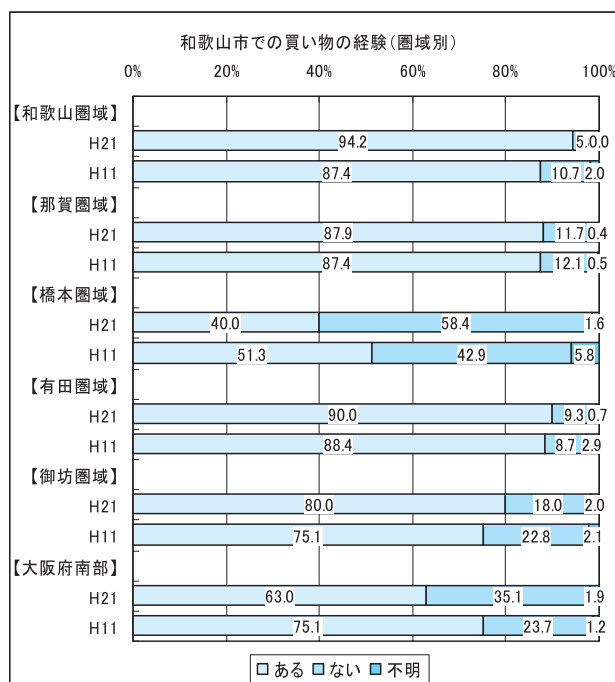
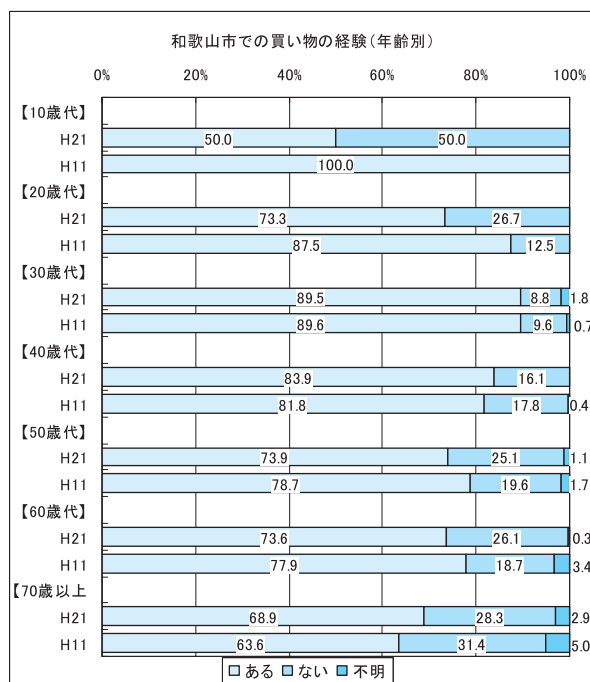
和歌山市での買い物の経験

		ある	ない	不明	合計
平成21年	件数	828	270	15	1,113
	%	74.4	24.3	1.3	100.0
平成11年	件数	1,051	272	52	1,375
	%	76.4	19.8	3.8	100.0



年齢別では、「30歳代」が一番多く、89.5%が「ある」と回答した。「40歳代」2.1ポイント、「70歳以上」が5.3ポイントそれぞれ増加し、「20歳代」が14.2ポイント、「50歳代」が4.8ポイント、それぞれ減少した。

圏域別にみると、「和歌山市で買い物をした」と回答した人が「和歌山圏域」「那賀圏域」「有田圏域」「御坊圏域」で80%を超えるが、「大阪府南部」(68.9%)と「橋本圏域」(40.0%)では「買い物をした人」は少なく、この圏域は前回からの下がり幅も大きい。



問6 あなたは、どの程度和歌山市で買い物をしますか。(最も近いもの、1つに○印)

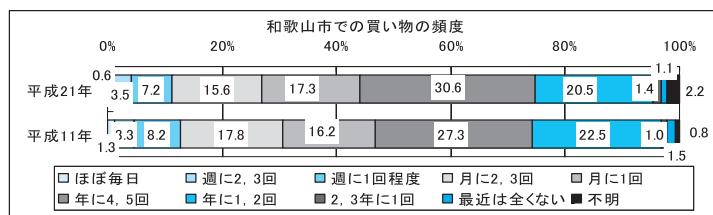
1. ほぼ毎日 2. 週に2, 3回 3. 週に1回程度 4. 月に2, 3回
5. 月に1回 6. 年に4, 5回 7. 年に1, 2回 8. 2, 3年に1回
9. 以前は和歌山市で買い物をしたが、最近は全く和歌山市で買い物をしない。

和歌山市での買い物の頻度が多かったのは、「年に4, 5回」(30.6%)、「年に1, 2回」(20.5%)、「月に1回」(17.3%)、「月に2, 3回」(15.6%)であった。

和歌山市内での買い物の頻度

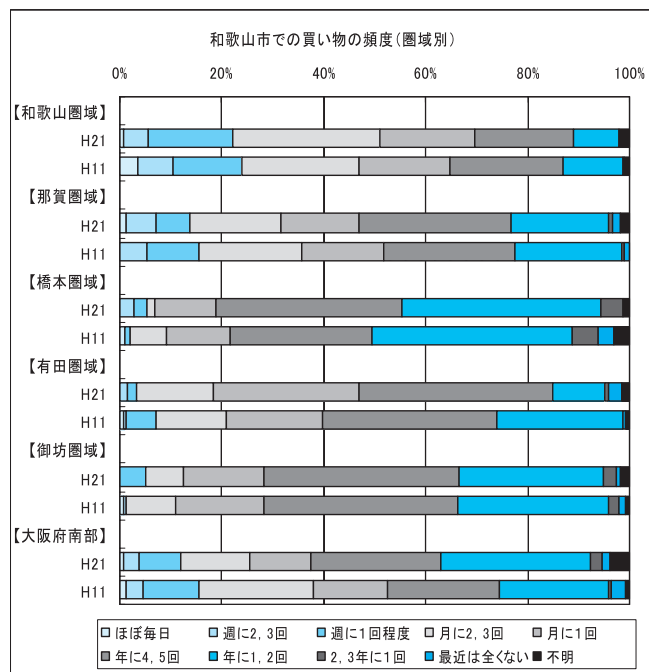
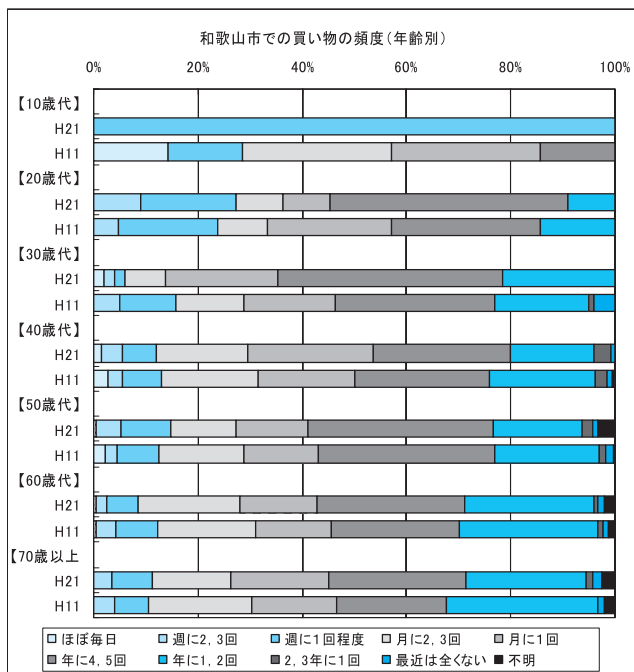
		ほぼ毎日	週に2, 3回	週に1回程度	月に2, 3回	月に1回	年に4, 5回	年に1, 2回	2, 3年に1回	以前はあったが最近全くない	不明	合計
平成21年	件数	5	29	60	129	143	253	170	12	9	18	828
	%	0.6	3.5	7.2	15.6	17.3	30.6	20.5	1.4	1.1	2.2	100.0
平成11年	件数	14	35	86	187	170	287	237	11	16	8	1,051
	%	1.3	3.3	8.2	17.8	16.2	27.3	22.5	1.0	1.5	0.8	100.0

は増えた項目



年齢別にみると、どの年代も「年に4, 5回」が最も多く、「40 歳代」より若い世代は、2 番目に「月1回」になるが、「50 歳代」以上は、2 番目は「年に1, 2回」と回数は減る。前回と比較すると、「20 歳代」「40 歳代」「50 歳代」は「週に2, 3回」買い物をする人が増えている。

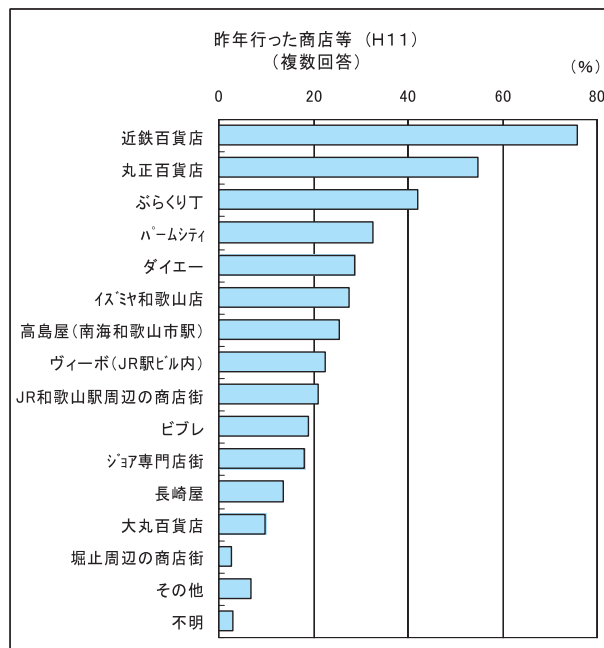
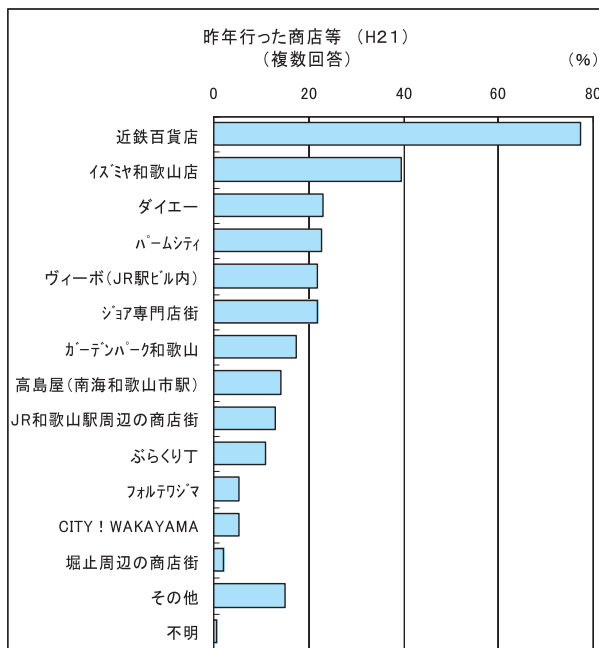
圏域別にみると、「和歌山圏域」は、「月に2, 3回」が最も多く、前回と比較すると、「週に1回程度」から「月に1回」が増えている。「和歌山圏域」以外の圏域では「年に4, 5回」が最も多く、また前回より増えている。「大阪府南部」は「ほぼ毎日」から「月に1回程度」が減り、「年に4, 5回」から「2, 3年に1回」が増えていることから、和歌山市での買い物の頻度は減っていることがわかる。



問 7 あなたが昨年 1 年間に行ったことがある商店等全てに○印をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------------|------------------|
| 1. 近鉄百貨店 | 2. ジョア専門店街 | 3. ヴィーボ（ＪＲ駅ビル内） |
| 4. ぶらくり丁 | 5. 高島屋（南海和歌山市駅） | 6. イズミヤ和歌山店 |
| 7. ダイエー | 8. パームシティ | 9. フォルテワジマ |
| 10. ガーデンパーク和歌山 | 11. CITY！WAKAYAMA | 12. ＪＲ和歌山駅周辺の商店街 |
| 13. 堀止周辺の商店街 | 14. その他（具体的に： | ） |

昨年 1 年間に行ったことがある商店は、「近鉄百貨店」（77.2％）が最も多く、「イズミヤ和歌山店」（39.7％）、「ダイエー」（23.1％）、「パームシティ」（22.7％）、「ヴィーボ」（21.9％）の順に多かった。前は 2 番目「丸正百貨店」（54.9％）、3 番目に「ぶらくり丁」（42.1％）の中心商業地が入っていたが、今回中心商業地で最も多かったのは 11 番目の「ぶらくり丁」（11.0％）という結果であった。



【平成 11 年調査の選択肢】

- | | | | |
|------------------|------------------|------------|-------------|
| 1. 丸正百貨店 | 2. ビブレ | 3. 大丸 | 4. ぶらくり丁 |
| 5. 近鉄百貨店 | 6. 高島屋（南海和歌山市駅） | 7. 長崎屋 | |
| 8. イズミヤ | 9. ダイエー | 10. パームシティ | 11. ジョア専門店街 |
| 12. ＪＲ和歌山駅周辺の商店街 | 13. ヴィーボ（ＪＲ駅ビル内） | | |
| 14. 堀止周辺の商店街 | 15. その他（具体的に： | | ） |

問8 あなたが和歌山市でよく買い物するところはどこですか。該当する商店等の番号に○印をつけてください。(3つまで)

本 町 周 辺	1 フォルテワジマ	2 ぶらくり丁商店街	3 CITY! WAKAYAMA
	4 その他の商店	5 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)	
南海和歌山市駅周辺	6 高島屋	7 駅周辺の商店街	8 その他の商店
	9 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
JR 和 歌 山 駅 周 辺	10 近鉄百貨店	11 ジョワ専門店街	12 ガイボ(ＪＲ駅ビル内)
	13 駅周辺の商店街	14 イズミヤ和歌山店	15 国道沿いの商店
	16 コナン・オウノ中之島店	17 その他の商店	
	18 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
紀 の 川 以 北	19 パームシティ	20 オーストリート紀ノ川	21 ガーデンパーク和歌山
	22 イズミヤ紀伊川辺店	23 その他の商店	
	24 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
堀 止 周 辺	25 メッソーウ高松店	26 商店街	27 その他の商店
	28 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
紀 三 井 寺 周 辺	29 オウノ紀三井寺店	30 ダイエー	31 その他の商店
	32 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
和 歌 浦 周 辺	33 商店街	34 その他の商店	
	35 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)		
そ の 他 の 地 区	36 その他の商店等	37 専門店(下記※から選び番号を記入してください。)	

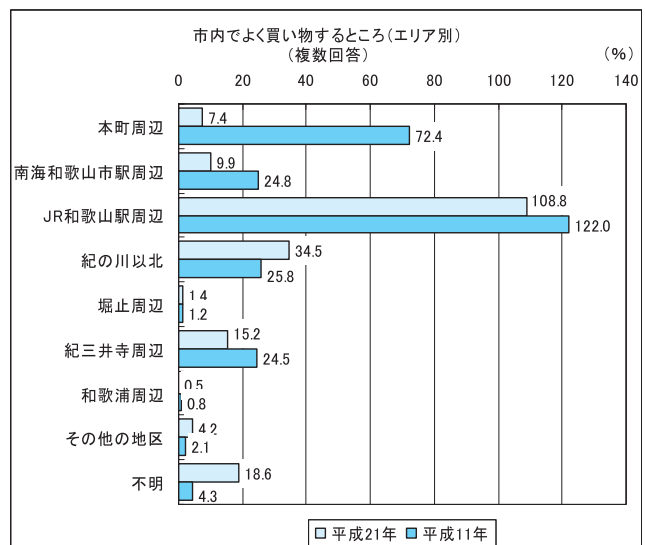
※ 専門店の分類 1. 食料品専門店・・・エバグリーン・業務スーパー など
2. 家電専門店・・・ヤマダ電機・ジョーシン電機・K'Sデンキ など
3. 日用品・雑貨専門店・・・コナン・ニトリ・コメリ など
4. 衣料品専門店・・・ユニクロ・しまむら・青山 など

和歌山市内でよく買い物するところは、①「近鉄百貨店」(55.8%) が最も多く、②「イズミヤ和歌山店」(21.5%)、③「イズミヤ紀伊川辺店」(10.5%)、④「パームシティ」(10.4%)、⑤「ジョワ専門店街」(9.2%) の順に多かった。

エリア別に見てみると、①JR 和歌山駅周辺(前回 1 位)、②紀の川以北(同 3 位)、③紀三井寺周辺(同 5 位)、④南海和歌山市駅周辺(同 4 位)、⑤本町周辺(同 2 位)であった。前回調査時には、「本町周辺」(72.4%) が 2 番目によく行くエリアであったが、今回の調査では 7.4%と激減している。「丸正百貨店」「長崎屋」が閉店し、同じ場所に「フォルテワジマ」「CITY! WAKAYAMA」がそれぞれ開店しているが、「よく買い物をするところ」の回答は少なかった。

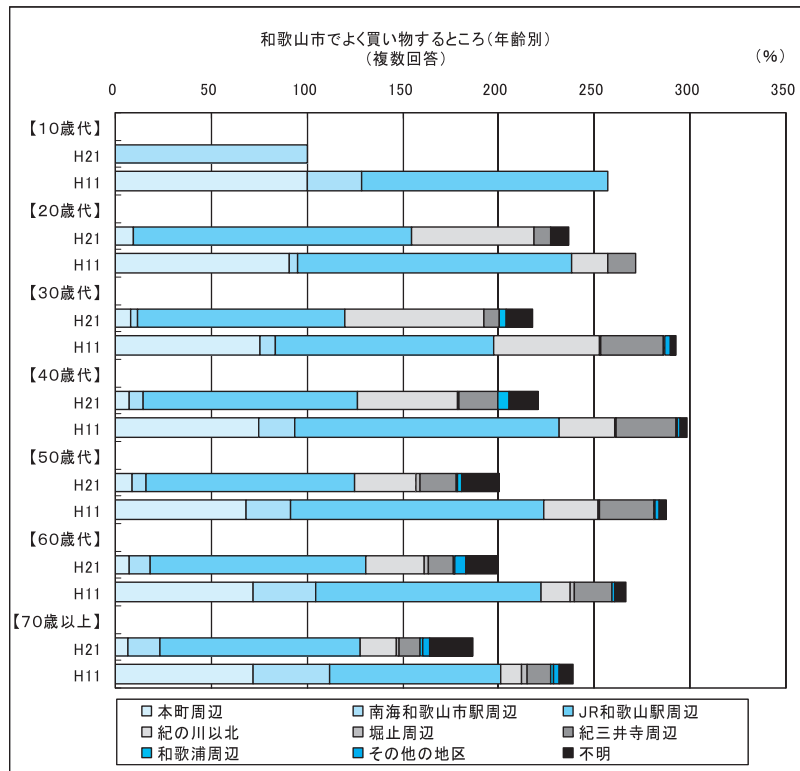
紀の川以北には「オーストリート紀の川」「ガーデンパーク和歌山」「イズミヤ川辺店」などがオープンし、「JR 和歌山駅周辺」に次いで 2 番目によく買い物に行くエリアとなっている。

今回「専門店」として各エリアにある大型量販店も回答の選択肢にいたところ、18.7%(全エリア合計)の回答があった。



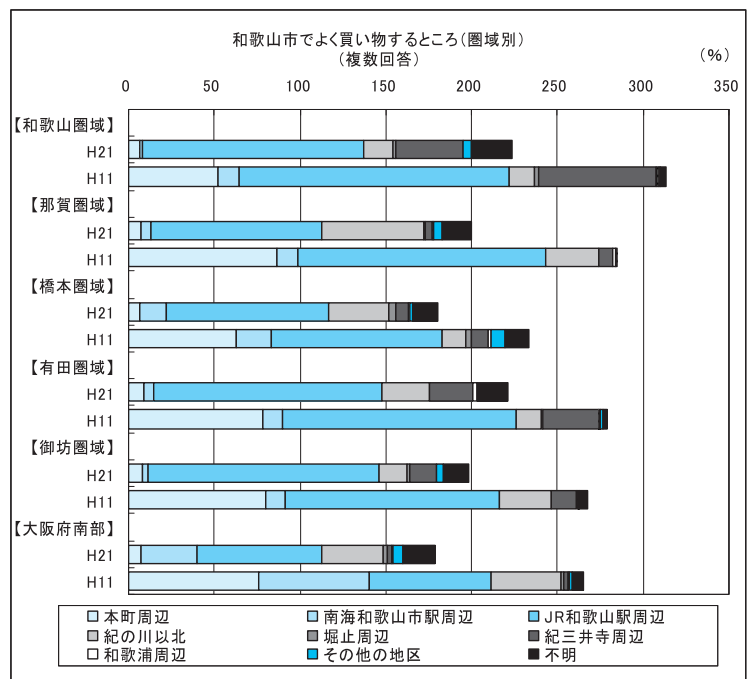
平成21年				平成11年			
		件数	%			件数	%
本町周辺 (7.4%)	フォルテワジマ	7	0.8	本町周辺 (72.4%)	丸正百貨店	382	36.3
	ぶらくり丁商店街	35	4.2		ビブレ	85	8.1
	CITY！WAKAYAMA	13	1.6		ぶらくり丁	201	19.1
	その他の商店1	2	0.2		長崎屋	63	6.0
	専門店1	4	0.5		その他の商店	30	2.9
南海和歌山市 駅周辺 (9.9%)	高島屋	64	7.7	南海和歌山市 駅周辺 (24.8%)	高島屋(南海和歌山市駅)	211	20.1
	和歌山市駅周辺の商店街	10	1.2		和歌山市駅周辺の商店街	42	4.0
	その他の商店2	4	0.5		その他の商店	8	0.8
	専門店2	4	0.5				
JR和歌山駅 周辺 (108.8%)	近鉄百貨店	462	55.8	JR和歌山駅周 辺 (122.0%)	近鉄百貨店	711	67.6
	ジョワ専門店街	76	9.2		ジョワ専門店街	101	9.6
	ヴィーボ(JR駅ビル内)	60	7.2		ヴィーボ(JR駅ビル内)	134	12.7
	駅周辺の商店街	22	2.7		JR和歌山駅周辺の商店街	63	6.0
	イズミヤ和歌山店	178	21.5		イズミヤ和歌山店	193	18.4
	国体道路沿いの商店	39	4.7		国体道路沿いの商店	69	6.6
	ユナン・オークワ中ノ島店	17	2.1		その他の商店	11	1.0
	その他の商店3	8	1.0				
紀の川以北 (34.5%)	専門店3	39	4.7	松江・六十谷 周辺 (25.8%)	バームシティ	237	22.5
	バームシティ	86	10.4		オークワ(六十谷)	24	2.3
	オーストリート紀ノ川	12	1.4		その他の商店	10	1.0
	ガーデンパーク和歌山	45	5.4				
	イズミヤ紀伊川辺店	87	10.5	堀止周辺 (1.2%)	堀止周辺の商店街	12	1.1
堀止周辺 (1.4%)	その他の商店4	13	1.6		その他の商店	1	0.1
	専門店4	43	5.2				
	メッサオークワ高松店	7	0.8	紀三井寺周辺 (24.5%)	オークワ紀三井寺店	42	4.0
	商店街	2	0.2		ダイエー	186	17.7
紀三井寺周辺 (15.2%)	その他の商店5	3	0.4		その他の商店	29	2.8
	専門店5	0	0.0				
	オークワ紀三井寺店	29	3.5	和歌浦周辺 (0.8%)	和歌浦周辺商店街	5	0.5
	ダイエー	59	7.1		その他の商店	3	0.3
和歌浦周辺 (0.5%)	その他の商店6	5	0.6				
	専門店6	33	4.0	その他の地区 (2.1%)	その他	22	2.1
	和歌浦周辺商店街	1	0.1				
	その他の商店7	2	0.2				
その他の地区 (4.2%)	専門店7	1	0.1				
	その他の商店8	4	0.5				
	専門店8	31	3.7				
	不明	154	18.6		不明	45	4.3

年齢別にみると、全ての年代で「近鉄百貨店」が最も多く、2番目は、「20歳代」が「ジョワ専門店街」「ヴィーボ」「ガーデンパーク和歌山」、「30歳代」は「バームシティ」、「40歳代」以上が「イズミヤ和歌山店」となっている。前回は、「30歳代」以外は2番目に「丸正百貨店」が多く、「本町周辺」での買い物が多かったが、今回の調査では、「本町周辺」はどの年代も「よく買い物するところ」と回答する人は少なかった。



平成21年		(%)							平成11年		(%)						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
本町周辺	フォルテワジマ	0.0	0.0	2.0	0.0	1.9	0.8	0.0	本町周辺	丸正百貨店	14.3	38.1	32.2	28.7	39.2	42.5	37.5
	ぶらくり丁商店街	0.0	0.0	2.0	2.4	3.3	5.3	6.5		ビブレ	42.9	33.3	19.0	13.4	5.9	1.6	0.7
	CITY！WAKAYAMA	0.0	9.1	3.9	4.0	1.9	0.4	0.0		ぶらくり丁商店街	42.9	19.0	18.2	20.8	15.0	18.9	25.0
	その他の商店1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4	0.0		長崎屋	0.0	0.0	3.3	8.8	5.9	5.1	6.6
	専門店1	0.0	0.0	0.0	0.8	1.4	0.0	0.0		その他	0.0	0.0	2.5	3.2	2.6	3.9	2.0
南海和歌山市駅周辺	高島屋	0.0	0.0	3.9	4.8	4.8	9.0	14.3	南海和歌山市駅周辺	高島屋	14.3	0.0	8.3	16.2	20.1	25.2	29.6
	市駅周辺の商店街	0.0	0.0	0.0	1.6	1.4	1.2	1.2		市駅周辺商店街	0.0	4.8	0.0	1.4	2.9	6.3	8.6
	その他の商店2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.6		その他	14.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.8	2.0
	専門店2	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.6									
JR和歌山駅周辺	近鉄百貨店	0.0	45.5	43.1	51.2	56.5	60.4	60.1	JR和歌山駅周辺	近鉄百貨店	42.9	81.0	59.5	68.5	76.2	68.5	54.6
	ジョワ専門店街	0.0	36.4	19.6	13.6	8.6	7.8	4.8		ジョワ専門店街	28.6	19.0	15.7	12.5	11.4	4.7	3.3
	ヴィーボ（JR駅ビル内）	0.0	36.4	7.8	7.2	5.3	8.2	7.1		VIVO	57.1	28.6	7.4	19.0	11.4	9.8	10.5
	駅周辺の商店街	0.0	9.1	0.0	0.0	3.8	1.6	5.4		駅周辺商店街	0.0	0.0	2.5	3.7	5.5	8.7	9.9
	イズミヤ和歌山店	0.0	0.0	23.5	28.0	21.1	21.6	17.3		イズミヤ	0.0	9.5	23.1	24.1	19.4	17.7	7.2
	国体道路沿いの商店	0.0	9.1	2.0	6.4	5.7	4.5	3.6		国体道路沿いの商店街	0.0	4.8	5.8	8.8	7.3	6.7	3.3
	コナン・オークワ中ノ島店	0.0	0.0	5.9	2.4	1.9	2.4	0.6		その他	0.0	0.0	0.0	1.4	1.1	1.6	0.7
	その他の商店3	0.0	0.0	2.0	0.8	0.0	1.6	1.2									
	専門店3	0.0	9.1	3.9	2.4	6.2	4.9	4.8									
紀の川以北	パームシティ	0.0	9.1	29.4	16.8	5.3	9.8	7.1	松江・六十谷周辺	パームシティ	0.0	19.0	50.4	26.4	23.8	15.0	5.9
	オー 스트リート紀ノ川	0.0	9.1	2.0	3.2	1.0	1.2	0.6		オークワ（六十谷）	0.0	0.0	3.3	1.9	4.0	0.4	2.0
	ガーデンパーク和歌山	0.0	36.4	15.7	8.0	5.3	3.3	2.4		その他	0.0	0.0	1.7	0.9	0.4	0.4	2.6
	イズミヤ紀伊川辺店	0.0	0.0	15.7	16.0	12.0	11.0	4.2									
	その他の商店4	0.0	0.0	0.0	2.4	1.4	1.6	1.2									
	専門店4	0.0	9.1	9.8	5.6	7.2	3.7	3.0									
堀止周辺	メッサオークワ高松店	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	1.2	0.6	堀止周辺	堀止周辺商店街	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	2.0	3.3
	商店街	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0		その他	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	その他の商店5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2									
	専門店5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
紀三井寺周辺	オークワ紀三井寺店	0.0	0.0	2.0	5.6	2.9	3.3	1.8	紀三井寺周辺	オークワ（紀三井寺）	0.0	0.0	7.4	4.6	3.7	3.9	2.0
	ダイエー	0.0	0.0	2.0	7.2	7.7	7.3	8.3		ダイエー	0.0	4.8	21.5	21.3	22.7	13.8	9.9
	その他の商店6	0.0	9.1	0.0	0.8	0.5	0.4	0.6		その他	0.0	9.5	3.3	5.6	2.6	1.6	0.0
	専門店6	0.0	0.0	3.9	7.2	7.7	2.4	0.0									
和歌浦周辺	和歌浦周辺商店街	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	和歌浦周辺	和歌浦周辺商店街	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	2.0
	その他の商店7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6		その他	0.0	0.0	0.8	0.9	0.0	0.0	0.0
	専門店7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0									
その他の地区	その他の地区の商店8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.6	その他の地区	その他	0.0	0.0	3.3	1.4	2.6	1.6	2.6
	専門店8	0.0	0.0	3.9	4.8	2.4	5.3	3.0									
不明		0.0	9.1	13.7	15.2	19.6	15.9	22.6	不明		0.0	0.0	2.5	3.7	3.3	5.5	7.2

圏域別でみると、「和歌山圏域」「有田圏域」では、①「近鉄百貨店」②「イズミヤ和歌山店」③「ダイエー」、「那賀圏域」では、①「近鉄百貨店」②「イズミヤ紀伊川辺店」③「イズミヤ和歌山店」、「橋本圏域」では、①「近鉄百貨店」②「パームシティ」③「ジョワ専門店街」、「御坊圏域」では、①「近鉄百貨店」②「ヴィーボ」③「イズミヤ和歌山店」、「大阪府南部」では、①「近鉄百貨店」②「高島屋」③「パームシティ」の順に多かった。全圏域で、「本町周辺」に買い物に行く人が大幅に減っている。



平成21年		(%)						平成11年		(%)					
		和歌山 圏域	那賀 圏域	橋本 圏域	有田 圏域	御坊 圏域	大阪府 南部			和歌山 圏域	那賀 圏域	橋本 圏域	有田 圏域	御坊 圏域	大阪府 南部
本町周辺	フォルテワジマ	0.7	0.9	1.4	1.6	-	0.8	本町周辺	丸正百貨店	31.2	39.0	34.0	40.5	33.8	38.9
	ぶらくり丁商店街	4.1	3.8	4.1	3.2	5.8	5.3		ビブレ	4.5	12.3	1.0	9.8	14.5	6.1
	CITY！WAKAYAMA	0.7	1.4	-	4.0	1.7	1.5		ぶらくり丁商店街	10.9	17.6	16.5	22.2	25.5	23.0
	その他の商店1	-	0.5	1.4	-	-	-		長崎屋	2.7	12.8	8.2	4.6	4.8	4.5
	専門店1	0.7	0.9	-	-	0.8	-		その他	3.2	4.3	3.1	1.3	1.4	3.3
南海和歌山市駅周辺	高島屋	1.4	5.7	8.1	4.0	1.7	27.8	南海和歌山市駅周辺	高島屋	9.5	9.6	16.5	9.8	8.3	52.5
	市駅周辺の商店街	0.7	-	2.7	1.6	0.8	3.0		市駅周辺商店街	0.9	2.7	3.1	1.3	2.8	10.7
	その他の商店2	-	-	1.4	-	0.8	-		その他	1.4	0.0	1.0	0.0	0.0	1.6
	専門店2	-	-	2.7	-	-	1.5								
JR和歌山駅周辺	近鉄百貨店	50.3	60.2	52.7	61.1	67.5	45.9	JR和歌山駅周辺	近鉄百貨店	76.9	84.0	59.8	72.5	73.8	43.9
	ジョウ専門店街	6.2	9.5	10.8	11.1	12.5	6.8		ジョウ専門店街	13.1	12.8	5.2	9.8	11.7	4.5
	ヴィーボ(JR駅ビル内)	4.8	6.6	9.5	4.0	16.7	5.3		VIVO	9.5	16.6	16.5	18.3	15.2	6.6
	駅周辺の商店街	2.1	1.9	2.7	3.2	4.2	3.0		駅周辺商店街	5.4	5.9	11.3	5.9	6.2	4.5
	イズミヤ和歌山店	42.8	14.7	9.5	41.3	15.0	3.0		イズミヤ	38.9	21.9	3.1	19.0	12.4	5.7
	国体道路沿いの商店	9.7	1.4	4.1	5.6	9.2	0.8		国体道路沿い商店街	13.1	2.1	1.0	10.5	5.5	4.1
	ユナン・オークワ中ノ島店	2.8	0.9	-	1.6	1.7	5.3		その他	0.5	1.6	2.1	0.7	0.7	1.2
	その他の商店3	0.7	0.5	2.7	0.8	-	2.3								
	専門店3	9.7	3.8	2.7	4.8	7.5	-								
紀の川以北	バームシティ	6.9	7.6	12.2	11.1	9.2	16.5	松江・六十谷周辺	バームシティ	14.5	22.5	14.4	13.1	27.6	36.1
	オーストリート紀ノ川	-	3.8	-	0.8	-	1.5		オークワ(六十谷)	0.0	7.5	0.0	1.3	2.1	2.0
	ガーデンパーク和歌山	3.4	6.6	2.7	11.1	4.2	3.8		その他	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	2.9
	イズミヤ紀伊川辺店	3.4	31.8	9.5	1.6	0.8	3.8								
	その他の商店4	0.7	1.4	1.4	0.8	1.7	3.0								
	専門店4	2.8	8.1	9.5	2.4	0.8	7.5								
堀止周辺	メッサオークワ高松店	1.4	0.5	1.4	-	0.8	1.5	堀止周辺	堀止周辺商店街	2.3	0.0	3.1	0.7	0.0	1.2
	商店街	-	-	1.4	-	0.8	-		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	その他の商店5	-	0.5	1.4	-	-	0.8								
	専門店5	-	-	-	-	-	-								
紀三井寺周辺	オークワ紀三井寺店	11.0	0.9	1.4	2.4	0.8	1.5	紀三井寺周辺	オークワ(紀三井寺)	15.8	0.5	0.0	0.7	2.1	0.8
	ダイエー	19.3	1.9	2.7	15.1	4.2	0.8		ダイエー	45.2	7.5	6.2	30.1	11.7	0.8
	その他の商店6	-	0.5	2.7	0.8	0.8	-		その他	7.7	0.0	3.1	2.6	1.4	1.2
	専門店6	8.3	0.9	-	6.3	9.2	-								
和歌浦周辺	和歌浦周辺商店街	-	-	1.4	-	-	-	和歌浦周辺	和歌浦周辺商店街	1.4	0.0	1.0	0.7	0.0	0.0
	その他の商店7	-	0.5	-	-	-	0.8		その他	0.0	0.0	1.0	0.0	0.7	0.4
	専門店7	-	-	-	-	-	0.8								
その他の地区	その他の地区の商店	-	0.9	1.4	-	-	0.8	その他の地区	その他	1.4	1.6	8.2	1.3	0.7	2.0
	専門店8	5.5	3.8	-	3.2	4.2	4.5								
不明		23.4	17.1	14.9	17.5	15.0	18.8	不明		2.7	0.5	13.4	2.6	4.8	5.7

問9 あなたが次の商品を買う場合、どれくらい和歌山市で買い物をしますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

		たいてい和歌山市で買い物をする	よく和歌山市で買い物をする	時々和歌山市で買い物をする	たまに和歌山市で買い物をする	和歌山市では買い物をしない
1	食料品	1	2	3	4	5
2	衣服(普段着)	1	2	3	4	5
3	婦人服	1	2	3	4	5
4	紳士服	1	2	3	4	5
5	靴・履き物	1	2	3	4	5
6	鞆(かばん)	1	2	3	4	5
7	家具・じゅうたん	1	2	3	4	5
8	家電製品	1	2	3	4	5
9	化粧品	1	2	3	4	5
10	時計・メガネ・カメラ	1	2	3	4	5
11	宝石・貴金属	1	2	3	4	5
12	CD・DVD等	1	2	3	4	5
13	本	1	2	3	4	5
14	玩具・ゲーム機器等	1	2	3	4	5
15	贈答品(中元・歳暮等)	1	2	3	4	5

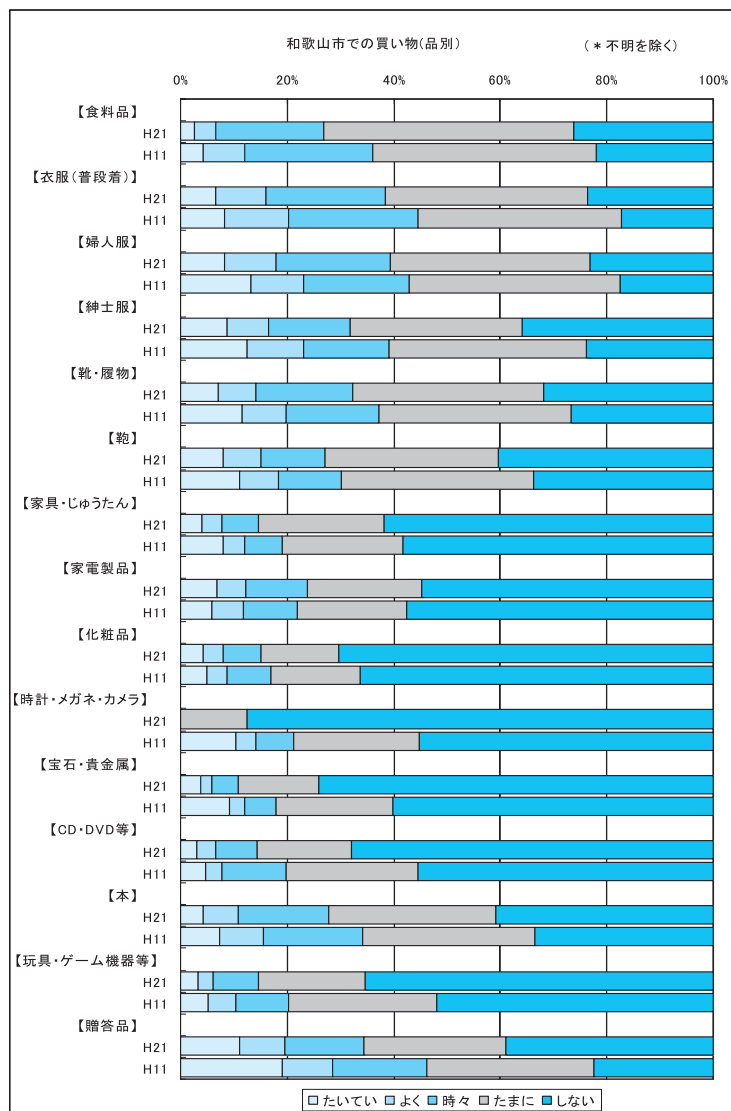
和歌山市での買い物の頻度を商品別にみると、ほとんどの品目で「たいてい和歌山市で買い物をする」「よく和歌山市で買い物をする」と回答した人が減少し、「和歌山市では買い物をしない」人が増加した。その中では「家電製品」が「たいてい」「時々」和歌山市で買い物をする人が少し増えている。

		たいてい	よく	時々	たまに	しない
食料品	平成21年	2.5	4.1	20.4	46.8	26.3
	平成11年	4.3	7.7	24.0	42.1	21.9
	増減	▲1.8	▲3.6	▲3.6	4.7	4.4
衣服(普段着)	平成21年	6.5	9.5	22.4	38.0	23.6
	平成11年	8.3	11.9	24.3	38.2	17.3
	増減	▲1.8	▲2.4	▲1.9	▲0.2	6.3
婦人服	平成21年	8.2	9.7	21.4	37.7	23.0
	平成11年	13.3	9.7	19.9	39.5	17.5
	増減	▲5.1	0.0	1.5	▲1.8	5.5
紳士服	平成21年	8.8	7.6	15.5	32.2	35.9
	平成11年	12.6	10.4	16.0	37.2	23.7
	増減	▲3.8	▲2.8	▲0.5	▲5.0	12.2
靴・履物	平成21年	7.2	7.0	18.1	35.9	31.9
	平成11年	11.6	8.1	17.6	36.0	26.7
	増減	▲4.4	▲1.1	0.5	▲0.1	5.2
鞆	平成21年	8.0	7.1	11.9	32.7	40.2
	平成11年	11.2	7.2	11.8	36.1	33.7
	増減	▲3.2	▲0.1	0.1	▲3.4	6.5
家具・じゅうたん	平成21年	4.1	3.7	6.8	23.6	61.8
	平成11年	7.9	4.1	7.1	22.7	58.1
	増減	▲3.8	▲0.4	▲0.3	0.9	3.7

(* 不明を除く)

		たいてい	よく	時々	たまに	しない
家電製品	平成21年	6.9	5.3	11.7	21.4	54.7
	平成11年	6.0	5.8	10.2	20.6	57.5
	増減	0.9	▲0.5	1.5	0.8	▲2.8
化粧品	平成21年	4.3	3.8	6.9	14.8	70.2
	平成11年	4.9	3.9	8.1	16.9	66.2
	増減	▲0.6	▲0.1	▲1.2	▲2.1	4.0
時計・メガネ・カメラ	平成21年	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5
	平成11年	10.3	3.9	7.1	23.5	55.1
	増減	▲10.3	▲3.9	▲7.1	▲11.0	32.4
宝石・貴金属	平成21年	3.8	2.0	5.1	15.0	74.1
	平成11年	9.3	2.7	5.9	22.1	60.1
	増減	▲5.5	▲0.7	▲0.8	▲7.1	14.0
CD・DVD等	平成21年	3.0	3.6	7.9	17.7	67.9
	平成11年	4.6	3.1	12.0	24.9	55.3
	増減	▲1.6	0.5	▲4.1	▲7.2	12.6
本	平成21年	4.3	6.5	17.0	31.4	40.7
	平成11年	7.2	8.4	18.5	32.3	33.6
	増減	▲2.9	▲1.9	▲1.5	▲0.9	7.1
玩具・ゲーム機器等	平成21年	3.3	2.9	8.4	20.0	65.5
	平成11年	5.1	5.2	9.9	27.8	52.0
	増減	▲1.8	▲2.3	▲1.5	▲7.8	13.5
贈答品	平成21年	11.1	8.5	14.9	26.5	39.0
	平成11年	19.1	9.5	17.6	31.3	22.5
	増減	▲8.0	▲1.0	▲2.7	▲4.8	16.5

(* 不明を除く)



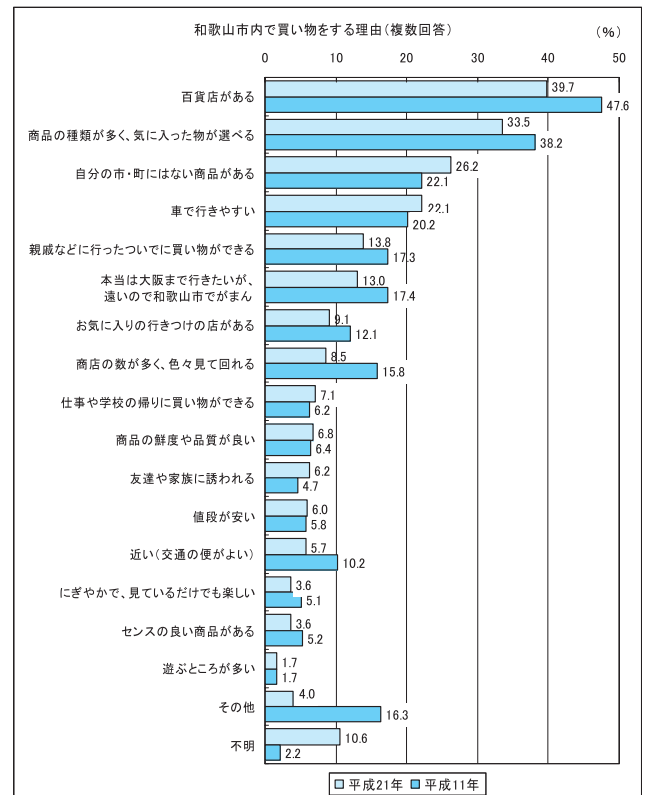
問１０ あなたが和歌山市で買い物をする理由は何ですか。次のなかから該当する理由の番号に○印をつけてください。（３つまで）

- １．にぎやかで、見ているだけでも楽しいから
- ２．商品の品質や鮮度が良いから
- ３．値段が安いから
- ４．商品の種類が多く、気に入った物が選べるから
- ５．商店の数が多く、色々見て回れるから
- ６．百貨店があるから
- ７．自分の市・町にはない商品があるから
- ８．近いから（交通の便が良いから）
- ９．お気に入りの行きつけの店があるから
- １０．車で行きやすいから
- １１．センスの良い商品があるから
- １２．友達や家族に誘われるから
- １３．親戚などに行ったついでに買い物できるから
- １４．仕事や学校の帰りに買い物できるから
- １５．遊ぶところが多いから
- １６．本当は大阪まで行きたいが、遠いので和歌山の商店で我慢している
- １７．その他（具体的に： ）

和歌山市で買い物をする理由は、「百貨店がある」（39.7％）が最も多く、「商品の種類が多く、気に入った物が選べる」（33.5％）、「自分の市・町にはない商品がある」（26.2％）、「車で行きやすい」（22.1％）の順に多かった。前回から「百貨店がある」7.9 ポイント、「商店の数が多く、色々見て回れる」7.3 ポイント、それぞれ減少している。

和歌山市で買い物をする理由（複数回答）

	平成21年 (A)	平成11年 (B)	(A)-(B)
百貨店がある	39.7	47.6	▲ 7.9
商品の種類が多く、気に入った物が選べる	33.5	38.2	▲ 4.7
自分の市・町にはない商品がある	26.2	22.1	4.1
車で行きやすい	22.1	20.2	1.9
親戚などに行ったついでに買い物ができる	13.8	17.3	▲ 3.5
大阪まで行きたいが、遠いので和歌山市で我慢	13.0	17.4	▲ 4.4
お気に入りの行きつけの店がある	9.1	12.1	▲ 3.0
商店の数が多く、色々見て回れる	8.5	15.8	▲ 7.3
仕事や学校の帰りに買い物ができる	7.1	6.2	0.9
商品の鮮度や品質が良い	6.8	6.4	0.4
友達や家族に誘われる	6.2	4.7	1.5
値段が安い	6.0	5.8	0.2
近い(交通の便がよい)	5.7	10.2	▲ 4.5
にぎやかで、見ているだけでも楽しい	3.6	5.1	▲ 1.5
センスの良い商品がある	3.6	5.2	▲ 1.6
遊ぶところが多い	1.7	1.7	0.0
その他	4.0	16.3	▲ 12.3
不明	10.6	2.2	8.4



年齢別にみると、「40 歳代」以上は、「百貨店がある」「商品の種類が多く、気に入った物が選べる」という理由が多いが、「30 歳代」以下では、「商品の種類が多く、気に入った物が選べる」との回答は少なく、前回からの下げ幅も大きい。またこの年齢層では、「商店の数が多く、色々見て回れる」も減少し、「本当は大阪まで行きたい」という回答が他の年齢層より多かった。

和歌山市で買い物をする理由

(%)

		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
百貨店がある	平成21年	0.0	18.2	39.2	39.2	43.1	41.6	37.5
	平成11年	0.0	47.6	33.9	42.6	53.5	52.8	48.0
	増減	0.0	▲ 29.4	5.3	▲ 3.4	▲ 10.4	▲ 11.2	▲ 10.5
商品の種類が多く、気に入った物が選べる	平成21年	0.0	9.1	13.7	25.6	33.0	40.0	39.3
	平成11年	14.3	38.1	42.1	38.0	34.4	38.6	42.1
	増減	▲ 14.3	▲ 29.0	▲ 28.4	▲ 12.4	▲ 1.4	1.4	▲ 2.8
自分の市・町にはない商品がある	平成21年	0.0	18.2	33.3	34.4	32.5	21.2	20.2
	平成11年	14.3	23.8	24.8	18.1	16.1	10.6	11.8
	増減	▲ 14.3	▲ 5.6	8.5	16.3	16.4	10.6	8.4
車で行きやすい	平成21年	0.0	9.1	21.6	24.8	25.4	21.6	20.2
	平成11年	0.0	33.3	22.3	26.4	22.0	17.3	10.5
	増減	0.0	▲ 24.2	▲ 0.7	▲ 1.6	3.4	4.3	9.7
親戚などに行ったついでに買い物ができる	平成21年	0.0	18.2	7.8	13.6	13.9	13.1	17.3
	平成11年	28.6	38.1	24.0	19.9	16.8	15.0	11.2
	増減	▲ 28.6	▲ 19.9	▲ 16.2	▲ 6.3	▲ 2.9	▲ 1.9	6.1
本当は大阪まで行きたいが、遠いので和歌山市でがまん	平成21年	0.0	27.3	25.5	17.6	9.6	13.1	9.5
	平成11年	14.3	0.0	16.5	16.2	20.9	15.0	19.7
	増減	▲ 14.3	27.3	9.0	1.4	▲ 11.3	▲ 1.9	▲ 10.2
お気に入りの行きつけの店がある	平成21年	0.0	9.1	9.8	13.6	14.8	3.7	7.1
	平成11年	14.3	28.6	12.4	12.5	10.3	11.4	13.8
	増減	▲ 14.3	▲ 19.5	▲ 2.6	1.1	4.5	▲ 7.7	▲ 6.7
商店の数が多く、色々見て回れる	平成21年	0.0	0.0	3.9	8.0	6.2	11.8	9.5
	平成11年	57.1	28.6	30.6	20.4	19.0	21.7	21.7
	増減	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 12.4	▲ 12.8	▲ 9.9	▲ 12.2
仕事や学校の帰りに買い物ができる	平成21年	100.0	36.4	2.0	10.4	11.5	5.3	1.8
	平成11年	28.6	14.3	6.6	7.4	8.8	3.1	2.0
	増減	71.4	22.1	▲ 4.6	3.0	2.7	2.2	▲ 0.2
商品の鮮度や品質が良い	平成21年	0.0	0.0	2.0	3.2	5.7	9.8	8.9
	平成11年	14.3	14.3	6.6	6.9	3.7	4.3	3.9
	増減	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 4.6	▲ 3.7	2.0	5.5	5.0
友達や家族に誘われる	平成21年	0.0	9.1	0.0	6.4	7.2	4.9	7.7
	平成11年	0.0	0.0	4.1	2.3	1.1	1.2	1.3
	増減	0.0	9.1	▲ 4.1	4.1	6.1	3.7	6.4
値段が安い	平成21年	0.0	0.0	7.8	3.2	8.6	6.9	3.0
	平成11年	0.0	9.5	7.4	6.9	3.7	5.5	7.2
	増減	0.0	▲ 9.5	0.4	▲ 3.7	4.9	1.4	▲ 4.2
近い(交通の便がよい)	平成21年	0.0	18.2	11.8	8.8	5.3	4.5	3.0
	平成11年	0.0	0.0	1.7	6.0	6.2	5.5	5.9
	増減	0.0	18.2	10.1	2.8	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 2.9
にぎやかで、見ていただけでも楽しい	平成21年	0.0	0.0	0.0	4.0	3.3	3.7	5.4
	平成11年	14.3	4.8	5.0	5.1	5.9	4.7	1.3
	増減	▲ 14.3	▲ 4.8	▲ 5.0	▲ 1.1	▲ 2.6	▲ 1.0	4.1
センスの良い商品がある	平成21年	0.0	0.0	2.0	2.4	4.8	5.3	1.8
	平成11年	14.3	0.0	2.5	5.1	5.1	8.7	10.5
	増減	▲ 14.3	0.0	▲ 0.5	▲ 2.7	▲ 0.3	▲ 3.4	▲ 8.7
遊ぶところが多い	平成21年	0.0	0.0	5.9	2.4	1.0	2.0	0.6
	平成11年	14.3	14.3	13.2	9.3	15.0	11.8	8.6
	増減	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 7.3	▲ 6.9	▲ 14.0	▲ 9.8	▲ 8.0
特に理由はない	平成21年							
	平成11年	14.3	0.0	6.6	10.6	9.9	13.0	8.6
	増減							
その他	平成21年	0.0	9.1	5.9	7.2	1.4	4.9	3.0
	平成11年	0.0	0.0	4.1	4.6	3.7	4.7	5.3
	増減	0.0	9.1	1.8	2.6	▲ 2.3	0.2	▲ 2.3
不明	平成21年	0.0	9.1	7.8	4.8	8.1	9.0	16.1
	平成11年	0.0	0.0	1.7	1.4	1.5	2.8	4.6
	増減	0.0	9.1	6.1	3.4	6.6	6.2	11.5

問 1 1 あなたは、昨年 1 年間に、全部でいくら買い物をしましたか。また、そのうち和歌山市でどれくらい買い物をしましたか。下欄の金額の内でもっと近いものの番号を記入してください。

(1) 昨年 1 年間の買い物の合計金額

(2) 上記の内、和歌山市内で買い物をした金額

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 0～ 1万円未満 | 7. 100～200万円未満 |
| 2. 1～ 5万円未満 | 8. 200～300万円未満 |
| 3. 5～ 10万円未満 | 9. 300～500万円未満 |
| 4. 10～ 30万円未満 | 10. 500～700万円未満 |
| 5. 30～ 50万円未満 | 11. 700～1000万円未満 |
| 6. 50～100万円未満 | 12. 1000万円以上 |

調査結果をもとにして、近隣各圏域住民の和歌山市内での買い物金額の平均額はつぎのように試算される。

和歌山圏域：33.2 万円（前回 33 万円）、那賀圏域：27.5 万円（前回 29.2 万円）、橋本圏域 9.9 万円（前回 19.3 万円）、有田圏域：20.0 万円（前回 25.8 万円）、御坊圏域 18.1 万円（前回 15.5 万円）、大阪府南部圏域：14.8 万円（前回 18.1 万円）。前回調査に比べて、橋本圏域、有田圏域そして大阪府南部圏域での金額の減少が目立っている。

この試算結果と、各圏域の世帯数、そして問 5 での「和歌山市での買い物あり」の回答比率をもとにすれば、近隣圏域住民世帯の和歌山市での買い物総額は 360 億 5,800 万円と推計される。これは、前回調査の 405 億 3,900 万円に比べて 11.1%減少している。

昨年1年間の買い物合計金額 (%)			昨年1年間の和歌山市での買い物金額 (%)		
	平成21年		平成21年	平成11年	
0～ 1万円未満	1.7		0～ 1万円未満	8.2	8.2
1～ 5万円未満	3.5		1～ 5万円未満	25.8	25.5
5～ 10万円未満	6.6		5～ 10万円未満	24.4	21.4
10～ 30万円未満	11.5		10～ 30万円未満	20.8	20.1
30～ 50万円未満	9.4		30～ 50万円未満	8.0	10.1
50～ 100万円未満	20.0		50～ 100万円未満	5.8	6.9
100～ 200万円未満	16.3		100～ 200万円未満	1.5	3.0
200～ 300万円未満	6.9		200～ 300万円未満	0.8	0.7
300～ 500万円未満	3.3		300～ 500万円未満	0.6	
500～ 700万円未満	0.2		500～ 700万円未満	0.0	0.5
700～1,000万円未満	0.1		700～1,000万円未満	0.0	
1,000万円以上	0.0		1,000万円以上	0.0	
不明	20.4		不明	4.1	3.6

昨年1年間の和歌山市での買い物金額		(%)						
		和歌山圏域	那賀圏域	橋本圏域	有田圏域	御坊圏域	大阪府南部	不明
0～1万円未満	平成21年	3.5	6.3	18.2	3.0	4.0	18.5	7.7
	平成11年	4.5	4.3	13.4	5.2	6.2	15.2	25.0
1～5万円未満	平成21年	18.6	22.8	40.9	20.8	28.0	28.7	46.2
	平成11年	13.1	27.3	35.1	27.5	30.3	27.5	25.0
5～10万円未満	平成21年	21.2	24.7	16.7	27.7	33.0	20.4	30.8
	平成11年	19.9	18.2	22.7	23.5	30.3	18.0	25.0
10～30万円未満	平成21年	21.2	25.3	10.6	28.7	19.0	16.7	0.0
	平成11年	25.3	21.9	12.4	20.3	20.0	16.8	25.0
30～50万円未満	平成21年	15.0	8.2	3.0	9.9	6.0	4.6	0.0
	平成11年	15.4	10.2	3.1	11.8	6.9	9.0	0.0
50～100万円未満	平成21年	9.7	6.3	1.5	4.0	8.0	3.7	0.0
	平成11年	11.8	9.6	0.0	4.6	2.1	7.8	0.0
100～200万円未満	平成21年	5.3	0.6	1.5	1.0	0.0	0.9	0.0
	平成11年	5.9	4.3	2.1	2.0	1.4	1.6	0.0
200～300万円未満	平成21年	1.8	0.0	0.0	1.0	1.0	0.9	0.0
	平成11年	0.5	1.1	2.1	0.7	0.7	0.0	0.0
300万円以上	平成21年	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成11年	0.0	0.5	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0
不明	平成21年	3.5	3.2	7.6	4.0	1.0	5.6	15.4
	平成11年	3.6	2.7	8.2	2.6	2.1	4.1	0.0

問 1 1 あなたは、昨年 1 年間に、全部でいくら買い物をしましたか。また、そのうち和歌山市でどれくらい買い物をしましたか。下欄の金額の内でもっと近いものの番号を記入してください。

(1) 昨年 1 年間の買い物の合計金額

(2) 上記の内、和歌山市内で買い物をした金額

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 0～ 1万円未満 | 7. 100～200万円未満 |
| 2. 1～ 5万円未満 | 8. 200～300万円未満 |
| 3. 5～ 10万円未満 | 9. 300～500万円未満 |
| 4. 10～ 30万円未満 | 10. 500～700万円未満 |
| 5. 30～ 50万円未満 | 11. 700～1000万円未満 |
| 6. 50～100万円未満 | 12. 1000万円以上 |

調査結果をもとにして、近隣各圏域住民の和歌山市内での買い物金額の平均額はつぎのように試算される。

和歌山圏域：33.2 万円（前回 33 万円）、那賀圏域：27.5 万円（前回 29.2 万円）、橋本圏域 9.9 万円（前回 19.3 万円）、有田圏域：20.0 万円（前回 25.8 万円）、御坊圏域 18.1 万円（前回 15.5 万円）、大阪府南部圏域：14.8 万円（前回 18.1 万円）。前回調査に比べて、橋本圏域、有田圏域そして大阪府南部圏域での金額の減少が目立っている。

この試算結果と、各圏域の世帯数、そして問 5 での「和歌山市での買い物あり」の回答比率をもとにすれば、近隣圏域住民世帯の和歌山市での買い物総額は 360 億 5,800 万円と推計される。これは、前回調査の 405 億 3,900 万円に比べて 11.1%減少している。

昨年1年間の買い物合計金額 (％)			昨年1年間の和歌山市での買い物金額 (％)		
	平成21年		平成21年	平成11年	
0～ 1万円未満	1.7		0～ 1万円未満	8.2	8.2
1～ 5万円未満	3.5		1～ 5万円未満	25.8	25.5
5～ 10万円未満	6.6		5～ 10万円未満	24.4	21.4
10～ 30万円未満	11.5		10～ 30万円未満	20.8	20.1
30～ 50万円未満	9.4		30～ 50万円未満	8.0	10.1
50～ 100万円未満	20.0		50～ 100万円未満	5.8	6.9
100～ 200万円未満	16.3		100～ 200万円未満	1.5	3.0
200～ 300万円未満	6.9		200～ 300万円未満	0.8	0.7
300～ 500万円未満	3.3		300～ 500万円未満	0.6	
500～ 700万円未満	0.2		500～ 700万円未満	0.0	0.5
700～1,000万円未満	0.1		700～1,000万円未満	0.0	
1,000万円以上	0.0		1,000万円以上	0.0	
不明	20.4		不明	4.1	3.6

昨年1年間の和歌山市での買い物金額		(％)						
		和歌山圏域	那賀圏域	橋本圏域	有田圏域	御坊圏域	大阪府南部	不明
0～1万円未満	平成21年	3.5	6.3	18.2	3.0	4.0	18.5	7.7
	平成11年	4.5	4.3	13.4	5.2	6.2	15.2	25.0
1～5万円未満	平成21年	18.6	22.8	40.9	20.8	28.0	28.7	46.2
	平成11年	13.1	27.3	35.1	27.5	30.3	27.5	25.0
5～10万円未満	平成21年	21.2	24.7	16.7	27.7	33.0	20.4	30.8
	平成11年	19.9	18.2	22.7	23.5	30.3	18.0	25.0
10～30万円未満	平成21年	21.2	25.3	10.6	28.7	19.0	16.7	0.0
	平成11年	25.3	21.9	12.4	20.3	20.0	16.8	25.0
30～50万円未満	平成21年	15.0	8.2	3.0	9.9	6.0	4.6	0.0
	平成11年	15.4	10.2	3.1	11.8	6.9	9.0	0.0
50～100万円未満	平成21年	9.7	6.3	1.5	4.0	8.0	3.7	0.0
	平成11年	11.8	9.6	0.0	4.6	2.1	7.8	0.0
100～200万円未満	平成21年	5.3	0.6	1.5	1.0	0.0	0.9	0.0
	平成11年	5.9	4.3	2.1	2.0	1.4	1.6	0.0
200～300万円未満	平成21年	1.8	0.0	0.0	1.0	1.0	0.9	0.0
	平成11年	0.5	1.1	2.1	0.7	0.7	0.0	0.0
300万円以上	平成21年	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成11年	0.0	0.5	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0
不明	平成21年	3.5	3.2	7.6	4.0	1.0	5.6	15.4
	平成11年	3.6	2.7	8.2	2.6	2.1	4.1	0.0

問 1 2 あなたがよく買い物をする和歌山市の商店の印象についてお尋ねします。よく買い物をするお店の以下の点についてどのように感じていますか。該当する番号に○印を記入してください。

	項 目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	商品の鮮度や品質	1	2	3	4	5
2	商品価格の安さ	1	2	3	4	5
3	商品の品揃えの豊富さ	1	2	3	4	5
4	店の清潔度	1	2	3	4	5
5	店の華やかさ	1	2	3	4	5
6	店の雰囲気	1	2	3	4	5
7	店主・店員の対応、親切度	1	2	3	4	5
8	店主・店員の商品知識	1	2	3	4	5
9	駐車場の便利性	1	2	3	4	5
10	営業時間	1	2	3	4	5
11	店の周囲の華やかさ	1	2	3	4	5
12	交通の利便性	1	2	3	4	5

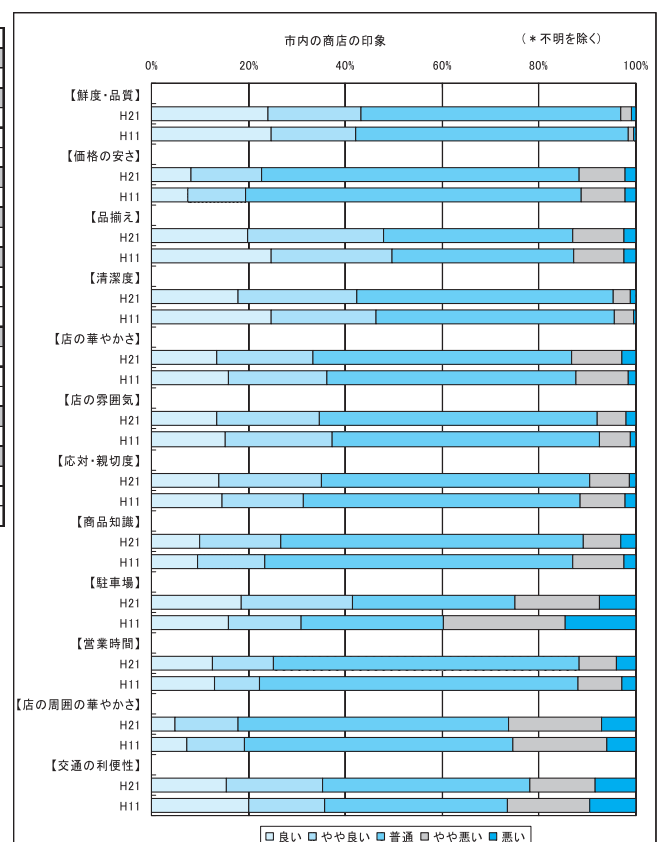
和歌山市の商店の印象は、全ての項目で「普通」と感じている人が一番多かった。「良い」「やや良い」の合計を「良い」、「やや悪い」「悪い」の合計を「悪い」として比べてみると、「悪い」が「良い」を上回る項目は「店の周囲の華やかさ」のみとなっており、「良い」と感じている人が多い。「良い」と感じている人が増えた項目で「悪い」と感じている人も増えている項目も多い。また前回低い評価であった「駐車場の便利性」は「良い」が 10.5 ポイント増え、「悪い」が 14.8 ポイント減っていることから改善されていると考えられる。

和歌山市の商店の印象

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
鮮度・品質	平成21年	24.1	19.2	53.5	2.2	0.9
	平成11年	24.8	17.4	56.3	1.1	0.4
価格の安さ	平成21年	8.1	14.7	65.4	9.5	2.3
	平成11年	7.6	11.9	69.2	9.2	2.1
品揃え	平成21年	19.8	28.1	39.2	10.6	2.4
	平成11年	24.8	24.9	37.5	10.3	2.5
清潔度	平成21年	17.8	24.7	53.0	3.6	1.0
	平成11年	24.8	21.5	49.2	4.1	0.4
店の華やかさ	平成21年	13.4	20.0	53.4	10.4	2.8
	平成11年	15.9	20.4	51.4	10.8	1.6
店の雰囲気	平成21年	13.5	21.2	57.4	5.9	2.0
	平成11年	15.2	22.1	55.3	6.4	1.0
対応・親切度	平成21年	14.0	21.0	55.4	8.2	1.4
	平成11年	14.6	16.8	57.1	9.3	2.1
商品知識	平成21年	9.9	16.8	62.5	7.9	3.0
	平成11年	9.4	14.1	63.5	10.6	2.5
駐車場	平成21年	18.6	22.8	33.6	17.5	7.5
	平成11年	16.0	14.9	29.3	25.3	14.5
営業時間	平成21年	12.6	12.7	63.0	7.9	3.9
	平成11年	13.0	9.2	65.7	9.1	2.9
店の周囲の華やかさ	平成21年	4.9	12.9	55.8	19.2	7.1
	平成11年	7.3	12.0	55.4	19.5	5.9
交通の利便性	平成21年	15.4	19.8	42.9	13.5	8.3
	平成11年	20.0	15.8	37.6	17.2	9.4

は、増加した項目

(* 不明を除く)



問 13 あなたは以前に比べ、和歌山市での買い物の形態が変わりましたか。

(1) あなたは以前に比べ、和歌山市へ買い物に行く回数(頻度)はがかわりましたか。

1. 以前は買い物に行かなかったが、行くようになった
2. かなり増えた
3. 少し増えた
4. あまり変わらない
5. 少し減った
6. かなり減った
7. 行かなくなった

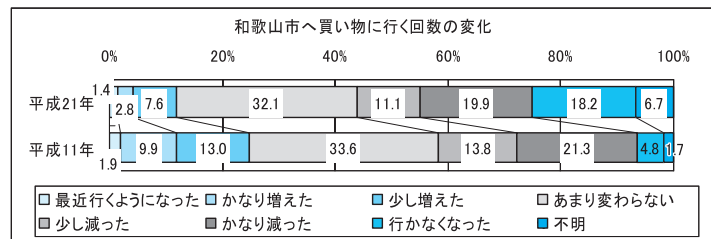
和歌山市へ買い物に行く回数は「あまり変わらない」32.1%が最も多く、「かなり減った」が19.9%、「行かなくなった」が18.2%の順に多い。「最近行くようになった」「かなり増えた」「少し増えた」を合計すると11.8%であり、「すこし減った」「かなり減った」「行かなくなった」

和歌山市へ買い物に行く回数の変化

(%)

	最近行くようになった	かなり増えた	少し増えた	あまり変わらない	少し減った	かなり減った	行かなくなった	不明
平成21年(A)	1.4	2.8	7.6	32.1	11.1	19.9	18.2	6.7
平成11年(B)	1.9	9.9	13.0	33.6	13.8	21.3	4.8	1.7
増減(A-B)	▲ 0.5	▲ 7.1	▲ 5.4	▲ 1.5	▲ 2.7	▲ 1.4	13.4	5.0

を合計すると49.2%で、和歌山市へ買い物に行く回数が増えた人が大きく上回っている。また「行かなくなった」(18.2%)が前回より13.4ポイント増えた。



年齢別にみると、「以前は行かなかったが最近行くようになった」との回答が「50歳代」「60歳代」でわずかながら増えているが、「減った」とする回答が多く、「70歳以上」53.3%、「60歳代」51.6%、「40歳代」47.7%、「30歳代」47.3%、「50歳代」47.0%と、30歳以上で50%前後の人が「減った」と回答している。

圏域別にみると、「以前は行かなかったが最近行くようになった」との回答が、「那賀圏域」「有田圏域」「大阪府南部」でわずかながら増えているが、「減った」とする回答が多く、「那賀圏域」59.6%、「橋本圏域」59.0%と6割近くの人が「減った」と回答している。

和歌山市での買い物回数の変化(年齢別)

(%)

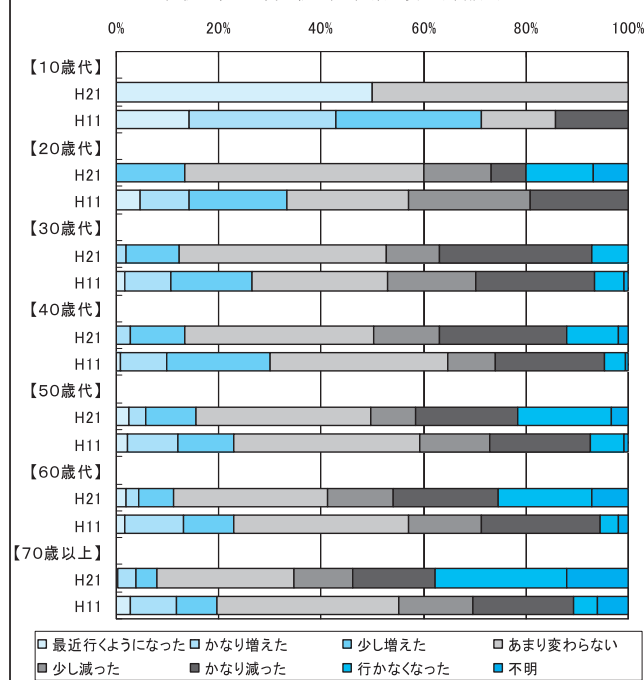
		以前は行かなかったが最近行くようになった	かなり増えた	少し増えた	あまり変わらない	少し減った	かなり減った	行かなくなった	不明
10歳代	平成21年	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成11年	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
20歳代	平成21年	0.0	0.0	13.3	46.7	13.3	6.7	13.3	6.7
	平成11年	4.8	9.5	19.0	23.8	23.8	19.0	0.0	0.0
30歳代	平成21年	0.0	1.8	10.5	40.4	10.5	29.8	7.0	0.0
	平成11年	1.7	9.1	15.7	26.4	17.4	23.1	5.8	0.8
40歳代	平成21年	0.0	2.7	10.7	36.9	12.8	24.8	10.1	2.0
	平成11年	0.9	8.8	20.4	34.7	9.3	21.3	4.2	0.5
50歳代	平成21年	2.5	3.2	9.9	34.3	8.5	20.1	18.4	3.2
	平成11年	2.2	9.9	11.0	36.3	13.6	19.8	6.6	0.7
60歳代	平成21年	1.8	2.7	6.6	30.0	12.9	20.4	18.3	7.2
	平成11年	1.6	11.4	9.8	34.3	14.2	23.2	3.5	2.0
70歳以上	平成21年	0.4	3.3	4.1	27.0	11.5	16.0	25.8	11.9
	平成11年	2.6	9.2	7.9	35.5	14.5	19.7	4.6	5.9

和歌山市での買い物回数の変化(圏域別)

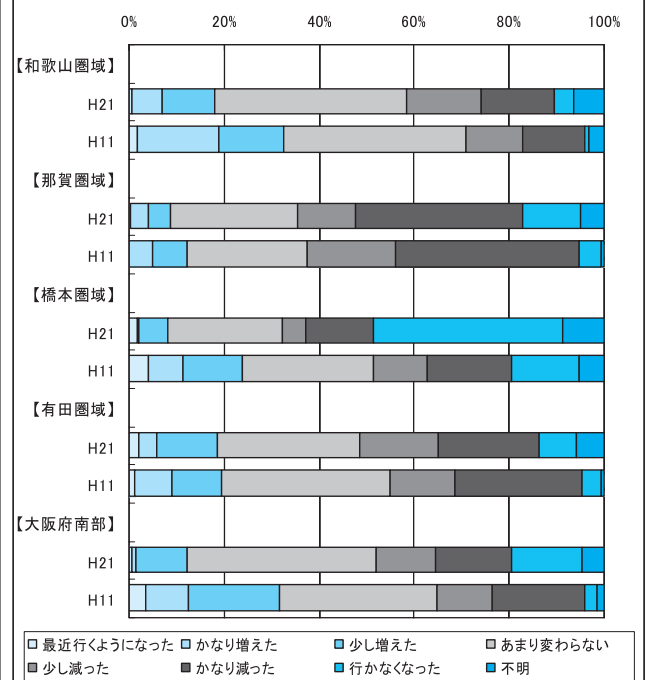
(%)

		以前は行かなかったが最近行くようになった	かなり増えた	少し増えた	あまり変わらない	少し減った	かなり減った	行かなくなった	不明
和歌山圏域	平成21年	0.6	6.5	11.0	40.3	15.6	15.6	3.9	6.5
	平成11年	1.8	17.2	13.6	38.5	11.8	13.1	0.9	3.2
那賀圏域	平成21年	0.4	3.8	4.6	26.7	12.1	35.4	12.1	5.0
	平成11年	0.0	4.8	7.5	25.1	18.7	38.5	4.8	0.5
橋本圏域	平成21年	1.6	0.5	5.9	24.3	4.9	14.1	40.0	8.6
	平成11年	4.1	7.2	12.4	27.8	11.3	17.5	14.4	5.2
有田圏域	平成21年	2.1	3.6	12.9	30.0	16.4	21.4	7.9	5.7
	平成11年	1.3	7.8	10.5	35.3	13.7	26.8	3.9	0.7
御坊圏域	平成21年	0.7	0.7	10.7	40.0	12.7	16.0	14.7	4.7
	平成11年	3.4	9.0	19.3	33.1	11.7	19.3	2.8	1.4
大阪府南部	平成21年	2.4	2.4	5.2	34.6	8.5	13.7	26.1	7.1
	平成11年	2.0	10.2	15.2	37.3	13.5	14.8	6.1	0.8
合計	平成21年	1.4	2.8	7.6	32.1	11.1	19.9	18.2	6.7
	平成11年	1.9	9.9	13.0	33.6	13.8	21.3	4.8	1.7

和歌山市への買い物に行く回数の変化(年齢別)



和歌山市への買い物に行く回数の変化(圏域別)



問 1 3 (2) 増えた(減った)理由は何ですか。該当する番号に○印をつけてください。(3つまで)

増
え
た
理
由

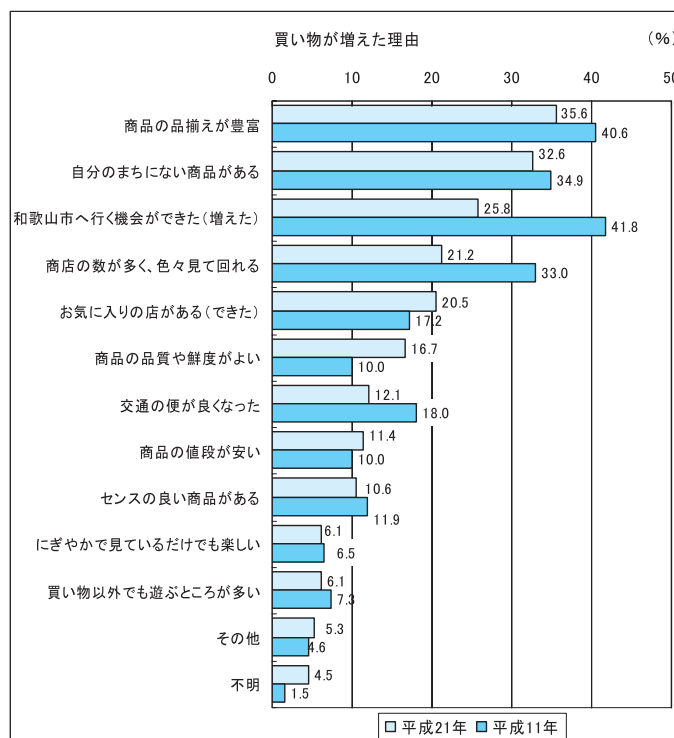
1. 商品の品質や鮮度がよいから
2. 商品の品揃えが豊富だから
3. センスの良い商品があるから
4. 自分のまちなない商品があるから
5. 商品の値段が安いから
6. 商店の数が多く、いろいろ見て回れるから
7. お気に入りの店がある(できた)から
8. にぎやかで見ているだけでも楽しいから
9. 買い物以外にも遊ぶところが多いから
10. 交通の便が良くなったから
11. 和歌山市へ行く機会(通勤、通学、病院、親戚等)ができた、または、増えたから
12. その他()

減
っ
た
理
由

1. 和歌山市まで行かなくても近くに需要を充たすショップ・センター等ができたから
2. 和歌山市では物足りなくなったから(大阪等へ行く)
3. 和歌山市まで出て行くのが疲れる、又はめんどうになったから
4. 和歌山市のにぎやかさや楽しさが減ったから
5. お気に入りの店が無くなったから(商業施設(商店)名:)
6. 車の渋滞がひどいから
7. 車や高速道路等が整備され、大阪へ行きやすくなったから
8. 和歌山市へ行く機会(通勤、通学、病院、親戚等)がなくなった(減った)から
9. その他()

和歌山市での買い物が増えた理由は、「商品の品揃えが豊富」(35.6%)が最も多く、「自分のまちなない商品がある」(32.6%)、「和歌山市へ行く機会ができた(増えた)」(25.8%)の順に多い。前回と比較して増えたのは、「商品の品質や鮮度がよい」「お気に入りの店がある(できた)」であった。

増えた理由	平成21年 (A)	平成11年 (B)	増減 (A)-(B)
商品の品揃えが豊富	35.6	40.6	▲ 5.0
自分のまちなない商品がある	32.6	34.9	▲ 2.3
和歌山市へ行く機会ができた(増えた)	25.8	41.8	▲ 16.0
商店の数が多く、色々見て回れる	21.2	33.0	▲ 11.8
お気に入りの店がある(できた)	20.5	17.2	3.3
商品の品質や鮮度がよい	16.7	10.0	6.7
交通の便が良くなった	12.1	18.0	▲ 5.9
商品の値段が安い	11.4	10.0	1.4
センスの良い商品がある	10.6	11.9	▲ 1.3
にぎやかで見ているだけでも楽しい	6.1	6.5	▲ 0.4
買い物以外にも遊ぶところが多い	6.1	7.3	▲ 1.2
その他	5.3	4.6	0.7
不明	4.5	1.5	3.0



増えた理由を年齢別にみると、「30 歳代」は「自分のまちにない商品がある」「お気に入り」に店がある（できた）」が多く、「40 歳代」「50 歳代」は「和歌山市へ行く機会ができた（増えた）」「商品の品揃えが豊富」が多い。60 歳代以上は「商品の品揃えが豊富」「商店の数が多く、色々見て回れる」が多くなる。

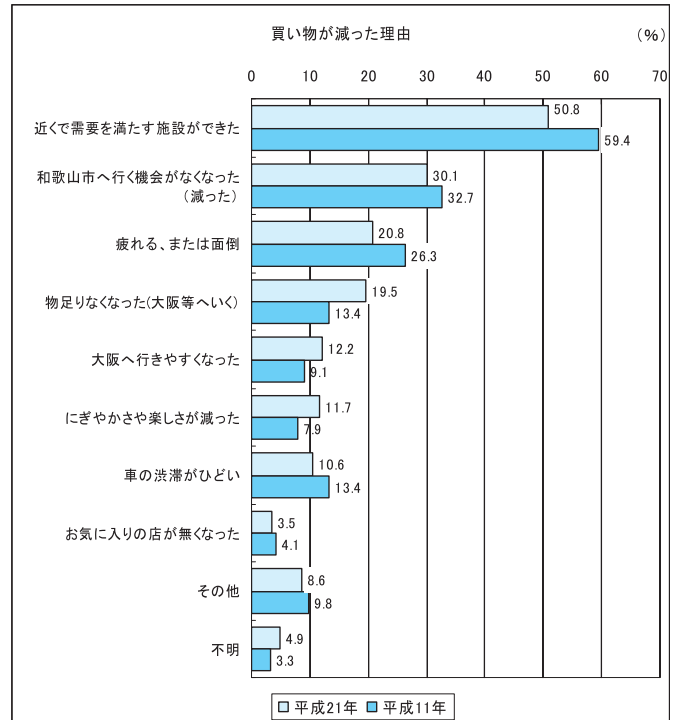
増えた理由(年齢別)		(%)						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
商品の品揃えが豊富	平成21年	0.0	50.0	14.3	30.0	29.5	48.6	42.1
	平成11年	40.0	0.0	40.6	30.8	44.4	51.7	43.3
自分のまちにない商品がある	平成21年	0.0	0.0	42.9	30.0	38.6	37.8	15.8
	平成11年	20.0	71.4	37.5	24.6	30.2	39.7	50.0
和歌山市へ行く機会ができた(増えた)	平成21年	100.0	50.0	28.6	30.0	36.4	21.6	0.0
	平成11年	100.0	57.1	31.3	41.5	44.4	39.7	40.0
商店の数が多く、色々見て回れる	平成21年	0.0	0.0	0.0	10.0	15.9	35.1	31.6
	平成11年	20.0	0.0	37.5	21.5	41.3	37.9	36.7
お気に入りの店がある(できた)	平成21年	0.0	0.0	42.9	15.0	20.5	27.0	10.5
	平成11年	0.0	28.6	21.9	12.3	20.6	20.7	10.0
商品の品質や鮮度がよい	平成21年	0.0	0.0	14.3	5.0	18.2	21.6	21.1
	平成11年	20.0	0.0	6.3	9.2	3.2	13.8	23.3
交通の便が良くなった	平成21年	0.0	0.0	14.3	20.0	15.9	8.1	5.3
	平成11年	0.0	0.0	12.5	21.5	23.8	17.2	13.3
商品の値段が安い	平成21年	0.0	0.0	14.3	5.0	15.9	2.7	21.1
	平成11年	0.0	14.3	18.8	10.8	7.9	6.9	10.0
センスの良い商品がある	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	16.2	21.1
	平成11年	0.0	0.0	0.0	13.8	14.3	17.2	10.0
にぎやかで見ているだけでも楽しい	平成21年	0.0	0.0	14.3	5.0	6.8	2.7	10.5
	平成11年	0.0	0.0	0.0	12.3	3.2	5.2	13.3
買い物以外でも遊ぶところが多い	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	16.2	5.3
	平成11年	20.0	0.0	12.5	7.7	6.3	8.6	0.0
その他	平成21年	0.0	0.0	0.0	15.0	2.3	5.4	5.3
	平成11年	0.0	28.6	9.4	4.6	4.8	1.7	0.0
不明	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.7	15.8
	平成11年	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	3.3

圏域別では、ほとんどの圏域では全体の動向と同じであるが、「大阪府南部」では「商品の品質や鮮度がよい」が 47.6%と最も多く、他の圏域と比べて「商品の品揃えが豊富」という理由は少なかった。

増えた理由(圏域別)		(%)					
		和歌山圏域	那賀圏域	橋本圏域	有田圏域	御坊圏域	大阪府南部
商品の品揃えが豊富	平成21年	50.0	38.1	33.3	38.5	27.8	23.8
	平成11年	58.3	52.2	26.1	53.3	37.0	19.4
自分のまちにない商品がある	平成21年	42.9	28.6	20.0	50.0	16.7	28.6
	平成11年	30.6	34.8	30.4	50.0	30.4	37.3
和歌山市へ行く機会ができた(増えた)	平成21年	21.4	28.6	33.3	15.4	27.8	33.3
	平成11年	30.6	39.1	65.2	30.0	41.3	52.2
商店の数が多く、色々見て回れる	平成21年	28.6	33.3	26.7	23.1	11.1	4.8
	平成11年	48.6	52.2	17.4	40.0	30.4	13.4
お気に入りの店がある(できた)	平成21年	10.7	23.8	20.0	26.9	11.1	33.3
	平成11年	18.1	8.7	21.7	20.0	10.9	20.9
商品の品質や鮮度がよい	平成21年	17.9	9.5	13.3	3.8	11.1	47.6
	平成11年	11.1	0.0	4.3	13.3	4.3	16.4
交通の便が良くなった	平成21年	10.7	14.3	13.3	7.7	22.2	9.5
	平成11年	12.5	8.7	8.7	23.3	30.4	19.4
商品の値段が安い	平成21年	7.1	14.3	13.3	7.7	5.6	19.0
	平成11年	15.3	17.4	0.0	10.0	4.3	9.0
センスの良い商品がある	平成21年	10.7	9.5	6.7	11.5	16.7	9.5
	平成11年	20.8	21.7	0.0	10.0	10.9	4.5
にぎやかで見ているだけでも楽しい	平成21年	3.6	9.5	6.7	15.4	0.0	0.0
	平成11年	5.6	13.0	4.3	10.0	13.0	0.0
買い物以外でも遊ぶところが多い	平成21年	0.0	14.3	0.0	15.4	5.6	0.0
	平成11年	5.6	13.0	0.0	6.7	6.5	10.4
その他	平成21年	7.1	0.0	6.7	7.7	5.6	4.8
	平成11年	2.8	4.3	8.7	0.0	6.5	6.0
不明	平成21年	3.6	4.8	0.0	3.8	5.6	4.8
	平成11年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	4.5

和歌山市での買い物が減った理由は、「近くで需要を満たす施設ができた」(50.8%)が最も多く、「和歌山市へ行く機会がなくなった(減った)」(30.1%)、「疲れる、または面倒」(20.8%)の順に多い。前回と比較して増えたのは、「物足りなくなった(大阪等へ行く)」「にぎやかさや楽しさが減った」等であった。

減った理由	平成21年 (A)	平成11年 (B)	増減 (A)-(B)
近くで需要を満たす施設ができた	50.8	59.4	▲ 8.6
和歌山市へ行く機会がなくなった(減った)	30.1	32.7	▲ 2.6
疲れる、または面倒	20.8	26.3	▲ 5.5
物足りなくなった(大阪等へいく)	19.5	13.4	6.1
大阪へ行きやすくなった	12.2	9.1	3.1
にぎやかさや楽しさが減った	11.7	7.9	3.8
車の渋滞がひどい	10.6	13.4	▲ 2.8
お気に入りの店が無くなった	3.5	4.1	▲ 0.6
その他	8.6	9.8	▲ 1.2
不明	4.9	3.3	1.6



年齢別に減った理由をみると、「30 歳代」以上では「近くに需要を満たす施設ができた」が最も多い。前回と比べると、全ての年齢層で「大阪へ行きやすくなった」が増え、「50 歳代」以下では「物足りなくなった(大阪等へ行く)」と回答した人が増えている。

減った理由(年齢別)		(%)						
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
近くで需要を満たす施設ができた	平成21年	0.0	40.0	40.7	50.7	43.6	57.6	50.8
	平成11年	0.0	22.2	48.2	57.3	74.3	67.3	37.3
和歌山市へ行く機会がなくなった(減った)	平成21年	0.0	40.0	29.6	28.2	27.1	37.2	24.6
	平成11年	0.0	44.4	32.1	29.3	25.7	37.5	40.7
疲れる、または面倒	平成21年	0.0	40.0	18.5	21.1	16.5	26.2	18.5
	平成11年	0.0	11.1	32.1	29.3	22.0	21.2	32.2
物足りなくなった(大阪等へいく)	平成21年	0.0	60.0	29.6	31.0	29.3	15.7	5.4
	平成11年	100.0	11.1	17.9	18.7	13.8	10.6	6.8
大阪へ行きやすくなった	平成21年	0.0	20.0	22.2	22.5	19.5	8.1	3.1
	平成11年	0.0	11.1	14.3	20.0	7.3	4.8	1.7
にぎやかさや楽しさが減った	平成21年	0.0	20.0	18.5	9.9	15.8	13.4	5.4
	平成11年	0.0	22.2	3.6	17.3	6.4	5.8	3.4
車の渋滞がひどい	平成21年	0.0	0.0	14.8	12.7	14.3	9.3	6.9
	平成11年	0.0	22.2	10.7	17.3	14.7	12.5	10.2
お気に入りの店が無くなった	平成21年	0.0	0.0	7.4	2.8	5.3	1.7	3.8
	平成11年	0.0	0.0	3.6	6.7	3.7	2.9	5.1
その他	平成21年	0.0	20.0	18.5	8.5	6.8	5.8	11.5
	平成11年	100.0	33.3	16.1	4.0	12.8	5.8	6.8
不明	平成21年	0.0	0.0	0.0	5.6	3.8	2.3	9.2
	平成11年	0.0	0.0	3.6	2.7	0.9	3.8	8.5

問 10 和歌山市にある商店と和歌山市以外のお店等を比較して、以下の項目についてあなたはどのように感じていますか。該当する番号に○印を記入してください。

	項 目	和歌山市にある商店・スーパー・百貨店は 和歌山市以外の商店等に比べて				
		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	商品の鮮度や品質	1	2	3	4	5
2	商品価格の安さ	1	2	3	4	5
3	商品の品揃えの豊富さ	1	2	3	4	5
4	店の清潔度	1	2	3	4	5
5	店の華やかさ	1	2	3	4	5
6	店の雰囲気	1	2	3	4	5
7	店主・店員の対応、親切度	1	2	3	4	5
8	店主・店員の商品知識	1	2	3	4	5
9	駐車場の便利性	1	2	3	4	5
10	営業時間	1	2	3	4	5
11	店の周囲の華やかさ	1	2	3	4	5

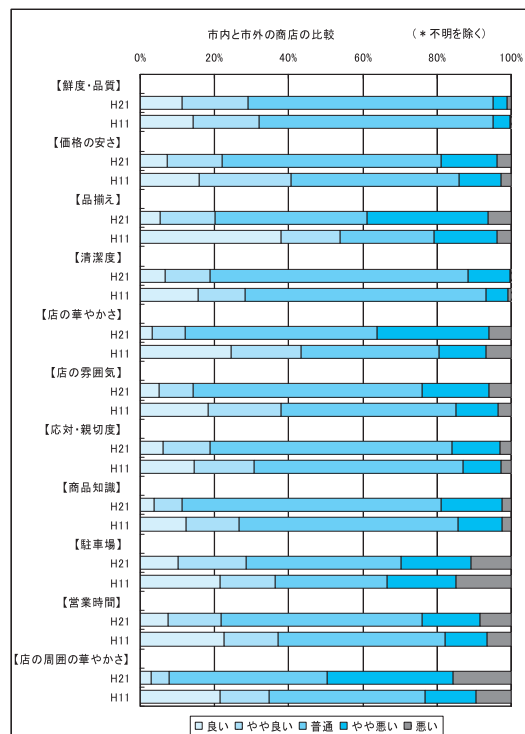
市内と市外の商店を比較してどう感じているかは、全ての項目で「普通」と感じている人が一番多かった。「良い」「やや良い」の合計を「良い」、「やや悪い」「悪い」の合計を「悪い」として比べてみると、「悪い」が「良い」を上回る項目は「品揃え」「店の華やかさ」「店の雰囲気」「店主・店員の商品知識」「駐車場の便利性」「営業時間」「店の周囲の華やかさ」の7項目である。これは、市外に買い物に行く理由と重なっている。また「鮮度・品質」「駐車場の便利性」以外の項目では「悪い」と答えた人の割合が前回より増えており、市内の商店に対する評価は下がっていると考えられる。

市内と市外の商店の比較

		(%)				
		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
鮮度・品質	平成21年	11.3	17.8	66.0	3.6	1.2
	平成11年	14.4	17.6	63.2	4.4	0.4
価格の安さ	平成21年	7.4	14.8	59.0	15.2	3.7
	平成11年	16.0	24.8	45.2	11.2	2.8
品揃え	平成21年	5.3	14.8	41.2	32.5	6.2
	平成11年	37.9	15.9	25.4	17.0	3.8
清潔度	平成21年	6.7	12.2	69.3	11.3	0.4
	平成11年	15.7	12.7	64.8	5.9	0.8
店の華やかさ	平成21年	3.3	8.8	51.7	30.4	5.8
	平成11年	24.5	19.0	37.1	12.7	6.8
店の雰囲気	平成21年	5.0	9.2	61.8	18.1	5.9
	平成11年	18.2	19.9	47.0	11.4	3.4
対応・親切度	平成21年	6.1	12.7	65.2	13.1	2.9
	平成11年	14.5	16.1	56.5	10.1	2.8
商品知識	平成21年	3.8	7.5	69.9	16.3	2.5
	平成11年	12.3	14.3	59.0	11.9	2.5
駐車場	平成21年	10.2	18.4	41.8	18.9	10.7
	平成11年	21.6	14.8	30.1	18.6	14.8
営業時間	平成21年	7.5	14.2	54.2	15.8	8.3
	平成11年	22.6	14.5	44.9	11.5	6.4
店の周囲の華やかさ	平成21年	2.9	5.0	42.6	33.9	15.7
	平成11年	21.5	13.3	42.1	13.7	9.4

は、増加した項目

(* 不明を除く)



圏域別では、「那賀圏域」「橋本圏域」で「減った」が「あまり変わらない」を上回った。「少し減った」「減った」を合計すると「那賀圏域」で48.4%と半数近い。

		和歌山圏域	那賀圏域	橋本圏域	有田圏域	御坊圏域	大阪府南部
増えた	平成21年	3.9	2.1	1.6	2.9	2.0	1.9
	平成11年	12.7	7.5	6.2	6.5	11.0	7.4
少し増えた	平成21年	13.6	5.4	2.7	9.3	9.3	4.7
	平成11年	20.8	9.1	18.6	20.3	20.0	17.6
あまり変わらない	平成21年	29.9	22.9	20.0	25.0	34.0	30.8
	平成11年	39.4	29.4	27.8	33.3	36.6	41.0
少し減った	平成21年	17.5	12.1	5.4	18.6	9.3	7.1
	平成11年	8.6	18.7	14.4	10.5	8.3	12.3
減った	平成21年	12.3	36.3	28.6	20.0	23.3	23.7
	平成11年	12.2	31.0	23.7	22.2	18.6	14.8
不明	平成21年	22.7	21.3	41.6	24.3	22.0	31.8
	平成11年	6.3	4.3	9.3	7.2	5.5	7.0

問 1 3 (4) 和歌山市へ行く交通手段の利用頻度に変化はありましたか。それぞれの交通機関の該当する番号に○印をつけてください。

		増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	減った	以前から利用なし
1	徒歩	1	2	3	4	5	6
2	自転車	1	2	3	4	5	6
3	単車	1	2	3	4	5	6
4	自動車	1	2	3	4	5	6
5	バス	1	2	3	4	5	6
6	電車	1	2	3	4	5	6
7	タクシー	1	2	3	4	5	6

和歌山市への交通手段の変化で、「変わらない」が多いが、「増えた」との回答が他と比較して多かったのは、「自動車」と「電車」であるが、「減った」と回答が多かったのも「自動車」と「電車」である。「自動車」は「以前から利用なし」が4.3%と他と比べて少ない。

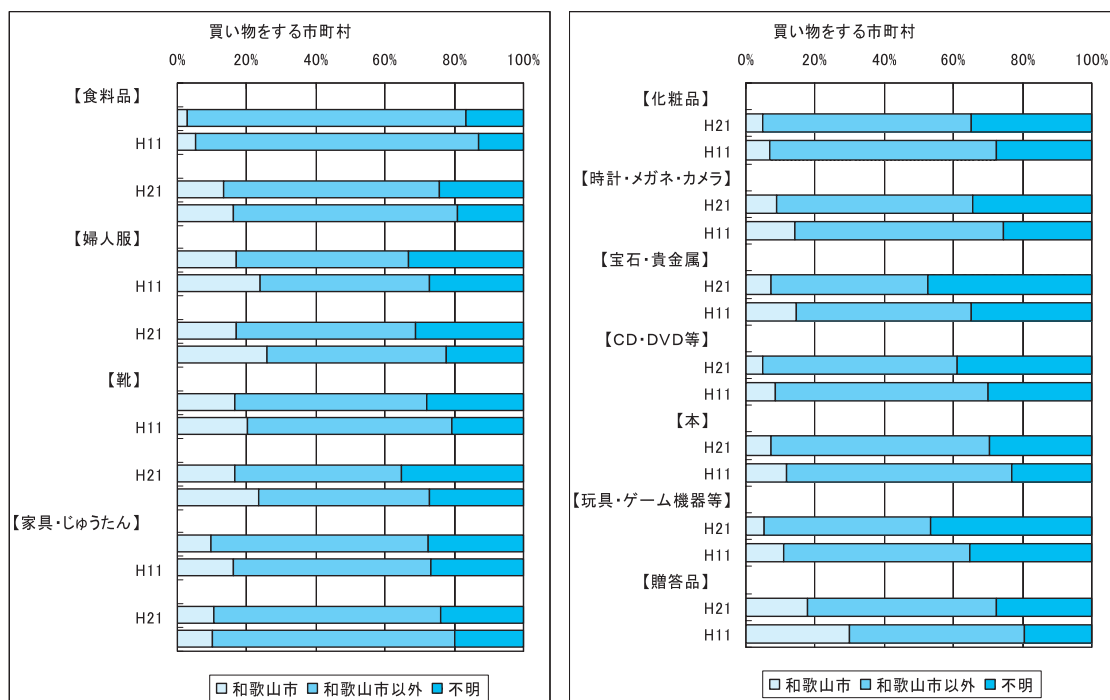
		増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	減った	以前からなし	不明
徒歩	平成21年	0.3	0.2	3.1	0.4	0.5	39.4	56.2
	平成11年							
自転車	平成21年	0.2	0.0	1.9	0.4	0.2	40.6	56.8
	平成11年	0.2	0.2	0.7	0.0	1.2	39.2	58.5
単車	平成21年	0.2	0.5	1.8	0.2	0.5	39.6	57.1
	平成11年	0.3	0.4	0.9	0.3	2.2	37.8	58.2
自動車	平成21年	5.9	7.2	38.2	6.6	14.8	4.3	23.0
	平成11年	22.1	10.0	28.3	4.6	6.9	2.3	26.0
バス	平成21年	0.5	0.7	3.2	0.8	3.0	36.6	55.2
	平成11年	1.1	1.3	5.5	1.4	7.6	29.5	53.5
電車	平成21年	2.0	3.1	15.9	3.1	15.1	19.0	41.8
	平成11年	4.7	5.6	20.6	4.7	17.6	10.2	36.7
タクシー	平成21年	0.2	0.7	1.8	0.4	2.3	38.9	55.7
	平成11年	0.6	0.7	2.1	0.9	5.3	33.1	57.4

問 1 4 あなたが次の商品を買う商店（スーパー、百貨店を含む）はどの市町村にありますか。
 右の欄の「買い物をする市町村」の該当する番号を記入してください。またその市町村で
 最もよく買い物をする商業施設・商店名を記入してください。

	商 品	最もよく買い物 をする市町村（右 欄の 1～18 の番 号を記入）	最もよく買 い物をする 商業施設・商 店名	番 号	買い物をする市町村
1	食料品			1	自分が住んでいる市・町
2	衣服（普段着）			2	和歌山市
3	婦人服			3	隣の市町村
4	紳士服			4	田辺市（和歌山県）
5	靴（くつ）			5	その他和歌山県内
6	靴（かばん）			6	大阪市
7	家具・じゅうたん			7	泉佐野市
8	電気製品			8	泉南市
9	化粧品			9	阪南市
10	時計・メガネ・カメラ			10	貝塚市
11	宝石・貴金属			11	岸和田市
12	CD・DVD等			12	その他大阪府
13	本			13	京都市
14	玩具・ゲーム機器等			14	神戸市
15	贈答品（中元・歳暮等）			15	その他
				16	通信販売
				17	インターネットで購入
				18	買い物はしない

最もよく買い物をする市町村を商品別に尋ね、和歌山市と和歌山市以外にわけると、和歌山市で買い物をする商品は「贈答品」「婦人服」「紳士服」「靴」の順に多いが、どれも前回より減っている。「家電製品」のみが前回より 0.3 ポイント増えている。また、「通信販売」も少しずつではあるが増えており、特に「化粧品」は 6.7%の人が通信販売で購入している。「インターネットで購入する」商品で多かったのは、「CD・DVD 等」2.8%、「化粧品」2.2%であった。

買い物をする市町村		(%)							(%)				
		和歌山市	和歌山市以外	通信販売	インターネット	不明		和歌山市	和歌山市以外	通信販売	インターネット	不明	
食料品	平成21年	2.9	80.3	0.0	0.1	16.8	化粧品	平成21年	4.9	60.5	6.7	2.2	34.7
	平成11年	5.2	81.6	0.0		13.1		平成11年	6.9	65.7	4.2		27.4
衣服 (普段着)	平成21年	13.4	62.4	1.6	1.3	24.2	時計・メガネ・ カメラ	平成21年	8.7	56.9	0.4	1.2	34.4
	平成11年	16.2	65.0	1.5		18.8		平成11年	14.4	60.3	0.4		25.3
婦人服	平成21年	17.0	50.0	1.8	0.9	33.1	宝石・貴金属	平成21年	7.3	45.6	0.5	0.4	47.2
	平成11年	23.7	49.3	1.6		27.0		平成11年	14.5	50.5	0.8		35.0
紳士服	平成21年	16.9	51.8	0.5	0.9	31.3	CD・DVD等	平成21年	5.0	56.0	0.6	2.8	39.0
	平成11年	25.8	51.8	1.0		22.5		平成11年	8.7	61.4	0.1		30.0
靴	平成21年	16.8	55.3	1.3	1.3	27.9	本	平成21年	7.1	63.3	0.3	2.2	29.6
	平成11年	20.4	59.1	0.4		20.6		平成11年	11.7	65.2	0.2		23.1
靴	平成21年	16.5	48.4	1.3	1.3	35.0	玩具・ゲーム 機器等	平成21年	5.4	48.0	0.2	1.5	46.6
	平成11年	23.3	49.6	0.4		27.1		平成11年	11.1	53.5	0.2		35.4
家具・ じゅうたん	平成21年	9.7	62.8	1.7	1.2	27.5	贈答品	平成21年	18.0	54.4	0.9	1.1	27.6
	平成11年	16.1	57.1	0.9		26.8		平成11年	29.8	50.6	0.3		19.6
家電製品	平成21年	10.4	65.7	0.3	0.8	23.9	は、増加した項目						
	平成11年	10.1	70.1	0.1		19.8							

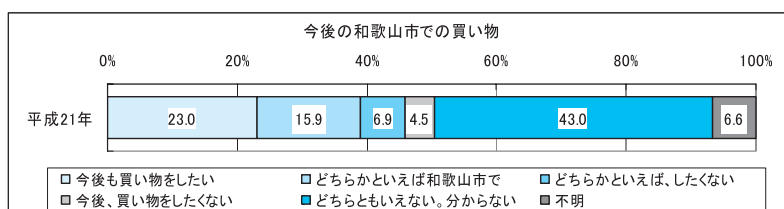


問15 あなたは、今後も和歌山市で買い物をしたいと思いますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. 今後も和歌山市で買い物をしたい。
2. どちらかといえば、和歌山市で買い物をしたい。
3. どちらかといえば、和歌山市で買い物をしたくない。
4. 今後、和歌山市では買い物をしたくない。
5. どちらとも言えない。分からない。

今後、和歌山市で買い物をしたいかどうかは、「今後も和歌山市で買い物をしたい」(23.0%)、「どちらかといえば和歌山市で買い物をしたい」(15.9%)を合計すると、38.9%の人が、和歌山市で買い物をしたいと回答している。

今後の和歌山市での買い物						(%)
	今後も買い物をしたい	どちらかといえば和歌山市で	どちらかといえば、したくない	今後、買い物をしたくない	どちらともいえない。分からない	不明
平成21年	23.0	15.9	6.9	4.5	43.0	6.6



今後の和歌山市で買い物					(%)
	今後も買い物する	どちらかといえば他の町で買い物したい	今後和歌山市では買い物したくない	どちらともいえない。分からない	不明
平成11年	64.3	5.6	0.8	19.4	9.9

第3部 消費動向アンケート調査結果の分析

第3章 消費者の買物金額変化の規定因

本章では、和歌山市商店の店舗属性が和歌山市および和歌山市外消費者の買物動向にどのような影響を及ぼすのかについて報告する。

1. 和歌山市外の消費者動向

まず、和歌山市外消費者の店舗属性に対する満足度が和歌山市商店の経営成果にどのような影響を与えるのかについて実証する。特に我々がこの問題に取り組むのは、それぞれの消費者の和歌山市商店に関する満足度が商店の経営改善するうえで、参考すべき重要なヒントを持っているためである。

特に、和歌山市外消費者を対象にしたアンケート調査の概要（調査方法、対象、サンプルの属性等）については、第2章を参照することにするため、本章では省略する。和歌山市小売商の経営成果の指標としては種々なものがある。それらのうちで以下の分析で用いられるのは、和歌山市外消費者が和歌山市での買物で使った金額変化である（表1参照）。

表1 和歌山市での買物の金額変化

Q：和歌山市での買物金額の変化はありましたか。

増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
1	2	3	4	5

表2 経営成果の測定

() 標本数

	増えた 1	やや増えた 2	変わらない 3	やや減った 4	減った 5	計
和歌山市の 買物金額変化	3% (27)	10% (78)	37% (297)	15% (122)	35% (280)	100% (804)

消費者の買物金額変化がどういう状態にあるのかを測定するために、表2に示されるような測定用具を用いた。表2にはデータにみられる買物金額変化の分布も示されている。表2を要約すると、和歌山市での消費者の買物金額は低下傾向にある。

消費者の買物金額変化と消費者の商店属性に対する満足度との関連を分析する際に用いた手法は、消費者の買物金額変化を従属変数として、12種の商店の店舗属性を独立変数候補とする回帰分析である。

独立変数候補である商店店舗属性は詳細については以下の表2で示されている。消費者が買物する和歌山市の商店の印象を以下の12項目で伺い、すべて5点尺度で商店

に対する印象を問う形式を取った（良い 1～悪い 5）。具体的に、商店属性は「華やかさ」、「商品価格の安さ」、「商品の鮮度や品質」、「品揃えの豊富さ」、「清潔度」、「雰囲気」、「店主・従業員の応対、親切度」、「店主・店員の商品知識」、「駐車場の便利性」、「営業時間」、「店周囲の華やかさ」、「交通の利便性」である。

表 3 に和歌山市外消費者が持つ商店の店舗属性に対する満足度が示されている。要するに、「商品の鮮度や品質」、「店の清潔度」、「商品の品揃えの豊富さ」に比較的高い満足度をみられるものの、「店の周囲の華やかさ」に比較的に低い満足度がみられる。つまり、商店街あるいは商業集積の全体としてのまとまりが良くないとの印象が和歌山市外消費者にあるということが分かる。

表 3 和歌山市外消費者の和歌山市商店属性に対する満足度

和歌山市商店の店舗属性	度数	平均スコア
商品の鮮度や品質	635	2.37
商品価格の安さ	620	2.83
商品の品揃えの豊富さ	664	2.48
店の清潔度	620	2.45
店の華やかさ	606	2.69
店の雰囲気	614	2.62
店主・店員の応対・親切度	624	2.62
店主・店員の商品知識	598	2.77
駐車場の便利性	641	2.73
営業時間	598	2.78
店の周囲の華やかさ	589	3.11
交通の便利性	639	2.80

（注）測定尺度 1＝良い～5＝悪いという 5 点尺度

回帰分析の結果は表 4 に示されている。調整決定係数はそれほど高くないけれども、分析は、消費者の買物金額変化と有意に関連している店舗属性の満足度を明らかにしている。消費者の買物金額変化と正の関連をもつのは「華やかさ」と「商品価格の安さ」である。つまり、「華やかさ」と「商品価格の安さ」に対する満足度が高くなればなるほど、消費者の買物金額が増えていくことを示している。

表 4 回帰分析の結果

独立変数	t	有意水準
華やかさ	3.890	0.00
商品価格の安さ	3.562	0.00
商品の鮮度や品質	-0.313	0.75
品揃えの豊富さ	0.010	0.99
清潔度	-1.046	0.30
雰囲気	-0.259	0.80
店主・従業員の応対、親切度	1.402	0.16
店主・店員の商品知識	0.752	0.45
駐車場の便利性	0.437	0.66
営業時間	0.156	0.88
店周囲の華やかさ	0.399	0.69
交通の利便性	-0.434	0.66
調整済決定係数	0.073	
標本数	434	

2. 和歌山市の消費者動向

つぎに、和歌山市消費者の店舗属性に対する満足度が和歌山市商店の経営成果にどのような影響を与えるのかについて実証する。この分析においても、先ほど行われた和歌山市外消費者の動向分析と同様な方法で行うことにする。

まず、和歌山市消費者を対象にしたアンケート調査の概要（調査方法、対象、サンプルの属性等）については、第 2 章を参照することにし、本章では省略する。和歌山市の小売商の経営成果の指標としては様々変数が考えられるが、それらのうちで以下の分析で用いられるのは、和歌山市消費者が和歌山市以外での買物で使った金額変化である。

ここで注意を払わなければならないのは、和歌山市での買物金額の変化ではなく、和歌山市以外での買物金額変化を測定していることである（表 5 参照）。すなわち、和歌山市以外での買物金額が増えることは和歌山市の商店経営には負の効果を、和歌山市以外での買物金額が減るのは和歌山市の商店経営には正の効果を示すことになる。

表 5 和歌山市外での買物の金額変化

Q：あなたは以前と比べ、和歌山市以外での買物金額は変わりましたか。

かなり増えた 少し増えた あまり変わらない 少し減った かなり減った

1	2	3	4	5

表 6 経営成果の測定

() 標本数

	かなり 増えた 1	少し 増えた 2	変わらない 3	少し 減った 4	かなり 減った 5	計
和歌山市以外での 買物金額変化	12% (26)	19% (39)	46% (97)	11% (22)	12% (26)	100% (210)

和歌山市内消費者の和歌山市以外での買物金額変化がどのような状態にあるのかを測定するために、表 6 に示されるような測定用具を用いた。表 6 にはデータにみられる買物金額変化の分布も示されている。

消費者の和歌山市以外での買物金額変化と消費者の商店属性に対する満足度との関連を分析する際に用いた手法は、和歌山市消費者の和歌山市以外での買物金額変化を従属変数として、11 種の店舗属性を独立変数候補とする回帰分析である。

独立変数候補である店舗属性の詳細については以下の表 7 で示されている。具体的に列挙すると、「華やかさ」、「商品価格の安さ」、「商品の鮮度や品質」、「品揃えの豊富さ」、「清潔度」、「雰囲気」、「店主・従業員の応対、親切度」、「店主・店員の商品知識」、「駐車場の便利性」、「営業時間」、「店周囲の華やかさ」である。和歌山市の消費者が買物する和歌山市の商店印象を以下の 11 項目で伺い、すべて 5 点尺度で商店に対する印象を問う形式を取った（良い 1～悪い 5）。

表 7 に和歌山市消費者が持つ和歌山市商店の店舗属性に対する満足度が示されている。要するに、「商品の鮮度や品質」、「店の清潔度」に比較的高い満足度をみられるものの、「店の周囲の華やかさ」、「店の華やかさ」に比較的低い満足度がみられる。つまり、個々の商店や全体として商業集積の華やかさの欠如が消費者の不満であることが分かる。

表 7 和歌山市消費者の和歌山市店舗属性に対する満足度

商店の店舗属性	度数	平均スコア
商品の鮮度や品質	247	2.66
商品価格の安さ	244	2.93
商品の品揃えの豊富さ	243	3.19
店の清潔度	238	2.87
店の華やかさ	240	3.27
店の雰囲気	238	3.11
店主・店員の応対・親切度	244	2.94
店主・店員の商品知識	239	3.06
駐車場の便利性	244	3.01
営業時間	240	3.03
店の周囲の華やかさ	242	3.55

(注) 測定尺度 1＝良い～5＝悪いという 5 点尺度

回帰分析の結果は表 8 に示されている。調整決定係数はそれほど高くないけれども、

分析は、和歌山市消費者の和歌山市以外での買物金額変化と有意に関連している店舗属性の満足度を明らかにしている。和歌山市以外での買物金額変化と負の関連をもつのは「店主・従業員の応対、親切度」と「品揃えの豊富さ」である。つまり、「店主・従業員の応対、親切度」と「品揃えの豊富さ」に対する満足度が高くなればなるほど、和歌山市消費者の和歌山市以外で買物金額が減っていくことを示している。

表 8 回帰分析の結果

独立変数	t	有意水準
店主・従業員の応対、親切度	-2.108	0.037
品揃えの豊富さ	-2.097	0.038
商品の鮮度や品質	0.914	0.362
商品価格の安さ	-0.011	0.991
清潔度	-0.275	0.784
華やかさ	0.025	0.980
雰囲気	-0.448	0.655
店主・店員の商品知識	1.608	0.110
駐車場の便利性	-1.341	0.182
営業時間	-0.143	0.886
店周囲の華やかさ	-0.029	0.977
調整済決定係数	0.083	
標本数	160	

3. 結果のまとめ

和歌山市の商店店舗属性が和歌山市消費者および和歌山市外消費者の買物動向にどのような影響を及ぼすのかについて要約すると以下の通りである。

まずは、和歌山市外消費者の買物金額変化に店舗属性がどのような影響を与えるについての分析結果である。この分析では、和歌山市外消費者の和歌山市での買物金額変化と正の有意をもつのは「華やかさ」、「商品価格の安さ」であることが分かった。和歌山市商店の「華やかさ」と「商品価格の安さ」に対する満足度が向上することで、和歌山市外消費者の和歌山市での買物金額が増えていくことを示している。

つぎに、和歌山市消費者の和歌山市外での買物金額の変化に影響を与えるかについての分析結果である。この分析では、和歌山市消費者の和歌山市以外での買物金額変化と負の有意をもつのは「店主・従業員の応対、親切度」と「品揃えの豊富さ」であった。すなわち、和歌山市商店の「店主・従業員の応対、親切度」と「品揃えの豊富さ」に対する消費者の満足度が高くなれば、和歌山市以外で買物金額が減るという結果が得られた。

第4章 消費動向分析

＜消費動向分析＞

今回のアンケート調査から、和歌山市民（以下、市内住民）の消費行動及び和歌山市近隣住民（以下、市外住民）の消費行動の傾向を分析する。特に、大型小売店舗の進出によってどのような変化をもたらされているか、また、商品別にどのような違いがあるか、市内の店舗の評価など、いくつかのポイントを探ってみた。

まず、今回のアンケート結果のうち、よく買物に行く商業施設名について回答があった施設の上位5位までを示す。

○市内住民が市内でよく買物に行く施設名

施設名	回答総数	600
	回答数	比率(%)
近鉄百貨店	125	20.8
イズミヤ和歌山店	76	12.7
パームシティ	54	9
コーナン・オークワ中ノ島店	46	7.7
ガーデンパーク和歌山	34	5.7

○市内住民が市外へよく買物に行く施設名（各品目別合計）

施設名	回答総数	680
	回答数	比率(%)
イオン	160	23.5
ミレニアシティ	46	6.8
イズミヤ	42	6.2
オークワ	37	5.4
めっけもん広場	14	2.1

○市外住民がよく買物に行く施設名（各品目別合計）

施設名	回答総数	6,227
	回答数	比率(%)
オークワ	823	13.2
近鉄百貨店	580	9.3
イオン	553	8.9
高島屋	280	4.5
イズミヤ	245	3.9

やはりオークワ、イオンに代表される大型小売店舗と有名百貨店が多数を占めている。このことを前提において以下にポイントと思われる項目について分析を行った。

1. 近隣府県への大規模小売店舗の郊外進出等により市内住民がどのような動きをしているか、何を求めているか。

＜市内住民の和歌山市外への消費行動とその理由＞

問 2（本文 p・・・）で、市内住民の和歌山市外への買物頻度の変化を聞いている。この10年の変化は、「月1回以上」の頻度で和歌山市外へ買物に行く人は大幅に増加しており、この理由となるものを分析した。その結果、「商品の種類が多く、気に入ったものを選べる」が圧倒的に多く、次に「車で行きやすい」「値段が安い」となった。これは、単純分析と同様の結果であった。特に、「週1回程度」と回答した人が前回

より大幅に増加しているが、このグループの理由でも同様の傾向となった。

最も顕著に減少している「年 1、2 回」では「商品の種類が多く、気に入った物が選べる」は同様だが、次に「和歌山市にはない商品がある」「親戚などに行ったついでに」となった。

市内住民の和歌山市外への買物動機は和歌山市内では満たされない消費者ニーズを提供してくれるからといっても過言ではなく、大別すれば「商品の品揃え」「車での利便性」が最大のニーズといえる。(一方、これらのニーズ項目に対する、和歌山市内の商業施設への消費者の評価については後の 5) で述べる。)

2. 近隣府県への大規模小売店舗の郊外進出等により市外住民がどのような動きをしているか、何を求めているか

<市外住民の和歌山市内への消費行動とその理由>

1. の市外版である。同様の分析を行った。

市外住民の和歌山市内へのこの 10 年の買物頻度の変化では、「月 1 回」以上の頻度で市内へ行くと回答したグループでは減少し、「年 4、5 回」以下では増加した。市内版とは、ほぼ逆の結果となった。

また、問 13 (1) で和歌山市へ買物に行く回数が「減った」(49.2%) と回答した人の割合は、回数が「増えた」(11.8%) と回答した人より圧倒的に多い。前回調査結果も「減った」と回答した人が多かったが、その割合の乖離幅は前回比大幅に増加している。(前回乖離幅 15.1%、今回 37.4%) やはり、消費行動としては、単純に訪問頻度から類推しても、和歌山市内への消費者の流入より和歌山市外への流出が増加していると思われる。消費金額についても同様の結果が出ている。(本文：Pg 参照)

次に、和歌山市内で買物する理由については、各頻度とも、「百貨店がある」「商品の種類が多く気に入ったものが選べる」「車で行きやすい」「自分の市・町にはない商品がある」が上位になった。「百貨店がある」を除き、その他の理由は、市内住民の和歌山市外への買物動機とほぼ同様となった。「百貨店がある」は近鉄百貨店、高島屋がやはり大きな存在感を示していることがわかる。その他の理由は、消費行動の構造が市内と市外で同様であることを示している。

また、問 13 (1)、(2) においては、和歌山市での買物の増減で、減った理由では「近くで需要を満たす施設が出来た」が最も多く、次いで「和歌山市へ行く機会がなくなった(減った)」「疲れる、または面倒」「物足りなくなった」と続く。これは、「近くに消費者のニーズを満たす施設(大型小売店舗等)ができたから、和歌山市へ行く機会が減った」ものと考えられる。

3. 和歌山市民の市内での買物場所と和歌山市外での商品別買物動向について

<市内住民の和歌山市内での消費動向と和歌山市外での消費動向>

市内住民の和歌山市内での消費動向では、まず、買物する場所では、「JR 和歌山駅周辺」が、前回同様最も多かったが減少傾向で、「本町周辺」及び「南海和歌山市駅地域」も前回比激減していることとあわせてみると、中心市街地として指定している地

域の減少が著しい。これは、丸正百貨店、ビブレの閉店によることと、そのマイナス効果が大きく影響しているものと思われる。(自由意見にその傾向が見られる)。反面、「紀の川以北」の増加が顕著である。

商業施設では、「近鉄百貨店」が最も回答が多かったが、それでも大幅な減少となっている。この傾向は他の商業施設でも同様であるが、その理由としては、「紀の川以北」での新たな大型商業施設が増加し、消費者の行動が中心市街地から「紀の川以北」へ分散する傾向となったものと見られる。

さらに、今回の調査結果でも明らかになったが、「ユニクロ」や「コーナン」、「エバグリーン」に代表されるような大型専門店やコンビニエンス・ストア等の新たな商業態店舗が増加し、消費者ニーズの変化に対応してきていることも、従来の商業施設への回答の変化といえる。

市内住民の和歌山市外での買物動向では、品目別に特徴のある結果となっている。食料品を中心とする最寄り品は、本来なら、市内での買物が中心と考えられるが、今回の調査では、和歌山市内以外では岩出市とその他和歌山県内（紀の川市含む）が上位となった。たとえば、「めつけもん広場」といったような、商品構成や素材が消費者へのアピール力を有する施設や、商品構成等が他の市内の商業施設と同様であっても、主婦や女性、高齢者にとって広く、無料の駐車場スペースがあることで車での行動に利便性がある施設が選択されていると考えられる。これらの点が消費者ニーズ分析の基点になるのではないだろうか。

服飾や家具、電化製品といった買回り品、あるいは、時計貴金属といった専門品については、大阪市内や泉南を含む大阪府内が多く選択されている。

また、前回は調査していないが、今回実施したインターネットでの買物であるが、ほぼ全商品で利用されていて、特に、CD・DVD、本、ゲーム機器等、家電製品等が多かった。生活様式の変化や情報化の進展に伴い、今後さらに消費者ニーズの中のウェイトが高まってくるものと予想される。

4. 和歌山市外住民の市内及び市外での買物場所と商品別買物動向について

＜市外住民の和歌山市内での消費動向と和歌山市外での消費動向＞

市外住民の和歌山市内での消費動向については、まず、買物する場所では、市内住民の消費動向同様、「JR和歌山駅周辺」（近鉄百貨店）の回答が前回比減少してはいないものの最も多く、その他の地域も、まったく同様の結果となった。また、丸正百貨店の閉店の影響については、自由意見でもかなりの人が指摘しており、やはり、市外住民に対しても大きな影響力を持っていたものと推察される。加えて、大型商業施設の拡充や新たな業態店舗群の出現の結果、和歌山市中心市街地は市外住民に対しても消費対象地域としての魅力が減少してしまったものと思われる。

市外住民の商品別の買物動向については、和歌山市内での買物は前回比、総じて減少している（一部「家電製品」がごく微増）。品目別に特に特徴的な点はないが、これは和歌山市内における消費者に対する中核的吸引店舗の減少・分散化がメリハリのな

い後退局面を現出させているととれる。後で述べる、和歌山市内商店への評価や消費者ニーズへの対応の可否との関連性が深いと考えられ、その対応如何では決定的な危機的状況に向かうことも大いにあり得るだろう。

また、市外住民の和歌山市外での買物については、地域別では、「泉佐野市」以外は総じて減少している。^{※1} 商品別でも全品目で「泉佐野市」が増加しており、「泉南市」「阪南市」を含む泉州地区の近年の商業集積の充実が伺える。この点、詳細に訪問者・消費者ニーズ及び事業者への聞き取り調査等の実施を検討することも必要であろう。

5. 消費者ニーズや商圈の把握・問題点の発掘・活性化への課題提起

<市内・市外住民の和歌山市内店舗への評価と課題>

市内住民は和歌山市内の商店に対して和歌山市外の商店と比べてどのような評価をしているのか。市外で買物をする理由との関連性を見た。これにより、市内の商店の課題や消費者ニーズとのミスマッチが見出される。

全体的評価では、「店の華やかさ」「店の周囲の華やかさ」「店の雰囲気」「店主・店員の商品知識」が最も低い評価であった。これらとの対比も念頭において分析を行う。

まず、市内住民が和歌山市外で買物をする最も多い理由は「商品の種類が多く、気に入ったものが選べる」であった。この項目を選んだ人は、和歌山市内の店舗の印象について、最も評価が低いとしているのは、当然であるが「商品の品揃えの豊富さ」であった。

次に評価が低いのは「商品価格の安さ」であった。全体的評価では「悪い」ということではないので意外であるが、この結果は、消費者は商品の種類の選択のみならず、価格にも同様に敏感であるということを示しているのではなかろうか。重要なファクターといえる。さらに「店の華やかさ」「店主・店員の商品知識」となった。これらを総合すると、消費者のニーズがかなりレベルの高いところにあるということが伺える。

和歌山市外で買物をする 2 番目に多い理由は、「和歌山にはない商品がある」であった。これに対する評価の低い項目は、「店の雰囲気」「店の華やかさ」「商品の鮮度や品質」であった。

さらに、今回調査結果で前回比最も増加した理由に「車で行きやすい」があがった。これに対する最も低い評価項目は「商品の鮮度や品質」で、次が「駐車場の利便性」「営業時間」となった。利便性の提供が消費者ニーズの重要なファクターであることは相違ない。しかし、「商品の鮮度や品質」については全体的評価では「良い」部類に評価されている。この点、注意が必要であろう。前述の「商品の安さ」も同様だが、このように評価が二分される項目については、実際に二極化していると思われ、「良い」

^{※1}和歌山市内への買物も減少しているので整合性がないと思えるが、前回選択肢に設定しなかった、「泉南市」「阪南市」「インターネット」にいずれも 2～5%程度回答があった結果と考える。

店と「悪い」店の混在が、個店の課題を包含した地域商業としての課題を指摘していると思われるからである。特に、歴史、伝統のある商店街や地域商業においては注意が必要である。なぜなら、それらが持つ従来のイメージが固定化・固有化しやすく、変化に対応しにくい特性を持っているからである。（逆に、個性化や地域ブランドイメージの確立には利点はある。）

次に、市外住民の和歌山市内商店の評価では、全体的には、ほぼすべての項目が「良い・やや良い」という評価が「悪い・やや悪い」を上回った。内容では「商品の品揃えの豊富さ」「商品の鮮度や品質」「店の清潔度」が上位であった。注目すべきは、「店の周囲の華やかさ」のみが、「悪い」評価となったことである。これは、商店街内における閉鎖された店舗が多い、いわゆる“シャッター街”というイメージや、個店と商店街、地域社会との共生といった、地域商業と地域活性化のバランスへの評価と考えてよいのではないか。この点、厳しい評価となっていることを明確に認識しなければならない。

市外住民の和歌山市内への買物理由については、「百貨店がある」がトップであり、その他は、市内住民の和歌山市外へ行く理由とほぼ同様「商品の種類が多く、気に入った物が選べる」「自分の市・町にはない商品がある」「車で行きやすい」が上位となっている。近年、商業における百貨店の役割が減少していると指摘されているが、4)でも述べたように、和歌山県周辺ではまだまだその存在感は根強い。

また、市外住民の和歌山市内への買物理由と市内商店と市外商店の比較評価については、市内住民のケースの裏返しとなる。比較して「良い・やや良い」で「商品の鮮度・品質」「商品の品揃えの豊富さ」「店の清潔度」「店の華やかさ」「店の雰囲気」が上位であった。市外住民の圏域の中で、県内住民ではやはり“和歌山市内”の商業施設・店舗は、吸引力としての評価を保っていると考えてよい。また、大阪南部圏域住民では、特に、「商品の鮮度・品質」に評価が高い。それぞれ、ある一定の評価をしていると思われる。しかし、同時に忘れてならないのは、先に述べたように、和歌山市内への消費者及び消費金額の流入そのものが減少しているという点である。

<和歌山市内商業の実質的な圏域の把握>

ここでは、実質的な商圈の把握として、問5と問13(1)の圏域別動向をクロスして分析を行った。ただし、あくまで分析上の判断であり、実態はさらなる詳細な調査を行う必要がある。

問5では単純に和歌山市内での買物の経験の有無（過去1年間）及び前回比の増減から、まず、橋本圏域と大阪府南部を商圈外とした。（自由意見でも商圈否定が多かった）

残った圏域について、問13(1)の圏域別結果から、まず「行かなくなった」「かなり減った」と回答したグループを見ると、多い順に、那賀圏域、御坊圏域、有田圏域、和歌山圏域となった。さらに、前回比その増加幅が大きい順では、御坊圏域、和歌山圏域、那賀圏域、有田圏域である。

次に「以前は行かなかったが最近行くようになった」「かなり増えた」と回答したグ

ループを見ると、多い順に和歌山圏域、有田圏域、那賀圏域、御坊圏域となった。前回比はすべてマイナスで、最も減少幅が大きいのは、和歌山圏域、次いで御坊圏域、有田圏域、那賀圏域となった。

以上のことから、商圈設定を考える。まず、和歌山圏域は地元近隣であるので商圈対象とするのが妥当であろう。次に、有田圏域はデータの的にも商圈として十分可能性を持っていると思われる。御坊圏域については、データの的にも弱いと判断される。問題は那賀圏域である。今回の調査結果データからは商圈としては浮かび上がってこない。しかし、人口等基礎的データは有力であり、そもそも数量的消費者マーケットを確保しなければ商業の成長はありえない。したがって、那賀圏域も対象商圈とする。さらに、同様の理由で、大阪府南部も戦略的商圈対象とすることが重要と思われる。

以上により、最終的な商圈設定を、和歌山圏域・那賀圏域・有田圏域・大阪府南部圏域とするのが妥当と思われる。

■ まとめ～課題へ向けて～

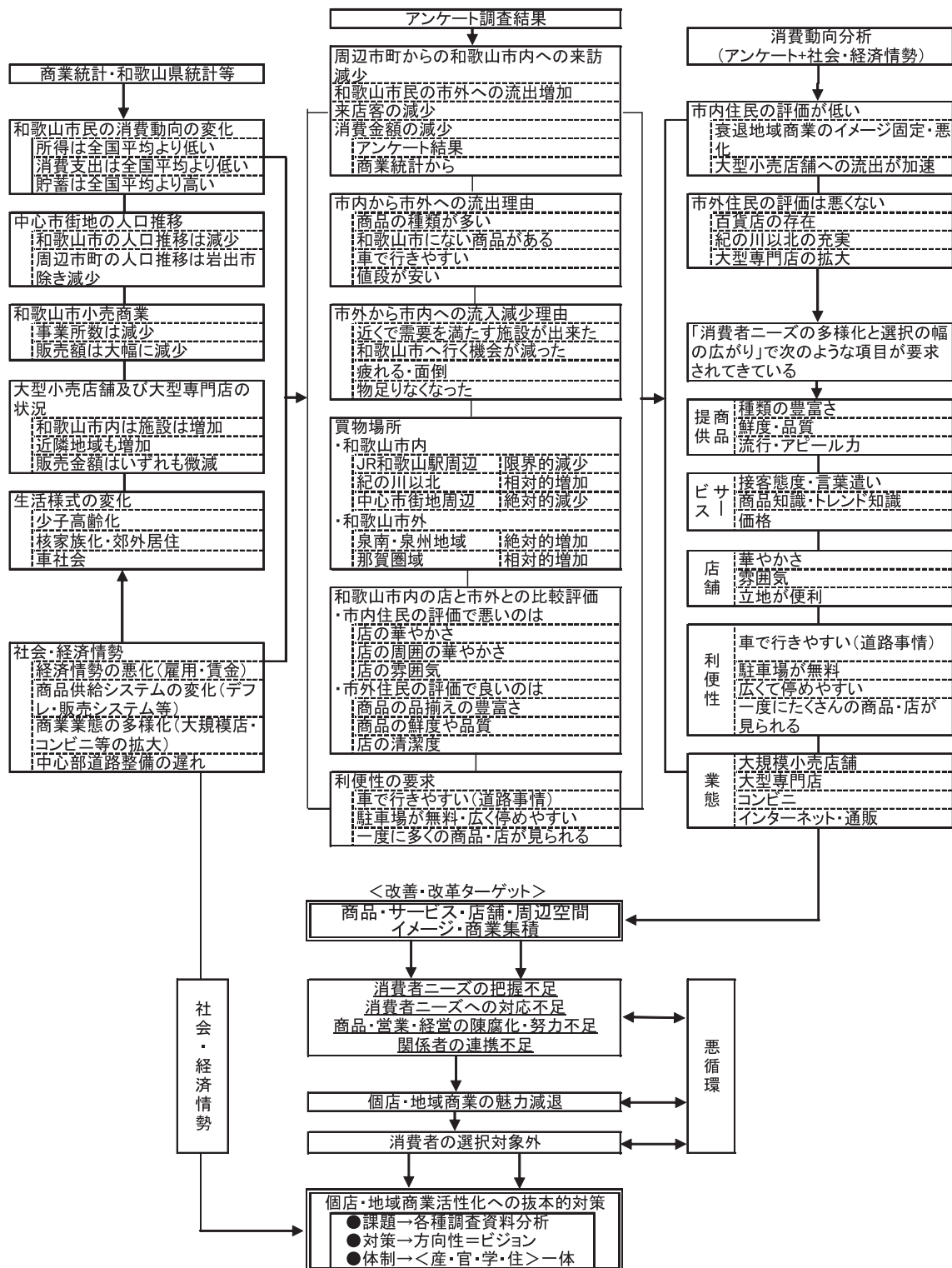
今回の調査結果の分析から、特徴的に言えるのは、市内住民も市外住民も、それぞれの消費者としてのニーズや利便性が満たされる地域・施設への流出・流入が顕著となっていることである。その原因としてあげられるのが、やはり、消費者ニーズに対応している大型小売店舗の存在や、個別専門店の大型化、コンビニエンス・ストアの拡大といった商業形態の多様化である。

この意味するところは、多様化する消費者ニーズや利便性の提供に対応できない地域や商業施設は、基本的に消費者の選択から離れていくということであり、結果としてそれぞれが存続の危機に直面することを避けて通れないということである。

このような状況にいたる前に最適な選択及び努力が必要であり、それぞれの局面における個々の関係者の決断の適否が、今後の商業活動・地域商業のいわゆる“生殺与奪の権”となろう。それほど危機感を関係者が同一レベルで共有する取り組みでなければ、“結果オーライ”だけが切り札の消極的で非戦略的な取り組みと言わざるを得ない。厳しいようだが、それだけの覚悟と決断が不可欠なのである。

今の和歌山市の小売商業はどの局面なのか・・・

＜アンケート調査結果及び各種統計資料の分析による和歌山市商業の状況＞



第4部 和歌山市小売商業の課題と今後の方向性（提言）

第5章 和歌山市小売商業の課題

大規模小売店舗の存在が地域の小売商業店舗の活力を削いでいることは、各種調査や統計的調査、また、今回のアンケート調査の結果でも指摘されているところであるが、個店や地域商業の衰退は大規模小売店舗の存在だけで起こっているとは言いがたい。今回のアンケート調査結果を総合的にみても、消費者は和歌山市内の商店に対して大別して以下の点に不満や低い評価をしていることがあげられる。

- ① 商品の品揃え
- ② 店舗や店舗周囲の雰囲気、華やかさ
- ③ 店主・店員の応対、商品知識
- ④ 交通利便性・駐車場である。

以上の4点は前回の調査報告書でも指摘されている。

すでに述べたように今回の調査は前回調査から10年経過後の現状・実態の追跡調査でありその推移や変化をポイントとしている。前回報告書にも課題や今後の取り組むべき対策も提言している。にもかかわらず、今回の調査でも同様の結果となっているということは、多くの個店・地域商業施設において、これらの点が改善・改革されていないということである。このことに警鐘を鳴らすべきであろう。

さらに問題なのは、和歌山市外から和歌山市内への買物金額の流入の調査においても、前回調査結果では、約99億円の流入超であったが、今回の調査結果では逆に約64億円が和歌山市外へ流出超となっている。ということである。^{※2} この10年の間に約163億円の消費・購買金額が減少したということになる。これは、あくまで推測値であるが、その点を考慮したとしても非常に憂慮すべき結果であり、危機的な状況といわざるを得ない。

ここで、最も重要な課題となるのが、この結果を危機として捉えるか、単なる部分的な集計結果として見るかということであり、どちらの結論を選択するかが、今後の和歌山市内の商業が活性化するか否かへの分岐点になるであろう。

どうして改善・改革がなされていないのか、その原因と実態を調査し、対策を早急に実施する必要がある。各個店、地域が商業活性化の基本である消費者・顧客ニーズの把握を適切に行い、その要求に応える努力を積極的に行っていないと消費者・顧客から信頼を得られず、消費選択先からますます遠ざかって行く結果となろう。

このような懸念を払拭するため、以下にそれらの課題と今後の取り組むべき方向性（提言）を述べる。さらに、和歌山市内の小売商業はどのようなビジョン・将来像を目指していくべきか、また、その実現のためのキーポイントは何かということもあわせて検証する。

※2 本報告書 P9：＜アンケート調査結果にもとづく消費購買力流入額の試算及び推計＞を参照

課題の提起については、特に問題となるポイントについて触れているが、すべての個店や地域が課題の対象となるということではない。消費者ニーズに応じている、あるいは進行中のところもある。また、各種活性化施策についても同様であり、更なる効果、評価を高めるための問題提起であるということを付け加えておく。

■ 課題

1. 消極的な個店経営＜改善・改革意欲の低下＞

商業活性化にはまず消費者・顧客ニーズの把握・理解が不可欠であり、さらに、そのニーズにいかに対応していくかが最も重要となってくる。ニーズの調査・研究は今回のアンケートを含め今までに数多く実施されているところであり、「消費者は何を求めているのか」「どのような店舗・商品であれば興味を持って来店し買ってくれるのか」「なぜ消費者は大規模店舗に流れるのか」といったことの実態やデータ、課題については、ある程度、把握できているのではないだろうか。しかし問題となるのは、個店、地域商業側がどの程度真剣にそのニーズの理解に努め、不退転の決意でニーズに応えるべく課題解決に取り組んでいるかということである。

すでに述べたように、本アンケート調査結果においても消費者の和歌山市内の商店・個店を選択しない理由は前回調査同様であり依然として改善されていない。これらの諸課題に対応するには、あくまで個店レベルでの改善・改革が大前提であり、その努力なくしては消費者・顧客の信頼確保あるいは選択を期待することは困難である。なかには業種転換や商品構成の変更など、思い切った経営決断を行い成功した事例もあるが、もし個店、地域商業側にこれらの真剣なる取り組みへの覚悟と努力がなく、おざなりな取り組みに終始しているのであれば、消極的な商店経営といわざるを得ず根本的な意識と行動の変革が絶対的に不可欠である。

さらに、商業全般の課題として、後継者育成・確保の問題や、地域商業との協調性・営業時間の柔軟性といった点も指摘しておく。

2. 地域・団体、行政との連携不適合

個店や地域商業活性化のためには、個々の当事者レベルでの努力や改善・改革が必要だと述べたが、それだけでは不十分で、当然のことながら地域・各種関連団体、さらには行政との共通認識を持った緊密な連携が不可欠である。

従来から、特に和歌山市内においては、ぶらくり丁を代表とする中心市街地を対象として、和歌山市を中心に、和歌山商工会議所、各商店街組合、さらには、和歌山県、経済産業省も含め数多くの活性化支援施策を実施してきた。直近では、内閣府認定による平成 19 年度中心市街地活性化基本計画に基づく 53 のハード・ソフト両面の大規模な事業を平成 23 年度まで展開中である。^{※3}

※3 「歩いて暮らせる賑わいあふれる城まち」を基本テーマに「賑わい」「居住促進」「回遊性」を実現させるため、JR 和歌山駅から和歌山城周辺、ぶらくり丁から南海和歌山市駅、市民会館を経て汀丁に至る 186ha の区域を設定。拠点通行量及び居住人口目標を設定し、公共・民間あわせて 53 の事業を実施中。事業年度は平成 19 年度から 23 年度末まで。

この計画はいわゆる、商業のみならず地域活性化も視野に入れた総合的施策で、産官学一体のビッグプロジェクトであり、計画推進のため関連各者による協議会が設置運営され、きめの細かい取り組みがなされている。すでに、平成 19 年度及び 20 年度の 2 ヶ年で、国費・県費・市費合計で 565 百万円の助成金や事業費が地域内に投入されている。^{※4} 大きな支援がなされているということである。

しかし、これらの結果はどうであろうか。個々の事業に対する一般的な分析や評価はなされても、徹底的な費用対効果の測定・検証については明確に実施されていないと推測されるので、これらの施策に対する評価には残念ながら弱さが付きまとう。これが根本的な連携の不適合を招くものと考ええる。支援する側と受ける側が、お互いの確かつ客観的な分析と評価を共有しない限り、より強力で効率的なパートナーシップは形成されない。厳しくいえば、支援される側は、助成金・補助金に依存し、自らの資産を投入することを回避する傾向が強まり、そのことによる危機意識やリスク管理に甘さが生じ、支援する側は、公金投入の結果責任の判断を弱めることにつながるということである。

さらに、従来から研究・実施されている多様な活性化策以外の新たな施策や実施に向けての調査・研究を一体で積極的に行う必要がある。たとえば、先進各地事例の調査・研究については必ず商店経営者個人と地域団体関係者も参加し、その目、耳で現実を認識することである。セミナーや研修会ではわからない事実がはっきりと認識されるはずである。また、広く情報収集し新たな発想に基づく方策の研究も不可欠である。

3. 生活様式、社会・経済情勢の変化への対応不足

近年の日本は、あらゆる局面において大きな変化に直面している。進展する少子高齢化・人口減少は現在のみならず将来のわれわれの生活・社会システムに多大な影響を及ぼす。また、パソコンやインターネットに代表される IT や技術革新はいわゆる情報化社会を急速に進展させ、さらに、核家族化や車社会化、個性重視の多様な生活様式への拡大といった変化にも影響を与えている。そしてこれらの変化は、商業における消費者ニーズや商品提供のサイクル、ツール、販売戦略に大きな影響を与えている。

商店経営者や地域商業関係者もこの変化を的確に見極め、消費者ニーズと商店経営の変革に対応していかなければ、最終的な生き残り競争に勝利していくことは困難だろう。

今回のアンケート結果において、「和歌山市内へ買物に行くことが減った理由」の回答として前回調査結果比顕著に増加したのが、「和歌山市内では物足りなくなった（大阪等へ行く）」「にぎやかさや楽しさが減った」という回答であった。消費者ニーズに応えきれていない結果である。また、インターネットによる電子取引はあらゆる情報の交換に強みを発揮し消費者ニーズに対応している。その結果として小売商業にも大きな影響を与えていることも否定できない。

^{※4} 「和歌山市中心市街地活性化基本計画事業費」として計上：資料提供：和歌山市

個店や地域商業が、これらの変化やニーズを理解し応えられる商品の品揃え・構成に始まり、店舗内装や営業環境の整備、接客技術の向上等、あらゆる経営努力を続けなければこのままジリ貧状態からの脱却は困難であろう。

今、個店・地域商業に求められているのは何か。

われわれは真剣にその答えを見つけ出さなければならない。まったく新しい対策を講じなければならないかもしれないし、ひょっとしたら原点回帰が重要なものかもしれない。たとえば、本来、個店商業が持つ特性の一つである“対面販売”のメリット、つまり“人と人とのつながり”を重視する営業や経営を再認識するということが、インターネットなどによる販売システムとの差別化を図る意味で重要となるかもしれない。

この様にあらゆる変化を想定し、その局面に対応する対策を数多く検討することが最善手の発見につながるのではなかろうか。その努力を惜しむことは、必然的に消費者の信頼や選択の対象から外れていく結果となろう。そのことを前提においた課題の認識が必要である。

第6章 和歌山市小売商業の今後の方向性（提言）

■ 今後の方向性（提言）

それでは、これからの和歌山市の小売商業はどのような対策を講じて行けばよいのだろうか。とるべき方向性と効果的でインパクトのある方策を提言する。

1. 個店経営の継続性の判断＜個別経営相談会の実施＞

■課題 における個店経営の諸点の解決には、改善・改革なくして再生はありえない。消極的な経営の継続は延命策そのものであり、いずれ破綻をきたす。しかし、現実にはそのような個店が存在し自らの営業と地域商業の活性化に悪影響を与えていることも否定できない。

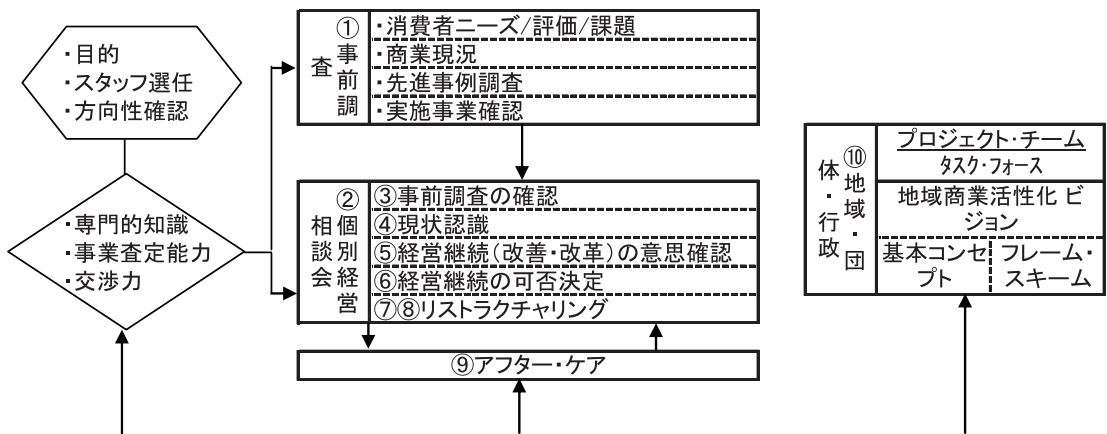
この局面を打開するために、以下を提言する。

個店経営を継続するかしないか、さらに、継続する場合の事業内容の検討や非継続の場合の対策を促すことを目的とした個別相談会の実施である。

このとき、経営者自らが営業を継続するのか、また、後継者の有無や消費者ニーズ把握・理解の程度、自己資産投入の有無等の視点をポイントとする。経営の継続を選択すれば、ニーズに対応すべく原則的には自己責任における経営資源の最適な選択を検討し、非継続を選択した場合には、店舗や今後の事業、資産運用等についての検討を行う。いずれも事業をリストラクチャリング（再構築）する発想で取り組む。

この相談会はその性質上、相当な専門的知識と経験を有する相談員による慎重な取り組みが必要であり、後で述べる地域・団体、行政との連携、地域商業活性化ビジョンとの整合性も不可欠である。

＜具体的取組事例＞として、個別相談会のフロー図を提示する。



以下にフロー図における各ポイントを簡単に説明する。

- ① 消費者・顧客ニーズ調査及び消費者動向調査の実施
 - ・本報告書を含む各種調査の分析を行い、ニーズと和歌山市の商業に対する消費者の動向と評価を的確に把握する。
- ② 個別経営相談会の実施
 - ・目的を明確にし、そのための準備を周到に行う。（相談希望者確保、広報等）
 - ・相談員の選定は特に慎重に行う。幅広い専門知識と経験が必要である。
- ③ 消費者・顧客ニーズの理解確認
 - ・基本的な事項でありスタートラインである。ニーズの把握とその内容の理解がなければ、一步も前に進まない。
- ④ 自店・自社の現状認識とニーズ対応の可否（第三者による調査・判定）
 - ・自店・自社の経営・営業内容がニーズに対応できているかの客観的判断を行う。
- ⑤ 改善・改革の意思確認＝経営継続の判断
 - ・ニーズ対応判定の可否による改善・改革へのチャレンジ意思確認。これは、つまり個店経営の継続意思の確認でもあり、その決断を促す。
- ⑥ 経営継続・非継続の決定
 - ・②～⑤により経営継続か非継続の決断を行う。
 - ・判断基準の例として、財務状況、後継者、商品構成、営業カテゴリー、店舗立地等が考えられる。
- ⑦ 経営継続の場合の経営戦略の立案
 - ・従前のままかリストラクチャリング（事業再構築）か。
- ⑧ 経営非継続の場合の対応策
 - ・経営と所有の分離（店舗等の賃貸、売却、事業転換等）の認識を推進する。
- ⑨ アフターケア
 - ・事後状況を緊密に把握し、事後対策に十分留意する。
- ⑩ 地域・団体、行政との連携強化
 - ・地域との共同体意識による抜本的対策の検討を開始する。
 - ・まちなか居住者の増加を目指した“産官学住”一体の対策の検討、実施。

2. 地域商業活性化ビジョンの確立＜再生プロジェクト・チームの結成＞

～個店及び地域・団体、行政の連携強化による合意形成～

1. において個店の経営継続の可否確認の必要性を述べた。確かに、実際に経営・営業する個店の意欲、意思確認が大前提で最も重要な要素あるが、一方でその地域全体の商業活動をリードする全体的な計画も不可欠である。

“まち”としての明確なメッセージを発信するビジョン（目指すべき姿・あるべき姿）と、その実現に向けての行動がなければ消費者を惹きつける魅力ある商業集積の実現は困難であろう。つまり、個店の努力と地域が一体となって活性化へ向けて取り組むことが必要十分条件なのである。さらにいえば、ここでいう地域とは、地域商業・団体だけでなく行政も含まなければ画竜点睛を欠く。これら関係各者がその目指すべき方向性の合意形成を図ることが活性化への切り札となる。

■課題 でもふれたが、過去から現在に至るまで数多くの地域商業活性化への対策が講じられてきている。現在最も大規模に実施されているのは、「中心市街地活性化基本計画」(本報告書 P65:脚注参照)であり、その期待は大きい。しかし、様々な規制や条件のもとでの新規事業、既存の施策との組み合わせ、また、広範囲な対象地域の設定により、いわゆる焦点を絞った明確なビジョンがわかりづらいのも事実である。さらに、本アンケート結果から、和歌山市や和歌山商工会議所等を中心に実施している様々な努力の成果が明確に現れていないことも見て取れる。

ここで提案したいのは、今までの活性化対策や各種調査・研究を検証・評価し、そこから新たな地域商業活性化につながるビジョンの構築と合意形成を実現させる“プロジェクト・チーム”の立ち上げである。

このチームは、個店、地域・団体、行政のみならず、消費者や専門家も含んだメンバーで構成する。ここでは、ビジョンから基本コンセプト(基本的な概念・統一目標)やフレーム・スキーム(枠組みのある計画)作りまで行い、最終的には、事業実施計画の策定と個々の事業可能性調査(F/S=フィージビリティ・スタディ)を行う。ただし、これらの計画作りの主体は最小限の専門家やメンバーによる“タスク・フォース”(特命チーム)を結成して行う。

そして重要なことは、このチームにある一定の権威ないし権限を付与するということである。外部に対して少なからず影響力を持たないと、いかに優れた活動、提言を行っても実効力にはつながらない。今回の提言は、あくまで実質的な効果を獲得するためのものであり、単なる提言には終わらないという強い意思表示を内外に示すためでもある。

<具体的取組事例>

以下に、目指すべき和歌山市商業のビジョン及び基本コンセプトの方向性を示す。

◆ ビジョン=目指すべき姿・あるべき姿

- ・若者から高齢者まで交流でき、買物だけでなく散歩や人とのおしゃべりが楽しめる、歩いて快適で安全性と利便性を備えたコミュニティ空間を提供できる商店街

◆ 基本コンセプト

- ・「連環」……生活者と地域が「和・輪」でつながるようなコミュニティ・ライフ・ゾーンの提供

◆ 事業フレーム

- ・日本版 BID(ビジネス・インプループメント・ディストリクト)※5
- ・SC経営システム(ショッピング・センター)※6

※5 BID(Business Improvement District の略:ビジネス改善地区):区域内の不動産所有者から負担金として一定額を徴収しその資金を直接地域の活性化に活用する官民パートナーシップによるまちづくり手法。特に、米国で成功事例が多い。日本版として、固定資産税及び都市計画税の活用が考えられる。

※6 一つの単位として計画、所有、運営、管理される商業・サービス施設の集合体で、駐車場を有し消費者の選択の多様性・利便性・快適性・娯楽性等を提供するなど、生活者ニーズに応えるコミュニティ施設として都市機能の一翼を担うもの。

3. 徹底した生き残り・再生戦略の策定＜個店及び地域＞

■課題 において、生活様式、社会情勢の変化に対応し切れていない点を挙げた。

先進各地の成功事例等を研究すると、消費者から支持される個店及び地域商業は、これらのさまざまな変化に対応しているか、消費者に対して“まち”としての明確なビジョンを発信しているかのどちらか、あるいは双方とも要素があることが判明してきている。^{※7}

いずれも個店及び地域商業の生き残り・再生には不可欠な要素である。

本アンケート調査結果を見ると、消費者の和歌山市内の商業に対する評価は多くの項目でネガティブであり、さらに、推測値ではあるものの和歌山市内への消費金額流入額の激減（前回調査比 163 億円流出超となった）という結果に関係者はもっと危機感を持たなければならないであろう。個店・地域商業の生き残り・再生へ向けて一刻も早い有効的な対策を講じなければならない状況である、ということを強く認識しなければならない。

すでに 1. 及び 2. において、地域商業活性化のためには、個店経営者の決断及び地域の明確なビジョン（あるべき姿、将来像）を提示することが必要であり、そのための手段として個別相談会の実施や地域全体との共同体としての再生プロジェクト・チームの組織的活動を挙げた。つまり、眼前の事象・課題の認識とその解決策の検討と、進むべき明確な方向性の提示を同時に推進することであり、あたかもトンネル工事や橋梁建設工事の設計及び工程管理と同様である。常に目指すべき方向を意識しながら、一步一步着実に対策を講じていく。この作業工程の繰り返しが完成品へのロードマップなのだ。

ここで、地域商業の徹底した生き残り・再生戦略の策定に向けていくつか提言をしたい。今回の調査は、和歌山市内及び近隣市町の住民に対するアンケート調査であった。さらに精度を高めるために、たとえば、実際に個店や地域の商業施設に訪れた消費者への具体的なニーズや評価の対面調査も必要である。

また、商業者の意識や営業状況・経営状況（店舗形態や商品、後継者等）の本音の確認調査も不可欠である。（個別相談会における確認事項）

一方、本報告書はじめ、各種調査・研究資料の更なる精査による関係者の認識レベルの一致も図っていかなければならない。おそらく、特に危機意識については相当のギャップがあるものと推測される。これらの調査や活動の積み重ねにより、はじめて的確かつ具体的な戦略策定が可能となるであろうし、先に述べた、ビジョン＝あるべき姿へ到達する明確なロードマップが浮かびあがってくるはずである。

^{※7} 参考データ：「中心市街地活性化協議会支援センター」(<http://machi.smrj.go.jp/>)・「街元気まちづくり情報サイト」(<http://machigenki.jp/>) 掲載の「地域取り組み情報」「取り組み事例集」を参照

＜具体的取組事例＞

以下に戦略策定に向けての具体的取組事例を示す。

- ◆ 商業地の通行量推移と来街者動向調査及び店舗状況調査
 - ・ 商業地の特定地点における通行量調査による活性化判定
 - ・ 個店及び地域商業施設での消費者動向調査によるニーズ及び評価の把握
 - ・ 商業施設の現況と経営・営業状況の調査、把握
- ◆ 各種調査資料の精査と関係各者との意識ギャップの調査・開示
 - ・ 既存調査及び前項調査等によるニーズと評価の精査
 - ・ 個店、団体、行政における上記結果の認識調査による意識ギャップの調査及び開示
- ◆ 上記調査をベースに同時に確立される“ビジョン&コンセプト”を見据えた個別・具体的事業計画及び事業スキーム（枠組みある計画）の検討

＜さいごに＞

商業の活性化は単に個店や商業施設のみの問題ではない。地域の活性化や安全・安心して生活できる良質な生活環境の確保とも密接に関連している。

生活者を中心に据え、社会情勢の変化や多様化に対応しながらそのニーズに応え消費者・住民に選択の評価を受けることは、その地域に“ヒト・モノ・カネ・情報”が行き交うということであり、地域の活性化に主導的な役割を果たすことになるとともに、快適な生活環境の提供にもつながるのである。そのあるべき姿を明確に示し実現させるための枠組みを、地域全体の総意として合意形成を図り遂行することが目的達成への道筋となる。

全国の多くの地域で同様の問題が表面化し、関係各者は全力を挙げてその解決に向け努力を重ねているところであるが、問題の解決には道険しく時間を要している。ひとり和歌山市だけの問題ではない。

今までにも「あの頃の賑やかな人通りを取り戻したい」という一心で、地元商店街の再生に本当に真面目に取り組んできた人たちはたくさんいる。しかし、成果がなかなか上がらず、それでももっと頑張り、それでもなお成果が見えてこないということは何度も繰り返して、最後は疲労感と諦めだけになってしまった、という事例はたくさんある。だからこそ、発想を変えて、今のままの商店街活性化を目指すのではなく、提言にも触れているが、当該商店街を一つのショッピング・センターとして捉え、より適切な“テナント・ミックス”(＝店舗移動や商品構成の変更など)の導入というS・C経営システムの検討を考えてはどうだろうか。現実には、多くの問題や乗り越えなければならないハードルは高いが、地域商業活性化として残された数少ない有効な事業フレームでありスキームであろう。

さらに、それは、一商業施設としてのみの取り組みだけでなく、地域としての“まちづくり”に寄与する新しい商業集積の形づくりでなければならない。そして、その形を“あらわす”のがビジョンであり、実現のための準備や手続きが、今まで提言してきた個別相談会や地域一体のプロジェクト・チームの立ち上げ等である。

これらの融合なくて再生はありえないだろう。まさに、もう避けて通れない自らに降り注いだ火の粉であると断じ、不退転の決意でこれらの取り組みに臨むことが真の問題解決への糸口となろう。そのための、強いリーダーシップの発揮をしかるべき関係者各位に期待したい。



資料編

- 消費動向アンケート 調査票（和歌山市民向け）
- 和歌山市での買い物アンケート調査 調査票 （近隣住民向け）
- 和歌山市内の大型小売店舗の立地状況
- 大阪府南部地域大型小売店舗の立地状況
- 和歌山市の商業統計（小売業）－和歌山県統計－
- ＜自由意見の集計＞

■ 消費動向アンケート 調査票（和歌山市民向け）

消費動向アンケート調査のご協力をお願い

私ども和歌山地域経済研究機構では、現在、「和歌山市民の消費動向」について調査研究を行っています。和歌山市にお住まいの皆様に「消費」についてのご意見をお聞かせいただき、消費者の皆様により豊かな生活と地域の商業の発展のために少しでもお役に立ちたいと考えています。

つきましては、何かとご多忙のところ大変恐縮ですが、アンケート調査に是非ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成21年7月

和歌山地域経済研究機構

理事長 森口 佳樹

- ◇ このアンケート調査は、和歌山市の商店に対する消費者の意識や買い物の動向を調査することを目的としています。
- ◇ あなたのご家族のうち、主に買い物をされる方がご記入ください。
- ◇ 回答は無記名ですので、誰がどの様に回答したかは分かりません。皆様がたにご迷惑のかかることは決してございません。
- ◇ 調査結果は、上記目的の基礎データとしてのみ使用するものであり、外部への個人情報の提供や、個人が特定・識別されるような形での集計・公表を一切いたしません。
- ◇ ご回答記入のうえ、同封の返信用封筒に入れ 8月21日（金）迄にご返送賜りますようお願い申し上げます。（切手は不要です）
- ◇ このアンケート調査は財団法人和歌山社会経済研究所が担当して行います。
このアンケート調査についてのご質問等は下記までお願いいたします。

和歌山市東蔵前丁3番地の6

財団法人 和歌山社会経済研究所

担当： 小川・木下

TEL (073) 432-1444

※ 「和歌山地域経済研究機構」は、和歌山大学経済学部・観光学部、和歌山商工会議所及び財団法人 和歌山社会経済研究所の3者により設立され、地域経済について幅広く調査研究を行っています。理事長には森口 佳樹（和歌山大学経済学部長・教授）が就任しています。

調 査 票

I 和歌山市以外での買い物についてお尋ねします。

問1 あなたは、昨年1年間に和歌山市以外の市町村で買い物をしたことがありますか。

1. ある 2. ない → 問7へお進みください。

問2 あなたは、和歌山市以外でどの程度買い物をしますか。(最も近いもの1つだけに○印)

1. ほぼ毎日 2. 週に2, 3回 3. 週に1回程度 4. 月に2, 3回
5. 月に1回 6. 年に4, 5回 7. 年に1, 2回 8. 2, 3年に1回

問3 あなたが次の商品を買う場合、どれくらい和歌山市以外で買い物をしますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

		たいてい市外で買い物を する	よく市外で 買い物を する	時々市外で 買い物を する	たまに市外 で買い物を する	市外では買 い物をほと んどしない
1	食料品	1	2	3	4	5
2	衣服 (普段着)	1	2	3	4	5
3	婦人服	1	2	3	4	5
4	紳士服	1	2	3	4	5
5	靴・履き物	1	2	3	4	5
6	鞆 (かばん)	1	2	3	4	5
7	家具・じゅうたん	1	2	3	4	5
8	家電製品	1	2	3	4	5
9	化粧品	1	2	3	4	5
10	時計・メガネ・カメラ	1	2	3	4	5
11	宝石・貴金属	1	2	3	4	5
12	CD・DVD等	1	2	3	4	5
13	本	1	2	3	4	5
14	玩具・ゲーム機器等	1	2	3	4	5
15	贈答品(中元・歳暮等)	1	2	3	4	5

問4 あなたは、和歌山市以外では、主にどこで買い物をしますか。また、その市町村で最もよく買い物をする商業施設・商店名を記入してください。

	商 品	買い物をする市町村（右欄の 1～14 の番号を記入）	最もよく買い物をする商業施設・商店名
1	食料品		
2	衣服（普段着）		
3	婦人服		
4	紳士服		
5	靴（くつ）・履物		
6	鞆（かばん）		
7	家具・じゅうたん		
8	家電製品		
9	化粧品		
10	時計・メガネ・カメラ		
11	宝石・貴金属		
12	CD・DVD等		
13	本		
14	玩具・ゲーム機器等		
15	贈答品（中元・歳暮等）		

番号	買い物する市町村
1	海南市
2	紀の川市
3	岩出市
4	その他和歌山県内
5	大阪府岬町、阪南市
6	泉南市
7	泉佐野市、貝塚市
8	岸和田市
9	大阪市内
10	その他大阪府内
11	その他の府県
12	通信販売
13	インターネットで購入
14	市外で買い物しない

問5 あなたが和歌山市以外で買い物をする理由は何ですか。次のなかから該当する理由の番号に○印をつけてください。（3つまで）

1. にぎやかで、見ているだけでも楽しいから
2. 商品の品質や鮮度が良いから
3. 値段が安いから
4. 商品の種類が多く、気に入った物が選べるから
5. 商店の数が多く、色々見て回れるから
6. 和歌山市にはない商品があるから
7. 近いから（交通の便が良いから）
8. お気に入りの行きつけの店があるから
9. 車で行きやすいから
10. センスの良い商品があるから
11. 友達や家族に誘われるから
12. 親戚などに行ったついでに買い物できるから
13. 仕事や学校の帰りに買い物できるから
14. 遊ぶところが多いから
15. その他（具体的に：

）

問6 あなたの和歌山市以外での買い物の変化についてお尋ねします。

(1) あなたは以前に比べ、和歌山市以外へ買い物に行く回数(頻度)は変わりましたか。

1. 以前は和歌山市以外に買い物に行かなかったが、最近行くようになった
2. かなり増えた
3. 少し増えた
4. あまり変わらない
5. 少し減った
6. かなり減った
7. 行かなくなった

(2) あなたは以前に比べ、和歌山市以外での買い物金額は変わりましたか。

1. かなり増えた
2. 少し増えた
3. あまり変わらない
4. 少し減った
5. かなり減った

(3) あなたは以前に比べ、和歌山市以外へ買い物に行く手段が変わりましたか。

1. 徒歩で行くことが増えた
2. 自転車で行くことが増えた
3. 電車で行くことが増えた
4. 車で行くことが増えた
5. 単車で行くことが増えた
6. バスで行くことが増えた
7. タクシーで行くことが増えた
8. 特に変わりはない
9. その他 ()

Ⅱ 和歌山市での買い物についてお尋ねします。

問7 あなたは、昨年1年間に、全部でいくら買い物をしましたか。また、そのうち和歌山市内でどれくらい買い物をしましたか。下欄の金額の内で最も近いものの番号を記入してください。

(1) 昨年1年間の買い物の合計金額

(2) 上記の内、和歌山市内で買い物をした金額

1. 0～ 1万円未満	7. 100～200万円未満
2. 1～ 5万円未満	8. 200～300万円未満
3. 5～ 10万円未満	9. 300～500万円未満
4. 10～ 30万円未満	10. 500～700万円未満
5. 30～ 50万円未満	11. 700～1000万円未満
6. 50～100万円未満	12. 1000万円以上

問8 あなたが和歌山市でよく買い物をするところは何処ですか。該当する商店等の番号に○印をつけてください。(3つまで)

本町周辺		南海和歌山市駅周辺		JR 和歌山駅周辺		紀の川以北	
1	フォルテワジマ	6	高島屋	10	近鉄百貨店	19	パームシティ
2	ぶらくり丁商店街	7	駅周辺の商店街	11	ジョワ専門店街	20	オーストリート紀ノ川
3	CITY! WAKAYAMA	8	その他の商店	12	ヴィーボ (JR駅ビル内)	21	ガーデンパーク 和歌山
4	その他の商店	9	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <input type="text"/>	13	駅周辺の商店街	22	イマヤ紀伊川辺店
5	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <input type="text"/>			14	イマヤ和歌山店	23	その他の商店
				15	国体道路沿いの商店	24	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <input type="text"/>
				16	コーナン・オークワ 中之島店		
				17	その他の商店		
				18	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <input type="text"/>		

※ 専門店の分類

- 食料品専門店・・・エバグリーン・業務スーパー など
- 家電専門店・・・ヤマダ電機・ジョーシン電機・K'Sデンキ など
- 日用品・雑貨専門店・・・コーナン・ニトリ・コメリ など
- 衣料品専門店・・・ユニクロ・しまむら・青山 など

堀止周辺		紀三井寺周辺		和歌浦周辺		その他の地区	
25	メッサオークワ高松店	29	オークワ紀三井寺店	33	商店街	36	その他の商店等
26	商店街	30	ダイエー	34	その他の商店	37	専門店（下記※から 選び番号を□ に記入してくだ さい。） <div></div>
27	その他の商店	31	その他の商店	35	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してくださ い。） <div></div>		
28	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してくださ い。） <div></div>	32	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してくださ い。） <div></div>				

※ 専門店の分類

1. 食料品専門店・・・エバグリーン・業務スーパー など
2. 家電専門店・・・ヤマダ電機・ジョーシン電機・K'Sデンキ など
3. 日用品・雑貨専門店・・・コーナン・ニトリ・コメリ など
4. 衣料品専門店・・・ユニクロ・しまむら・青山 など

問9 和歌山市内の各地にある商店街での買い物についてお尋ねします。

（1）あなたは商店街で買い物をしますか。（最も近いもの1つだけ○印）

1. ほとんど毎日、買い物をする
2. よく買い物をする
3. 時々、買い物をする
4. たまに、買い物をする
5. ほとんど買い物をしない

（2）以前と比べて、商店街へ買い物に行く回数は変わりましたか。（該当するもの1つだけ○印）

1. 非常に増えた
2. 少し増えた
3. 以前と変わらない
4. 少し減った
5. 非常に減った
6. 以前から商店街では買い物はしたことがない

問 1 0 和歌山市にある商店と和歌山市以外のお店等を比較して、以下の項目についてあなたはどの様に感じていますか。該当する番号に○印を記入してください。

	項 目	和歌山市にある商店・スーパー・百貨店は 和歌山市以外のお店等に比べて				
		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	商品の鮮度や品質	1	2	3	4	5
2	商品価格の安さ	1	2	3	4	5
3	商品の品揃えの豊富さ	1	2	3	4	5
4	店の清潔度	1	2	3	4	5
5	店の華やかさ	1	2	3	4	5
6	店の雰囲気	1	2	3	4	5
7	店主・店員の応対、親切度	1	2	3	4	5
8	店主・店員の商品知識	1	2	3	4	5
9	駐車場の便利性	1	2	3	4	5
10	営業時間	1	2	3	4	5
11	店の周囲の華やかさ	1	2	3	4	5

Ⅲ あなたご自身のことについてお尋ねします。

問 1 1 あなたの性別は。(該当の番号に 1 つだけ○印をつけてください)

1. 男 2. 女

問 1 2 あなたの年齢は。(該当の番号に 1 つだけ○印をつけてください)

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代
5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上

問 1 3 あなたの職業は。(該当の番号に 1 つだけ○印をつけてください)

1. 学生 2. 専業主婦（夫） 3. 会社員 4. 公務員 5. 自営業
6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他（具体的に： ）

問 1 4 あなたの家族構成は。(該当の番号に 1 つだけ○印をつけてください)

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子ども（2 世代）
4. 親と子どもと孫（3 世代） 5. その他

問 1 5 家族の人数は。(該当の番号に 1 つだけ○印をつけてください)

1. 一人 2. 二人 3. 三人 4. 四人 5. 五人
6. 六人 7. 七人以上

問 1 6 あなたのお住まいは何处ですか。(1～5の該当する番号に○印)

1. 河西（湊、野崎、松江、木本、貴志、楠見、西脇、加太）
2. 中央（本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、宮北、中之島、芦原、宮前）
3. 南部（高松、雑賀、雑賀崎、和歌浦、名草、今福、田野）
4. 河北（有功、直川、川永、紀伊、山口）
5. 東部（宮、四箇郷、三田、西和佐、岡崎、安原、和佐、東山東、西山東、小倉）

IV 和歌山市の商店街や商店に対するご意見やご要望など自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

■ 和歌山市での買い物アンケート調査 調査票 (近隣住民向け)

和歌山市での買い物アンケート調査のご協力をお願い

私ども和歌山地域経済研究機構では、現在、和歌山市の商業について調査研究を行っています。和歌山市の近隣の市町村にお住まいの皆様に「和歌山市の小売店」についてのご意見をお聞かせいただき、消費者の皆様により豊かな生活と地域商業の発展のために少しでもお役に立ちたいと考えています。

つきましては、何かとご多忙のところ大変恐縮ですが、アンケート調査に是非ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 21 年 7 月

和歌山地域経済研究機構

理事長 森口 佳樹

◇ このアンケート調査は、和歌山市の商店に対する消費者の意識や買い物の動向を調査することを目的としています。

◇ あなたのご家族のうち、主に買い物をされる方がご記入ください。

◇ 回答は無記名ですので、誰がどの様に回答したかは分かりません。皆様がたにご迷惑のかかることは決してございません。

◇ 調査結果は、上記目的の基礎データとしてのみ使用するものであり、外部への個人情報の提供や、個人が特定・識別されるような形での集計・公表を一切いたしません。

◇ ご回答記入のうえ、同封の返信用封筒に入れ 8 月 21 日（金）迄にご返送賜りますようお願い申し上げます。（切手は不要です）

◇ このアンケート調査は財団法人和歌山社会経済研究所が担当して行います。
このアンケート調査についてのご質問等は下記までお願いいたします。

和歌山市東蔵前丁 3 番地の 6

財団法人 和歌山社会経済研究所

担当： 小川・木下

TEL (073) 432-1444

※ 「和歌山地域経済研究機構」は、和歌山大学経済学部・観光学部、和歌山商工会議所及び財団法人 和歌山社会経済研究所の 3 者により設立され、地域経済について幅広く調査研究を行っています。理事長には森口 佳樹（和歌山大学経済学部長・教授）が就任しています。

調 査 票

I 和歌山市についてお尋ねします。

問1 あなたは昨年1年間に和歌山市へ行ったことがありますか。

1. ある 2. ない → 問3へお進みください。

問2 和歌山市へ行った目的は何ですか。(該当するもの全てに○印をつけてください)

1. 通勤・仕事 2. 通学 3. 買い物 4. 旅行・レジャー
5. 病院 6. 親戚・友人訪問 7. 美容・理容 8. 飲食
9. 習い事・趣味 10. スポーツ 11. その他(具体的に:)

問3 和歌山市へ行く場合、主にどの交通手段を利用しますか。(1つだけ○印)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 単車 4. 自動車
5. バス 6. 電車 7. タクシー

問4 和歌山市内の目的地までの所要時間はどれくらいですか。(1つだけ○印)

1. 15分以内 2. 15～30分以内 3. 30分～1時間以内
4. 1～2時間以内 5. 2～3時間以内 6. 3時間を超える

II 和歌山市での買い物についてお尋ねします。

問5 あなたは、昨年1年間に和歌山市で買い物をしたことがありますか。

1. ある 2. ない → 問13へお進みください。

問6 あなたは、どの程度和歌山市で買い物をしますか。(最も近いもの、1つに○印)

1. ほぼ毎日 2. 週に2, 3回 3. 週に1回程度 4. 月に2, 3回
5. 月に1回 6. 年に4, 5回 7. 年に1, 2回 8. 2, 3年に1回
9. 以前は和歌山市で買い物をしたが、最近は全く和歌山市で買い物をしない。

問7 あなたが昨年1年間にに行ったことのある商店等全てに○印をつけてください。

1. 近鉄百貨店 2. ジョア専門店街 3. ヴィーボ(JR駅ビル内)
4. ぶらくり丁 5. 高島屋(南海和歌山市駅) 6. イズミヤ和歌山店
7. ダイエー 8. パームシティ 9. フォルテワジマ
10. ガーデンパーク和歌山 11. CITY! WAKAYAMA 12. JR和歌山駅周辺の商店街
13. 堀止周辺の商店街 14. その他(具体的に:)

問 8 あなたが和歌山市でよく買い物をすると何処ですか。該当する商店等の番号に○印をつけてください。(3つまで)

本町周辺		南海和歌山市駅周辺		JR 和歌山駅周辺		紀の川以北	
1	フォルテワジマ	6	高島屋	10	近鉄百貨店	19	パームシティ
2	ぶらくり丁商店街	7	駅周辺の商店街	11	ジョワ専門店街	20	ホストリート紀ノ川
3	CITY! WAKAYAMA	8	その他の商店	12	ヴィーボ (JR駅ビル内)	21	ガーデンパーク 和歌山
4	その他の商店	9	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>	13	駅周辺の商店街	22	イズミヤ紀伊川辺店
5	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>			14	イズミヤ和歌山店	23	その他の商店
				15	国体道路沿いの商店	24	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>
				16	コーナン・オークワ 中之島店		
				17	その他の商店		
				18	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>		

堀止周辺		紀三井寺周辺		和歌浦周辺		その他の地区	
25	メッサオークワ高松店	29	オークワ紀三井寺店	33	商店街	36	その他の商店等
26	商店街	30	ダイエー	34	その他の商店	37	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>
27	その他の商店	31	その他の商店	35	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>		
28	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>	32	専門店（下記※から 選び番号を□に 記入してください。） <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>				

※ 専門店の分類

1. 食料品専門店・・・エバグリーン・業務スーパー など
2. 家電専門店・・・ヤマダ電機・ジョーシン電機・K'Sデンキ など
3. 日用品・雑貨専門店・・・コーナン・ニトリ・コメリ など
4. 衣料品専門店・・・ユニクロ・しまむら・青山 など

問9 あなたが次の商品を買う場合、どれくらい和歌山市で買い物をしますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

		たいてい和歌山市で買い物をする	よく和歌山市で買い物をする	時々和歌山市で買い物をする	たまに和歌山市で買い物をする	和歌山市では買い物をしない
1	食料品	1	2	3	4	5
2	衣服（普段着）	1	2	3	4	5
3	婦人服	1	2	3	4	5
4	紳士服	1	2	3	4	5
5	靴・履き物	1	2	3	4	5
6	鞆（かばん）	1	2	3	4	5
7	家具・じゅうたん	1	2	3	4	5
8	家電製品	1	2	3	4	5
9	化粧品	1	2	3	4	5
10	時計・メガネ・カメラ	1	2	3	4	5
11	宝石・貴金属	1	2	3	4	5
12	CD・DVD等	1	2	3	4	5
13	本	1	2	3	4	5
14	玩具・ゲーム機器等	1	2	3	4	5
15	贈答品(中元・歳暮等)	1	2	3	4	5

問 10 あなたが和歌山市で買い物をする理由は何ですか。次のなかから該当する理由の番号に○印をつけてください。(3つまで)

1. にぎやかで、見ていだけでも楽しいから
2. 商品の品質や鮮度が良いから
3. 値段が安いから
4. 商品の種類が多く、気に入った物が選べるから
5. 商店の数が多く、色々見て回れるから
6. 百貨店があるから
7. 自分の市・町にはない商品があるから
8. 近いから（交通の便が良いから）
9. お気に入りの行きつけの店があるから
10. 車で行きやすいから
11. センスの良い商品があるから
12. 友達や家族に誘われるから
13. 親戚などに行ったついでに買い物できるから
14. 仕事や学校の帰りに買い物できるから
15. 遊ぶところが多いから
16. 本当は大阪まで行きたいが、遠いので和歌山の商店で我慢している
17. その他（具体的に：

問１１ あなたは、昨年１年間に全部でいくら買い物をしましたか。また、そのうち和歌山市でどれくらい買い物をしましたか。下欄の金額の内で最も近いものの番号を記入してください。

(１) 昨年１年間の買い物の合計金額

(２) 上記の内、和歌山市で買い物をした金額

1. 0～ 1万円未満	7. 100～200万円未満
2. 1～ 5万円未満	8. 200～300万円未満
3. 5～ 10万円未満	9. 300～500万円未満
4. 10～ 30万円未満	10. 500～700万円未満
5. 30～ 50万円未満	11. 700～1000万円未満
6. 50～100万円未満	12. 1000万円以上

問１２ あなたがよく買い物をする和歌山市の商店の印象についてお尋ねします。よく買い物をするお店の以下の点についてどの様に感じていますか。該当する番号に○印を記入してください。

	項 目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	商品の鮮度や品質	1	2	3	4	5
2	商品価格の安さ	1	2	3	4	5
3	商品の品揃えの豊富さ	1	2	3	4	5
4	店の清潔度	1	2	3	4	5
5	店の華やかさ	1	2	3	4	5
6	店の雰囲気	1	2	3	4	5
7	店主・店員の応対、親切度	1	2	3	4	5
8	店主・店員の商品知識	1	2	3	4	5
9	駐車場の便利性	1	2	3	4	5
10	営業時間	1	2	3	4	5
11	店の周囲の華やかさ	1	2	3	4	5
12	交通の利便性	1	2	3	4	5

問 1 3 あなたは以前に比べ、和歌山市での買い物の形態が変わりましたか。

(1) あなたは以前に比べ、和歌山市へ買い物に行く回数(頻度)は変わりましたか。

1. 以前は買い物に行かなかったが、行くようになった
2. かなり 増えた
3. 少し 増えた
4. あまり変わらない
5. 少し 減った
6. かなり 減った
7. 行かなくなった

(2) 増えた(減った)理由は何ですか。該当する番号に○印をつけてください。(3つまで)

増
え
た
理
由

1. 商品の品質や鮮度がよいから
2. 商品の品揃えが豊富だから
3. センスの良い商品があるから
4. 自分のまちにない商品があるから
5. 商品の値段が安いから
6. 商店の数が多く、いろいろ見て回れるから
7. お気に入りの店がある(できた)から
8. にぎやかで見ているだけでも楽しいから
9. 買い物以外にも遊ぶところが多いから
10. 交通の便が良くなったから
11. 和歌山市へ行く機会(通勤、通学、病院、親戚等)ができた、または、増えたから
12. その他()

減
っ
た
理
由

1. 和歌山市まで行かなくても近くに需要を充たすショッピングセンター等ができたから
2. 和歌山市では物足りなくなったから(大阪等へ行く)
3. 和歌山市まで出て行くのが疲れる、又はめんどうになったから
4. 和歌山市ににぎやかさや楽しさが減ったから
5. お気に入りの店が無くなったから(商業施設(商店)名:)
6. 車の渋滞がひどいから
7. 車や高速道路等が整備され、大阪へ行きやすくなったから
8. 和歌山市へ行く機会(通勤、通学、病院、親戚等)がなくなった(減った)から
9. その他()

(3) 和歌山市での買い物の金額に変化はありましたか。

1. 増えた
2. やや増えた
3. 変わらない
4. やや減った
5. 減った

(4) 和歌山市へ行く交通手段の利用頻度に変化はありましたか。それぞれの交通機関の該当する番号に○印をつけてください。

		増えた	少し 増えた	変わら ない	少し 減った	減った	以前から 利用なし
1	徒歩	1	2	3	4	5	6
2	自転車	1	2	3	4	5	6
3	単車	1	2	3	4	5	6
4	自動車	1	2	3	4	5	6
5	バス	1	2	3	4	5	6
6	電車	1	2	3	4	5	6
7	タクシー	1	2	3	4	5	6

問 1 4 あなたが次の商品を買う商店（スーパー、百貨店を含む）はどの市町村にありますか。右の欄の「買い物をする市町村」の該当する番号を記入してください。また、その市町村で最もよく買い物をする商業施設・商店名を記入してください。

	商 品	最もよく買い物 をする市町村 (右欄の 1～18 の番号を記入)	最もよく買い物 をする商業施 設・商店名
1	食料品		
2	衣服（普段着）		
3	婦人服		
4	紳士服		
5	靴(くつ)		
6	靴(かばん)		
7	家具・じゅうたん		
8	家電製品		
9	化粧品		
10	時計・メガネ・カメラ		
11	宝石・貴金属		
12	CD・DVD等		
13	本		
14	玩具・ゲーム機器等		
15	贈答品（中元・歳暮等）		

番 号	買い物をする市町村
1	自分が住んでいる市・町
2	和歌山市
3	隣の市町村
4	田辺市（和歌山県）
5	その他和歌山県内
6	大阪市
7	泉佐野市
8	泉南市
9	阪南市
10	貝塚市
11	岸和田市
12	その他大阪府
13	京都市
14	神戸市
15	その他
16	通信販売
17	インターネットで購入
18	買い物はしない

ださい。

5. どちらとも言えない。分からない。

Ⅲ あなたご自身のことについてお尋ねします。

問 16 あなたの性別は。(該当の番号に1つだけ○印をつけてください)

1. 男 2. 女

問 17 あなたの年齢は。(該当の番号に1つだけ○印をつけてください)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問 18 あなたの職業は。(該当の番号に1つだけ○印をつけてください)

1. 学生 2. 専業主婦（夫） 3. 会社員 4. 公務員 5. 自営業
6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他（具体的に： ）

問 19 あなたの家族構成は。(該当の番号に1つだけ○印をつけてください)

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子ども（2世代）
4. 親と子どもと孫（3世代） 5. その他

問 20 家族の人数は。(該当の番号に1つだけ○印をつけてください)

1. 一人 2. 二人 3. 三人 4. 四人 5. 五人
6. 六人 7. 七人以上

問 2 1 あなたの住まいは何処ですか。(1～2 1の該当する番号に1つだけ○印)

- | | | | | |
|--------------|----------|----------|---------|----------|
| 和歌山圏域（海南・海草） | 1. 海南市 | 2. 紀美野町 | | |
| 那賀圏域 | 3. 紀の川市 | 4. 岩出市 | | |
| 橋本圏域 | 5. 橋本市 | 6. かつらぎ町 | 7. 九度山町 | 8. 高野町 |
| 有田圏域 | 9. 有田市 | 10. 湯浅町 | 11. 広川町 | 12. 有田川町 |
| 御坊圏域 | 13. 御坊市 | 14. 美浜町 | 15. 日高町 | 16. 由良町 |
| | 17. 日高川町 | | | |
| 大阪府 | 18. 岬町 | 19. 阪南市 | 20. 泉南市 | 21. 泉佐野市 |

Ⅳ 和歌山市の商店街や商店に対するご意見やご要望など自由にお書きください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

■ 和歌山市内の大型小売店舗の立地状況

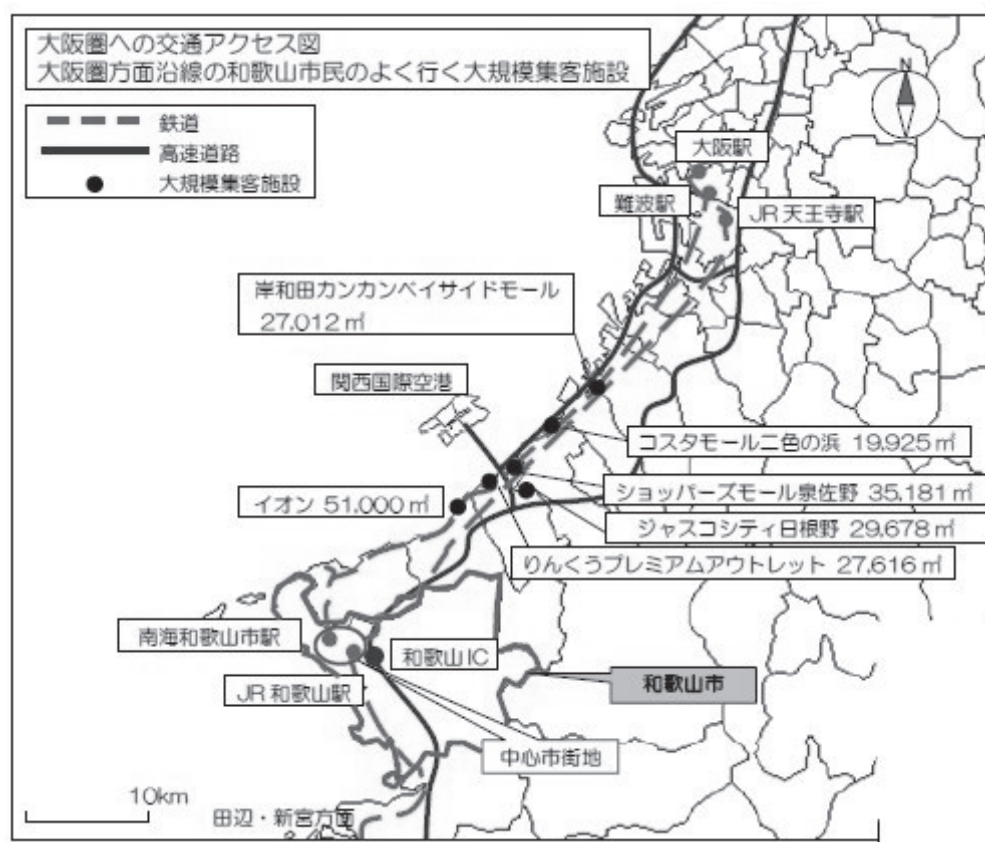
和歌山市大規模小売店立地状況(3,000㎡以上)

(平成22年2月現在)

名 称	所在地	店舗面積 の合計	開店日	備 考
ブライスカット屋形店	和歌山市屋形町4丁目29	3,206㎡	S38.12	(株)オークワ
高島屋	和歌山市東蔵前丁3-6	4,990㎡	S48.5	(株)高島屋
オークワ六十谷店	和歌山市六十谷217-1	4,970㎡	S50.4	(株)オークワ他
紀三井寺コミュニティセンター (タ・イエ和歌山店)	和歌山市小雑賀805-1	10,810㎡	S56.2	(株)タ・イエ
イズミヤ和歌山店	和歌山市新生町7-2	19,273㎡	S57.8	イズミヤ(株)
和歌山近鉄百貨店	和歌山市友田町5丁目18	32,400㎡	S62.4	(株)和歌山近鉄百貨店
ホームシティ和歌山店	和歌山市中野31-1	21,205㎡	H5.11	(株)オークワ トイザラス他
和歌山マリナシティ	和歌山市毛見1527	3,877㎡	H6.7	和歌山ロイヤルパインズ(株)他
オークワ本社中島店	和歌山市中島185-3	3,828㎡	H10.8	(株)オークワ他
和歌山次郎丸ショッピングセンター	和歌山市次郎丸38	9,776㎡	H12.11	(株)ミドリ電化 (株)コメリ
オー・ストリート和歌山北パインズ店	和歌山市平井154	6,380㎡	H12.12	(株)オークワ他
ホームセンターコーナン和歌山店	和歌山市南片原2丁目1	7,832㎡	H12.6	コーナン商事(株)
ブライスカット神前店	和歌山市神前509	3,392㎡	H13.11	(株)オークワ他
CITY!WAKAYAMA	和歌山市元寺町5-88	9,960㎡	H16.4	(株)松源他
パワー和歌山インター店	和歌山市小豆島53-1	13,712㎡	H16.11	(株)コメリ
ガーデンパーク和歌山	和歌山市松江1469-1	8,300㎡	H16.11	(株)オークワ他
ホームセンターコーナン和歌山中之島店	和歌山市納定100-1	9,408㎡	H17.4	コーナン商事(株)
ニトリ和歌山店 スポーツデポ・ゴルフ5和歌山店	和歌山市北島325-4	11,194㎡	H17.11	(株)ニトリ (株)アルペン
FORTE WAJIMA	和歌山市本町2丁目1	6,711㎡	H19.11	和島興産(株)
コジマNEW和歌山店	和歌山市手平3丁目1-43	3,500㎡	H19.12	(株)コジマ
イズミヤスーパーセンター川辺稲井店 (イズミヤスーパーセンター紀伊川辺店)	和歌山市川辺220	15,130㎡	H20.1	イズミヤ(株)
オークワメッサ西高松店	和歌山市西高松1丁目278-14	4,267㎡	H20.4	(株)オークワ
ケーステンキ紀の川パワフル店	和歌山市狐島578	4,171㎡	H21.3	(株)関西ケーステンキ
ケーステンキ川辺パワフル館・ ヤマイチプラザ川辺	和歌山市川辺234	7,242㎡	H21.7	(株)関西ケーステンキ
ジョーシン和歌山北店	和歌山市平井120-1	3,417㎡	H21.11	上新電機(株)

(資料提供：和歌山県・和歌山市)

■ 大阪府南部地域大型小売店舗の立地状況



資料：「和歌山市中心市街地活性化基本計画」（平成 19 年 8 月）より転載 和歌山市

■ 和歌山市の商業統計（小売業）－和歌山県統計－

和歌山県小売業事業所の推移

	事業所数	年間販売額 (億円)	従業者数 (人)	売り場面積 (㎡)
平成9年 (A)	15,837	11,170	64,271	1,201,816
平成19年 (B)	12,198	9,348	63,100	1,310,787
増減 (B)－(A)	▲ 3,639	▲ 1,822	▲ 1,171	108,971

和歌山市小売業事業所の推移

	事業所数	年間販売額 (億円)	従業者数 (人)	売り場面積 (㎡)
平成9年 (A)	4,531	4,655	22,721	406,436
平成19年 (B)	3,469	3,687	21,871	445,032
増減 (B)－(A)	▲ 1,062	▲ 968	▲ 850	38,596

和歌山県大型小売店舗（百貨店＋スーパー）の推移

	商店数	販売額計 (億円)	従業者数 (人)	売場面積 (千㎡)
平成9年 (A)	30	1,553	3,687	178
平成11年	39	1,593	4,580	227
平成19年 (B)	38	1,356	3,721	210
増減 (B)－(A)	8	▲ 197	34	32

(和歌山県統計年鑑)

■ ＜自由意見の集計＞

自由意見については、非常に多くの回答が寄せられた。本文中にも引用したが、消費者としてのニーズや意見、特に、和歌山市内の商店及び商店街へ行く機会が減少した理由、過去の和歌山市内の商店街へのノスタルジーを感じている意見が多かった。

また、和歌山市商業への激励や賑やかさを取り戻すための建設的な意見も多く見られ、改めて、和歌山市の持っている本来のポテンシャルの高さと和歌山市民及び周辺住民の期待の高さをうかがい知ることが出来た。だからこそ、和歌山市商業と地域の活性化に覚悟を持って取り組まねばならないとより強く感じる。

以下に、和歌山市民及び近隣住民の意見の総数と、内容の項目別集計を記す。

* 自由意見の詳細については、原文を事務局（（財）和歌山社会経済研究所：TEL073-432-1444）で保存・保管していますので、閲覧ご希望があればご連絡ください。

和歌山市民の意見（110件）

駐車場関連	26 件
品揃え関連	13 件
店員の質向上	7 件
価格が高い	7 件
空き店舗が多い	6 件
営業時間関係	5 件
美園商店街の活性化	4 件
公共交通の充実	4 件
イオン等が欲しい	3 件
店が点在している	3 件

近隣住民の意見（338件）

駐車場関連	79 件
地元で買い物をする	36 件
公共交通の充実	30 件
品揃え関連	26 件
活気がない	26 件
大阪方面が便利	24 件
交通渋滞	15 件
空き店舗が多い	15 件
百貨店がない(ある)	13 件
価格が高い	8 件
アウトレット等あれば	5 件

「和歌山市民・近隣地域住民の
消費動向と和歌山市小売商業の課題」
—平成 21 年版—

平成 22 年 3 月発行

和歌山地域経済研究機構
(和歌山市西汀丁 36 番地
和歌山商工会議所内)

TEL : 073-422-1111

URL : <http://www.eco.wakayama-u.ac.jp/wtkkk/>